

# 第4期きずな計画策定 プロジェクトチーム 第3回会議

2021年10月7日（木）17：00～

しんた21社会適応訓練室

# 次第

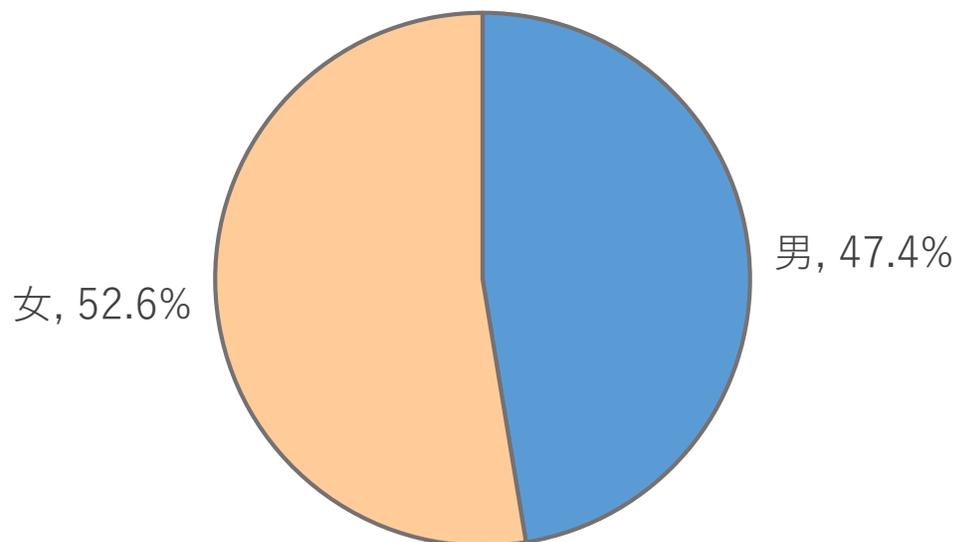
1. ひとりの幸せを支え合うきずなアンケート調査の結果について
2. 意見交換
3. 今後のスケジュールについて

# 1. アンケート調査の結果について（実践者向け）

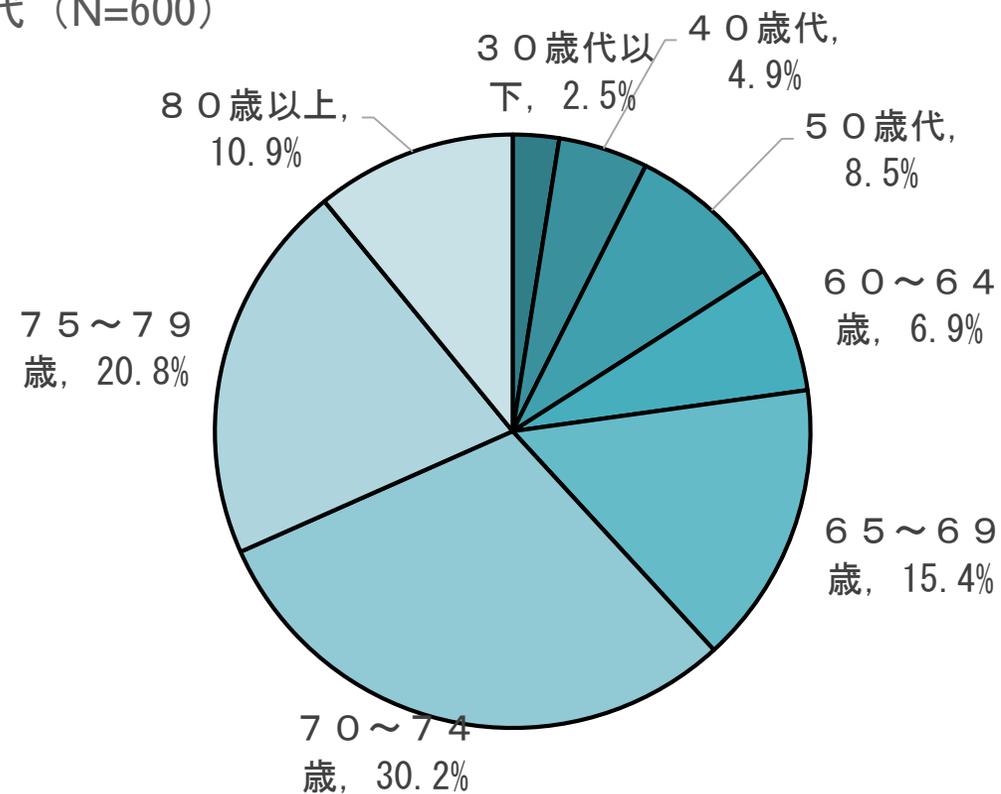
## 【基本情報】

回答数	603
回答率	56.9%

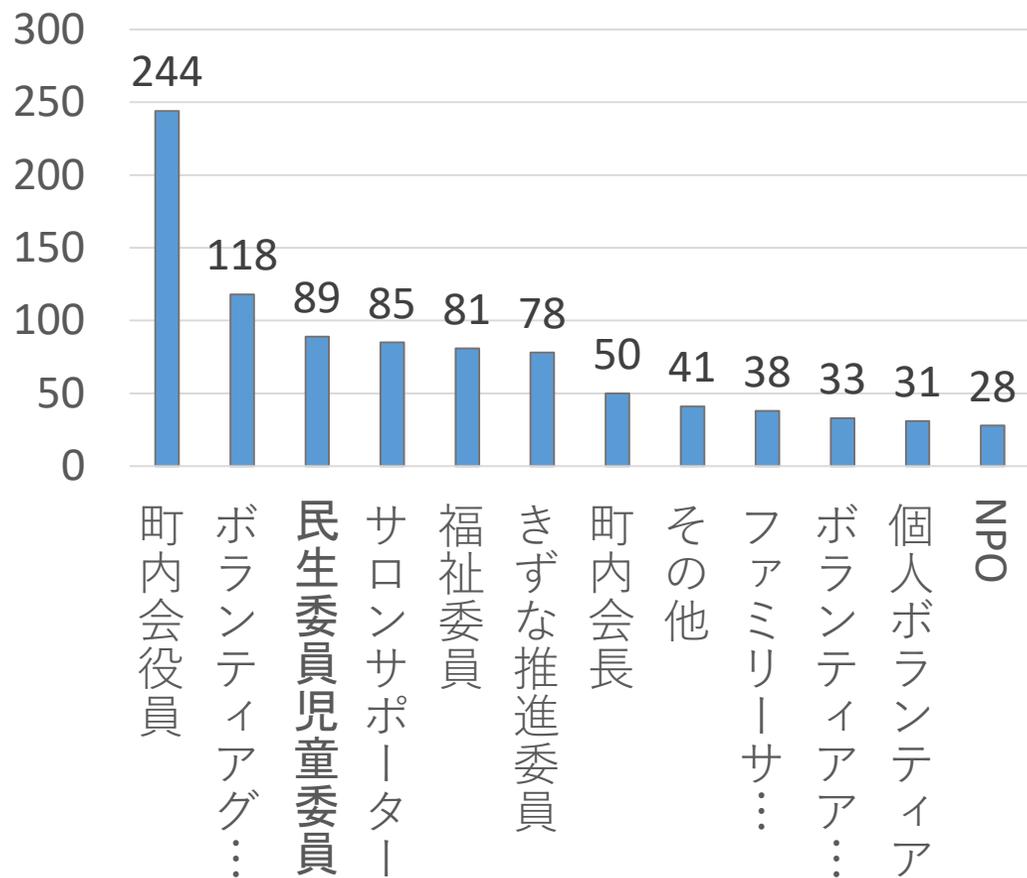
性別（N=581）



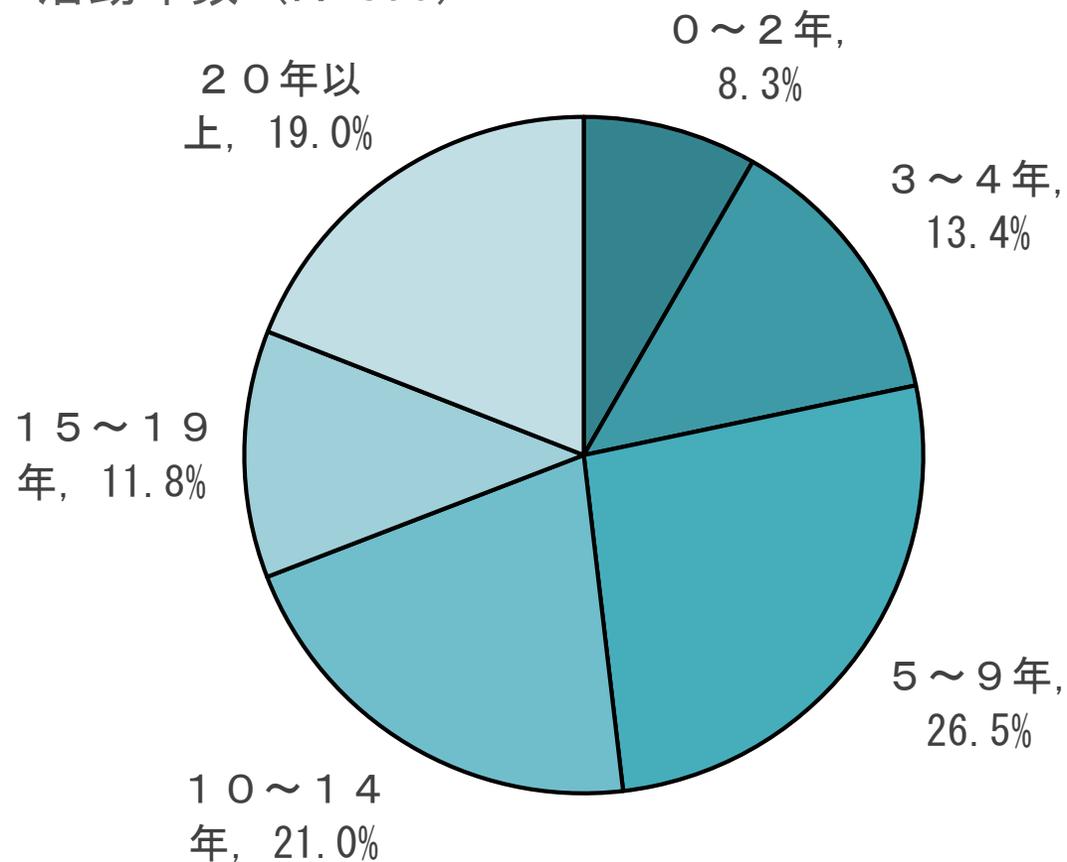
年代（N=600）



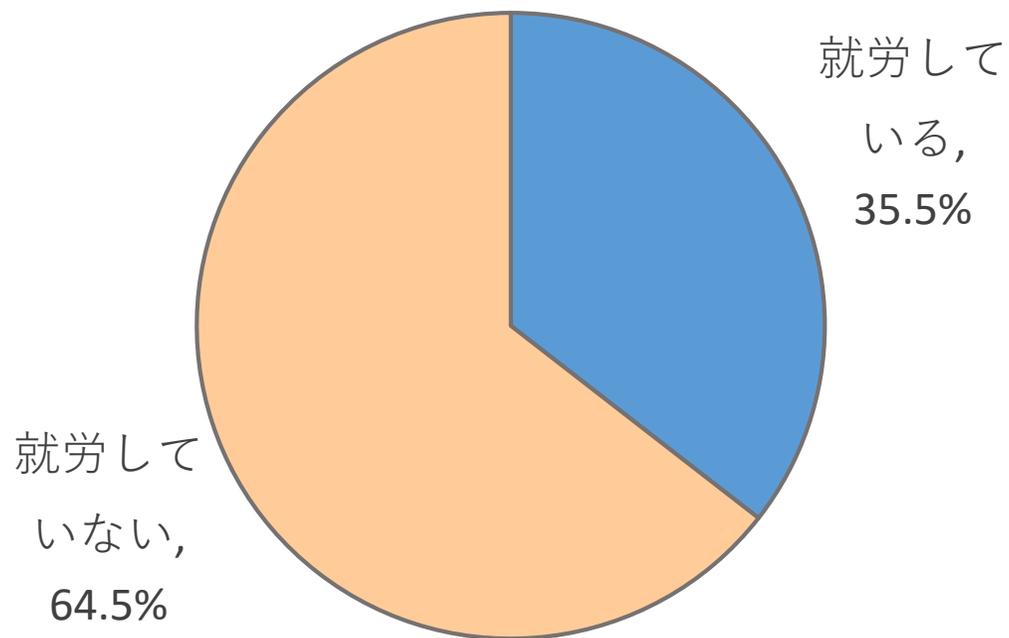
携わっている福祉活動（複数回答／N=568）



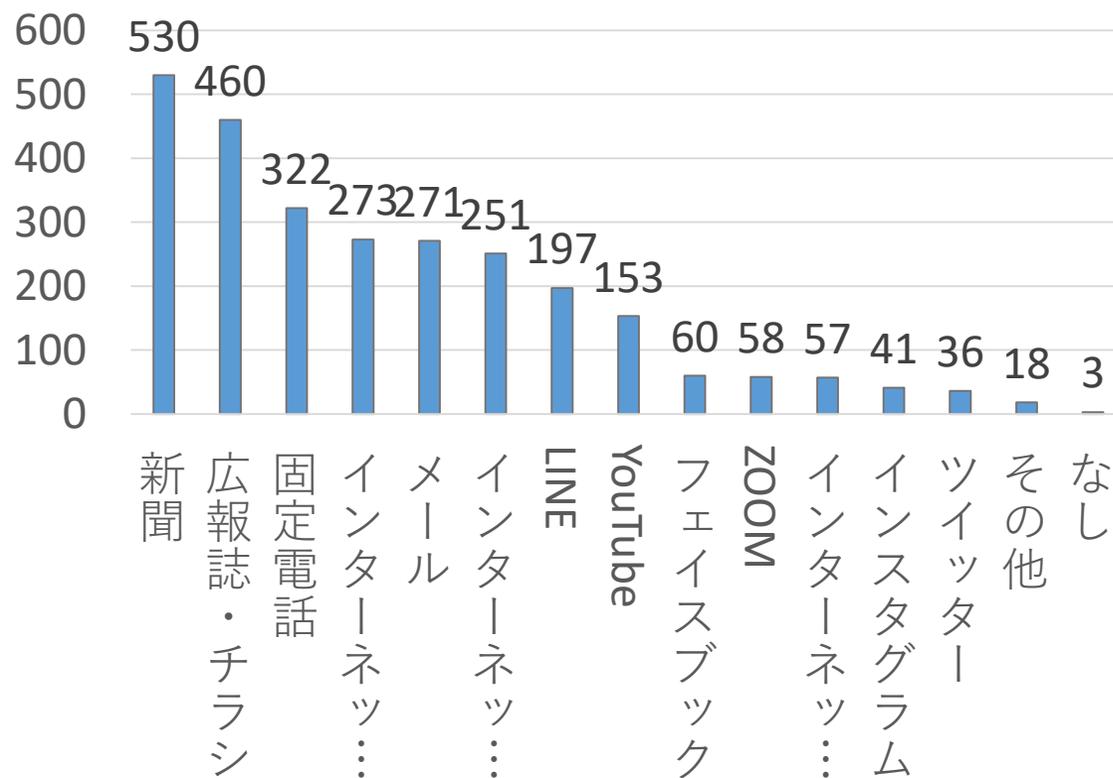
活動年数（N=570）



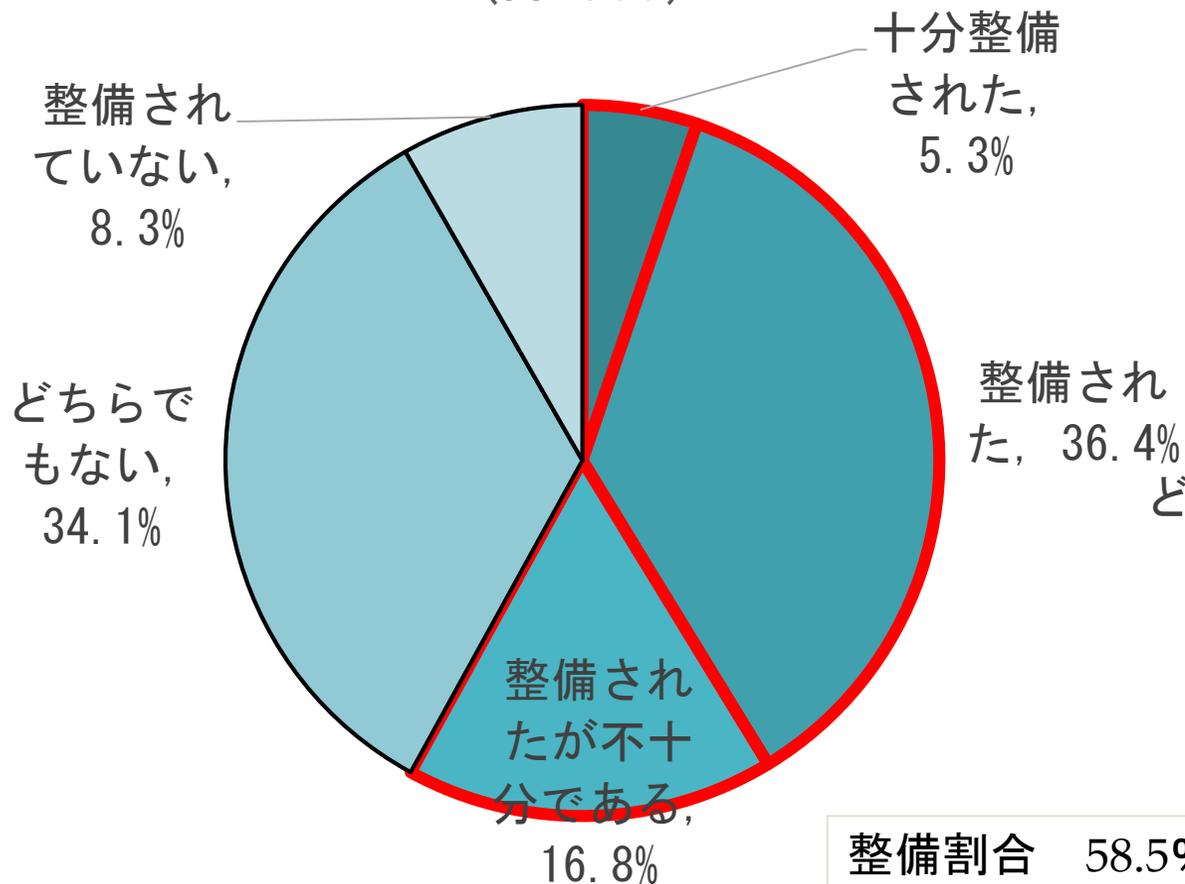
就労状況 (N=594)



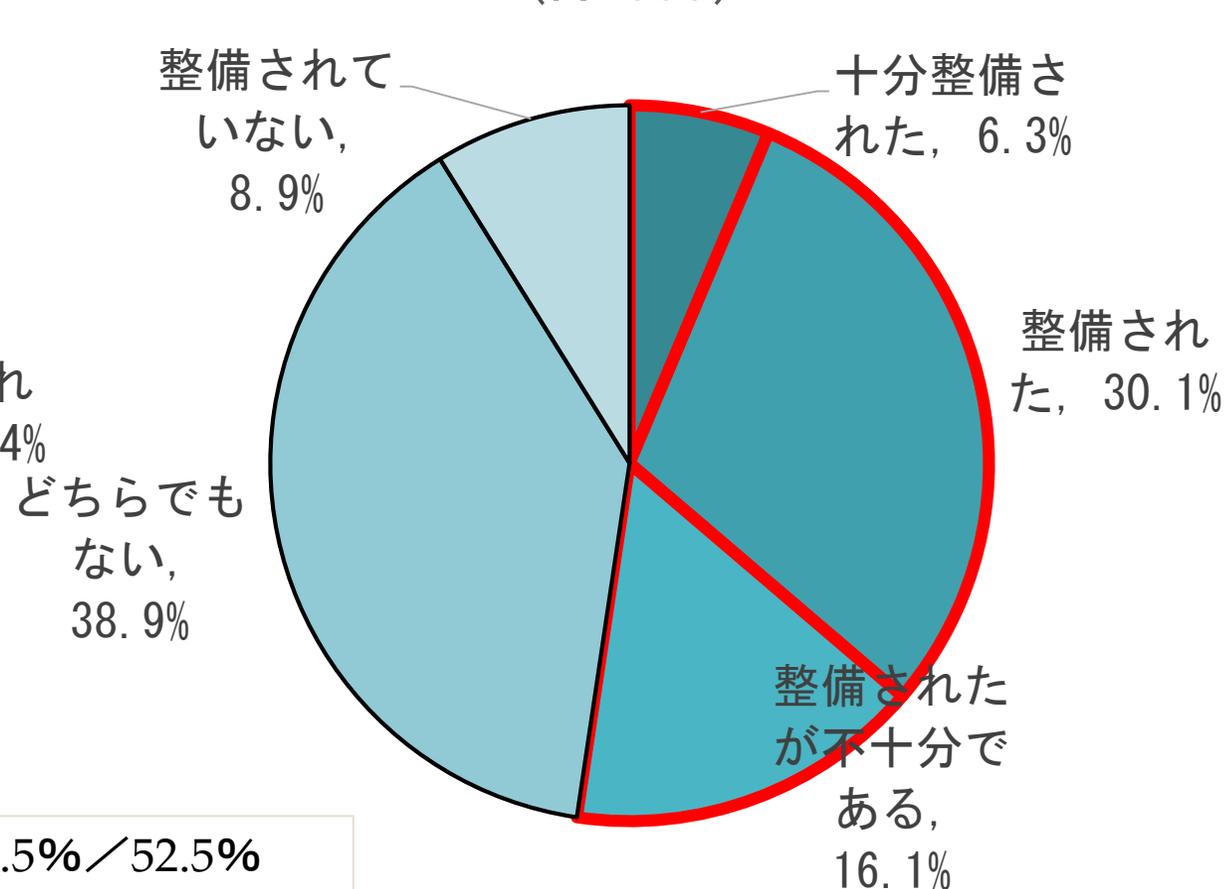
使用できる情報収集手段 (複数回答/N=597)



5年前との比較～町内会での見守り～  
(N=560)



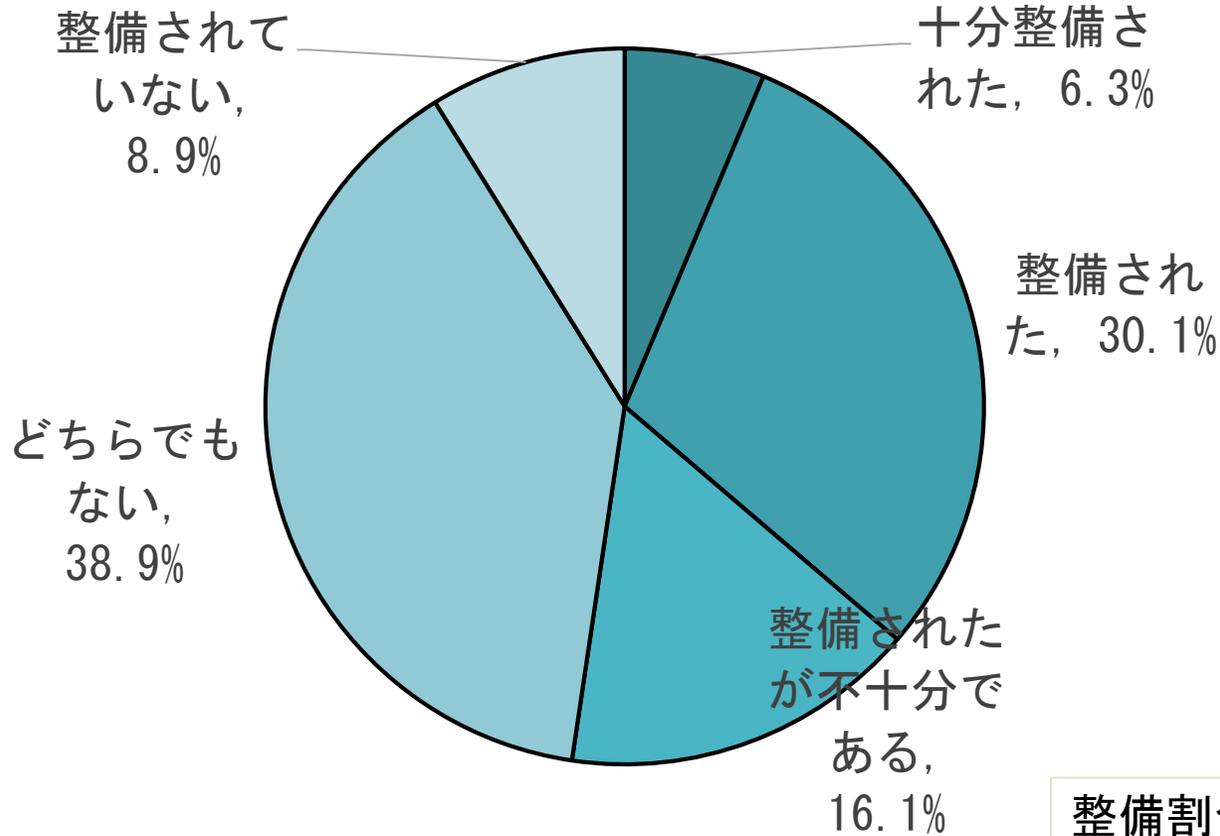
5年前との比較～組織化された見守り～  
(N=555)



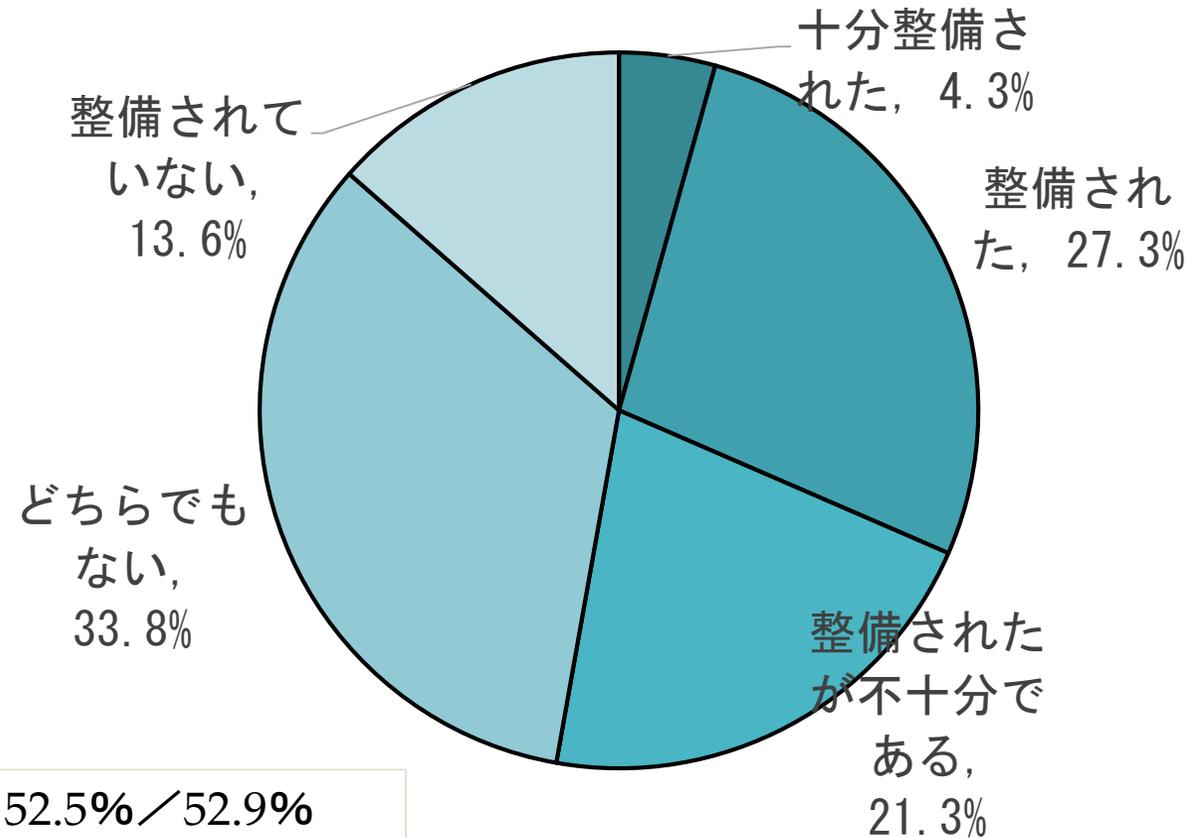
整備割合 58.5% / 52.5%

町内会単位から発展した組織化の見守りは大きな差異が見られないことから、地域における見守り活動はおおむね組織化されたうえで行われているものととらえられる。

5年前との比較～組織化された見守り～  
(N=555)



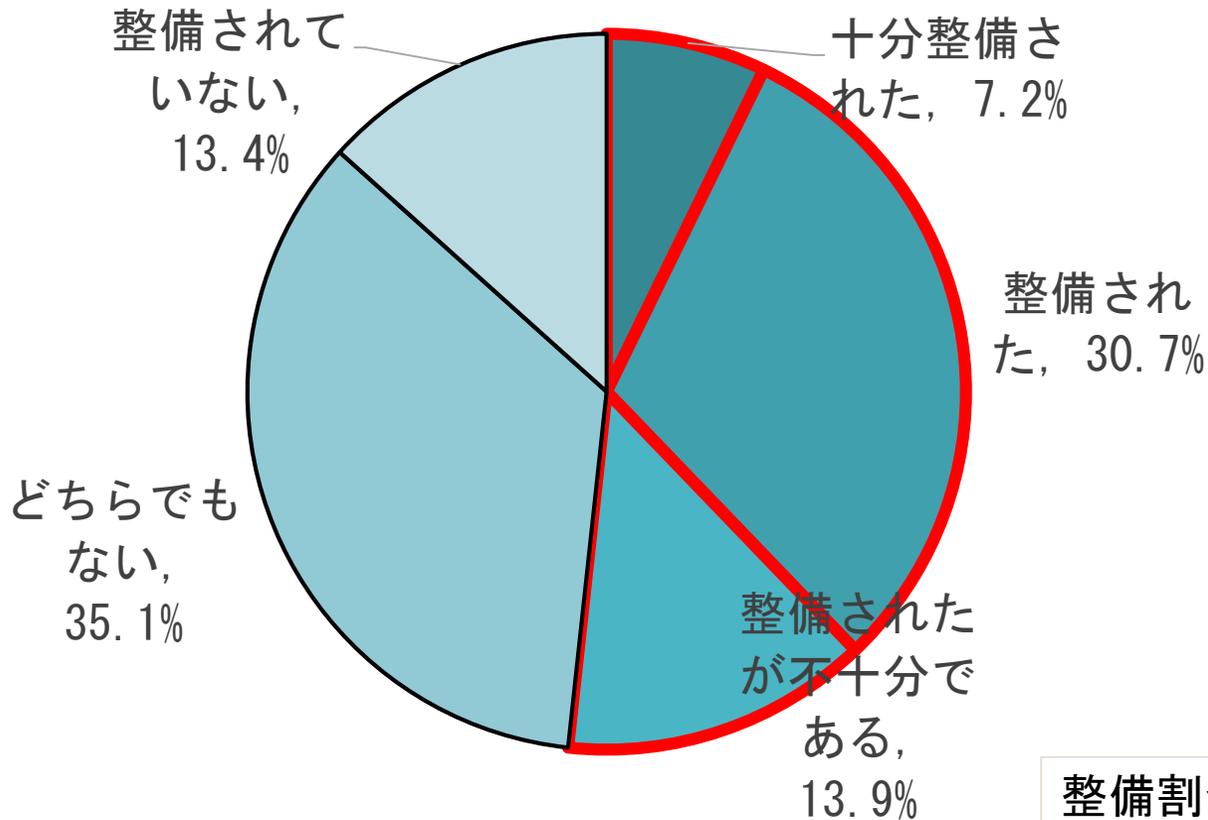
5年前との比較～災害時安否確認体制～  
(N=556)



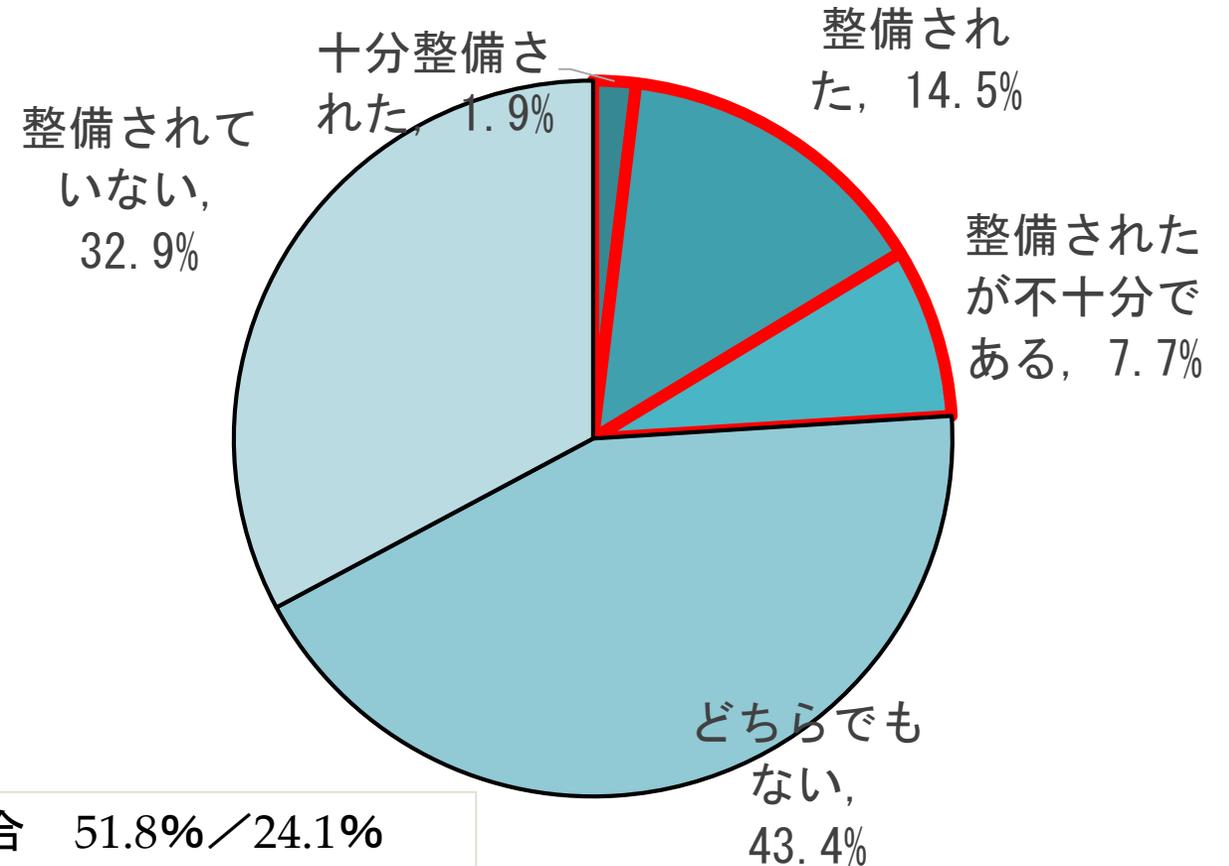
整備割合 52.5%/52.9%

組織化された見守り体制と災害時安否確認体制の整備割合にほとんど差異が見られないことから、災害時体制の整備には組織化が必要であることが分かる。

5年前との比較～高齢者の集いの場～  
(N=556)

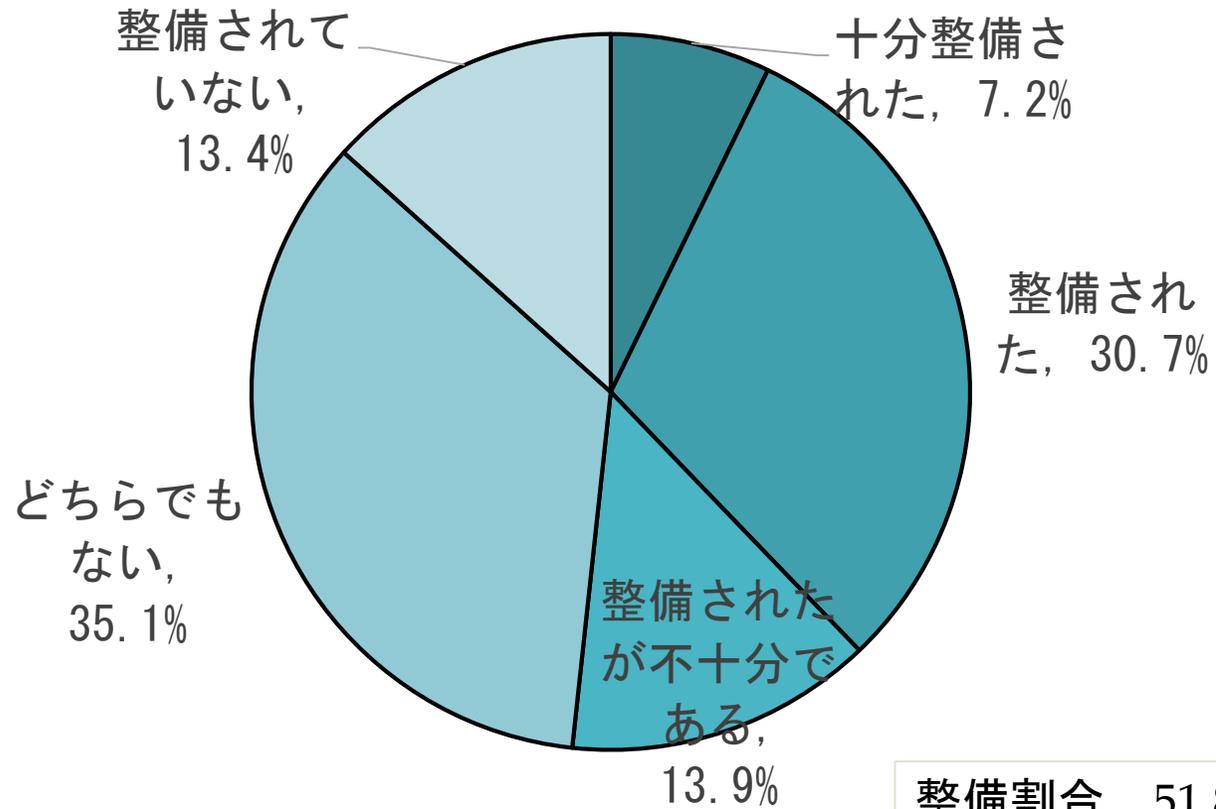


5年前との比較～子育て世代の集いの場～  
(N=521)

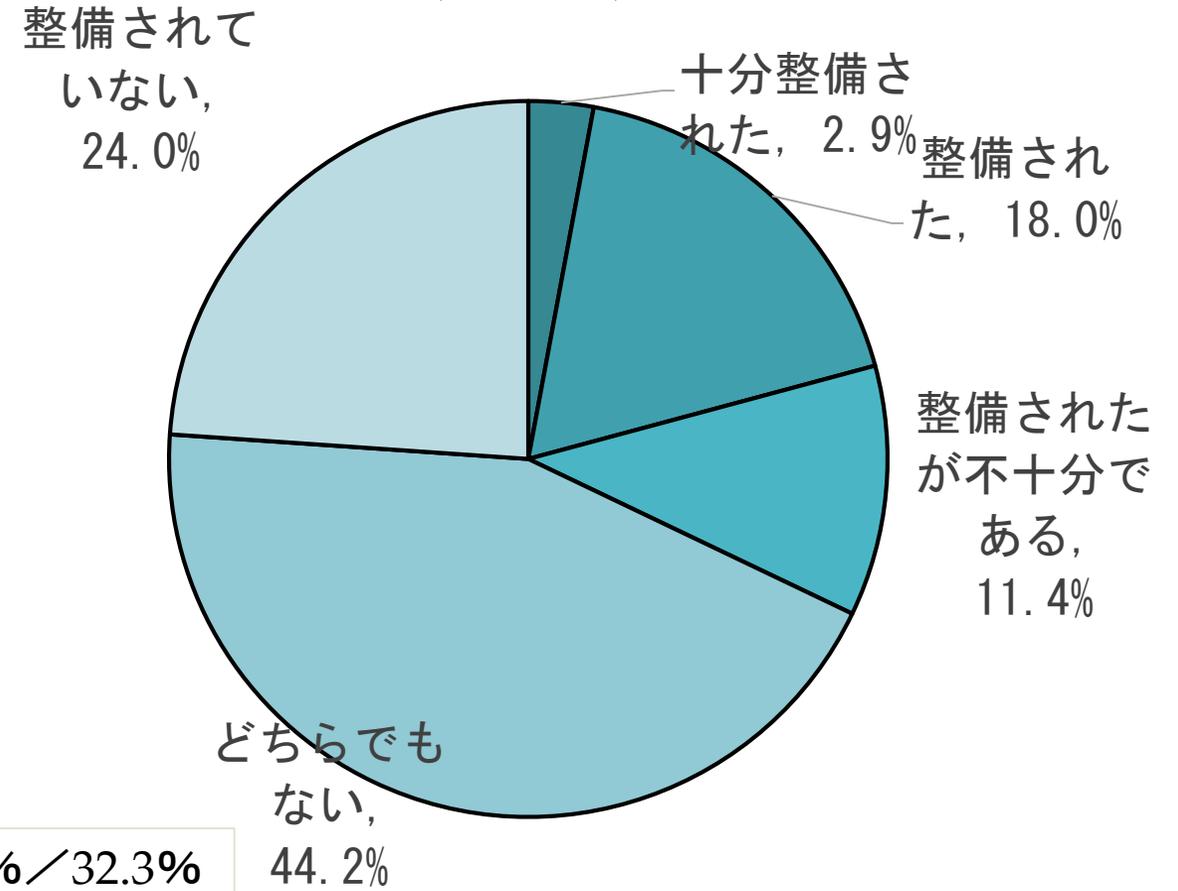


高齢者と比較し住民主体の子育て世代の集いの場が整備されていないとの割合が高いが、現在子育て支援センターなど公的な場が整備されている影響があるものと考えられる。

5年前との比較～高齢者の集いの場～  
(N=556)



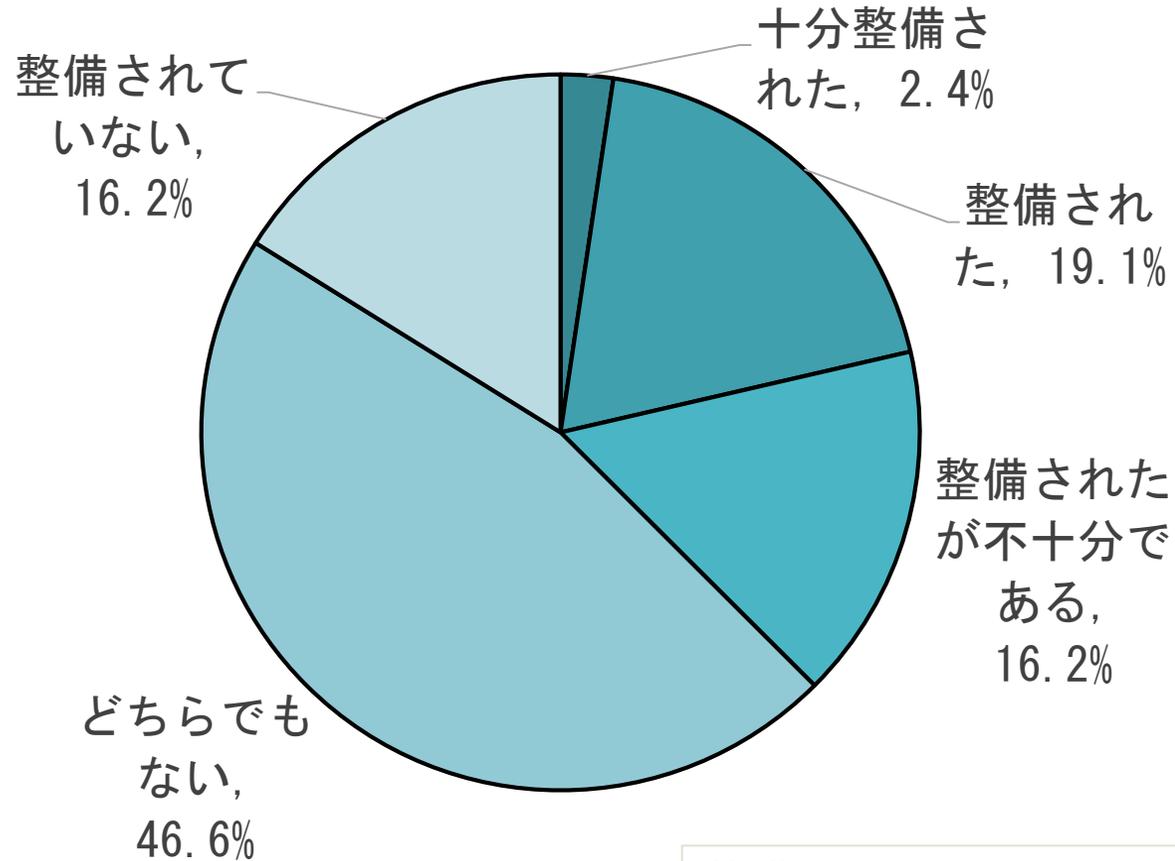
5年前との比較～介護予防～  
(N=548)



整備割合 51.8% / 32.3%

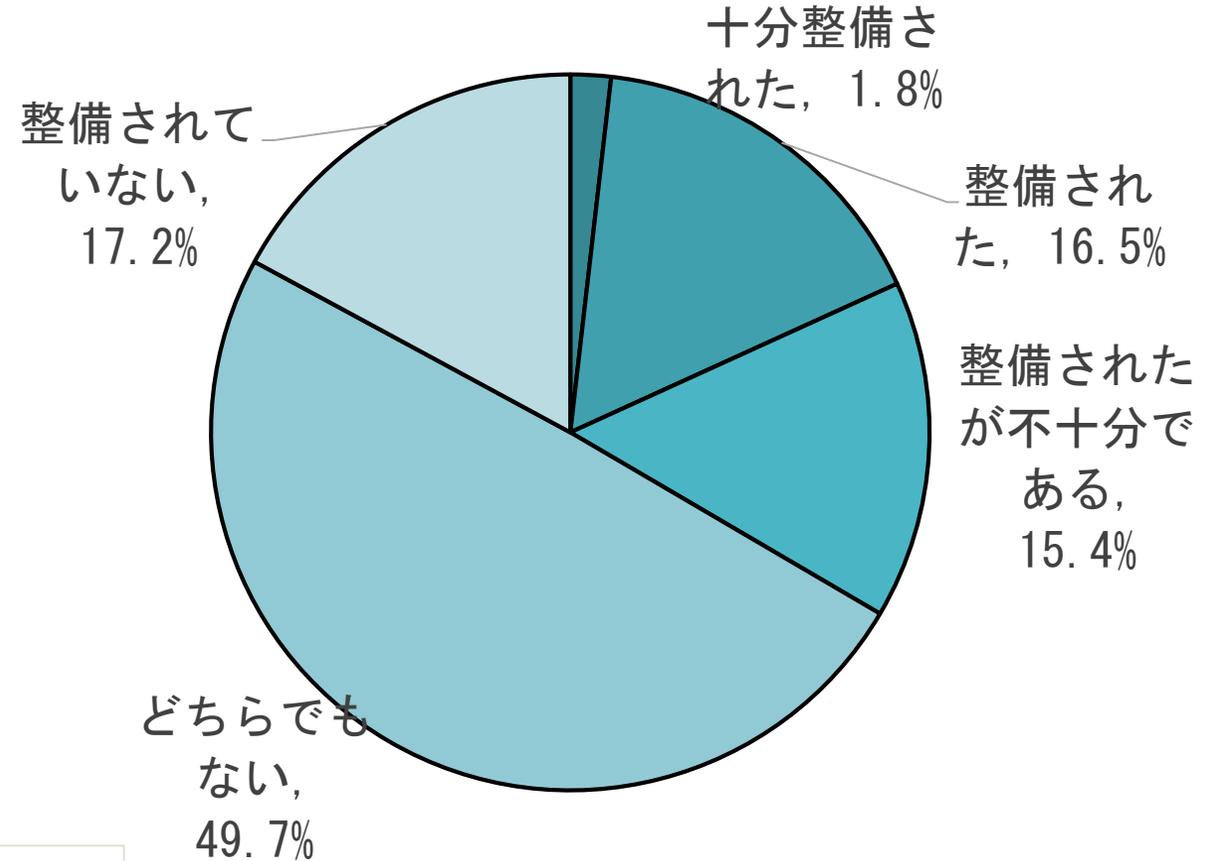
これらに明らかな違いがみられることから、高齢者の集いの場が必ずしも介護予防の機会とはなっていないことが見受けられる。

5年前との比較～福祉の学び～  
(N=522)



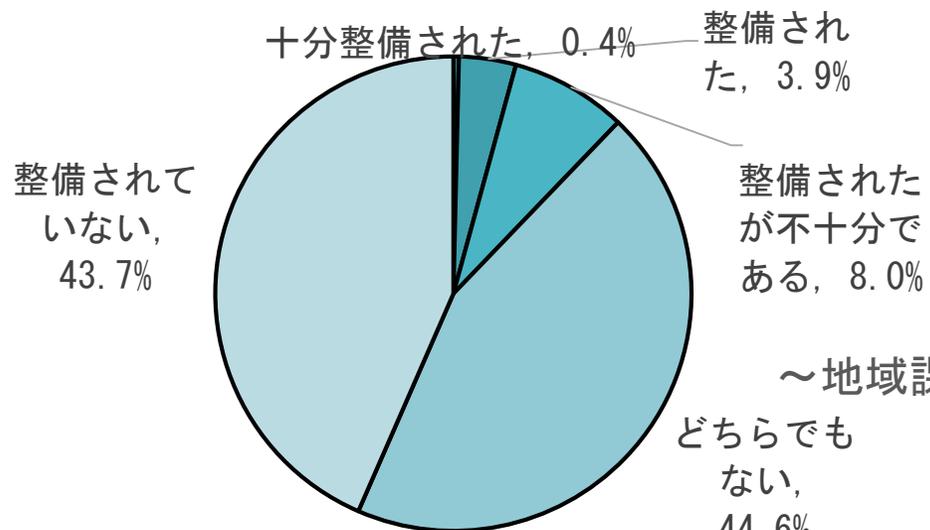
整備割合 37.7%/33.7%

5年前との比較～話し合う機会～  
(N=550)

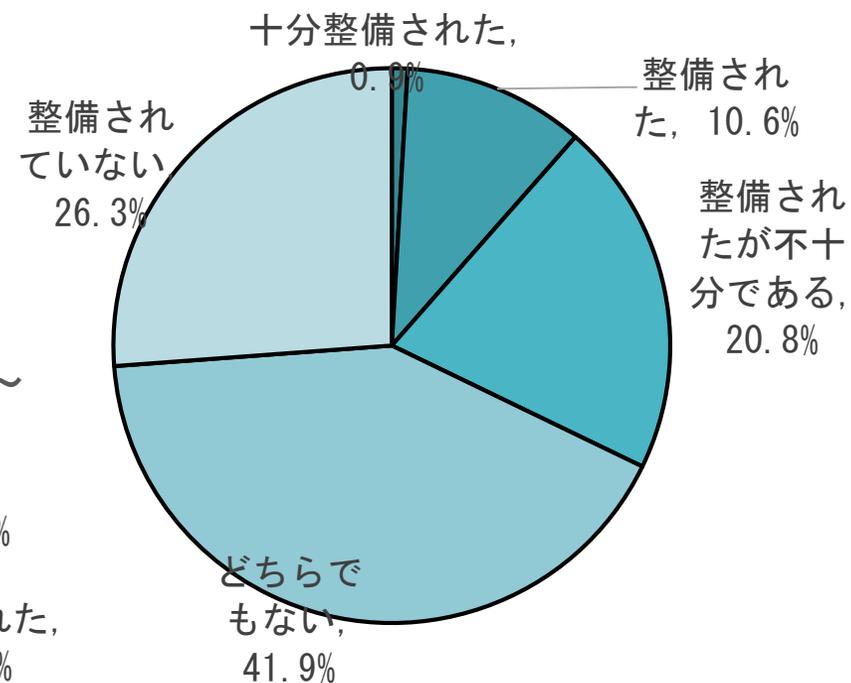


ほぼ同一の割合を示していることから、福祉について学ぶ機会と話し合う機会は一体的となっていると言えるのではないだろうか。

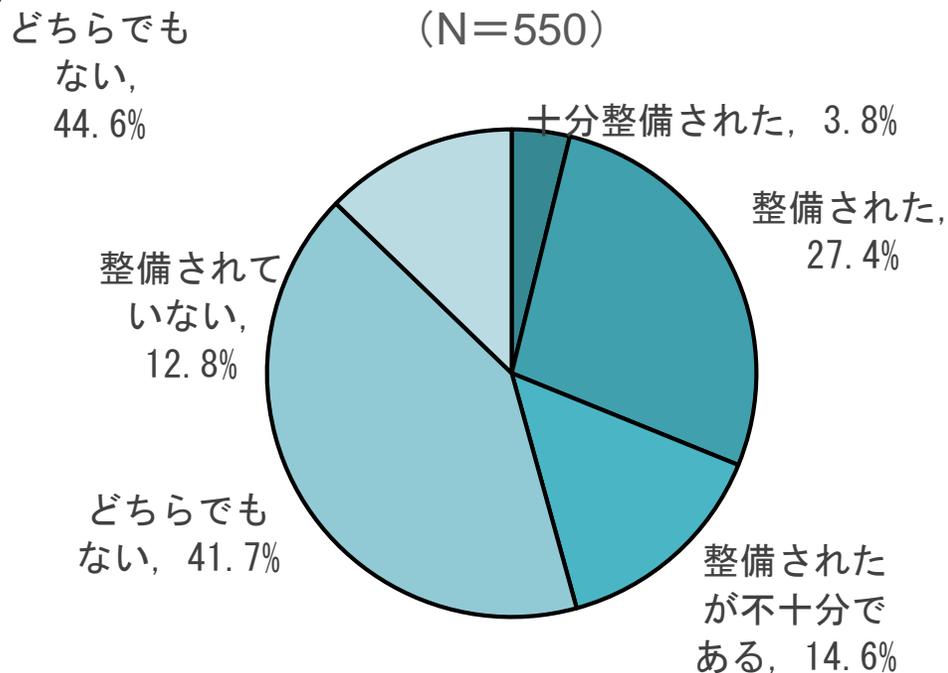
5年前との比較～買い物～  
(N=543)



5年前との比較～人材育成・確保～  
(N=550)



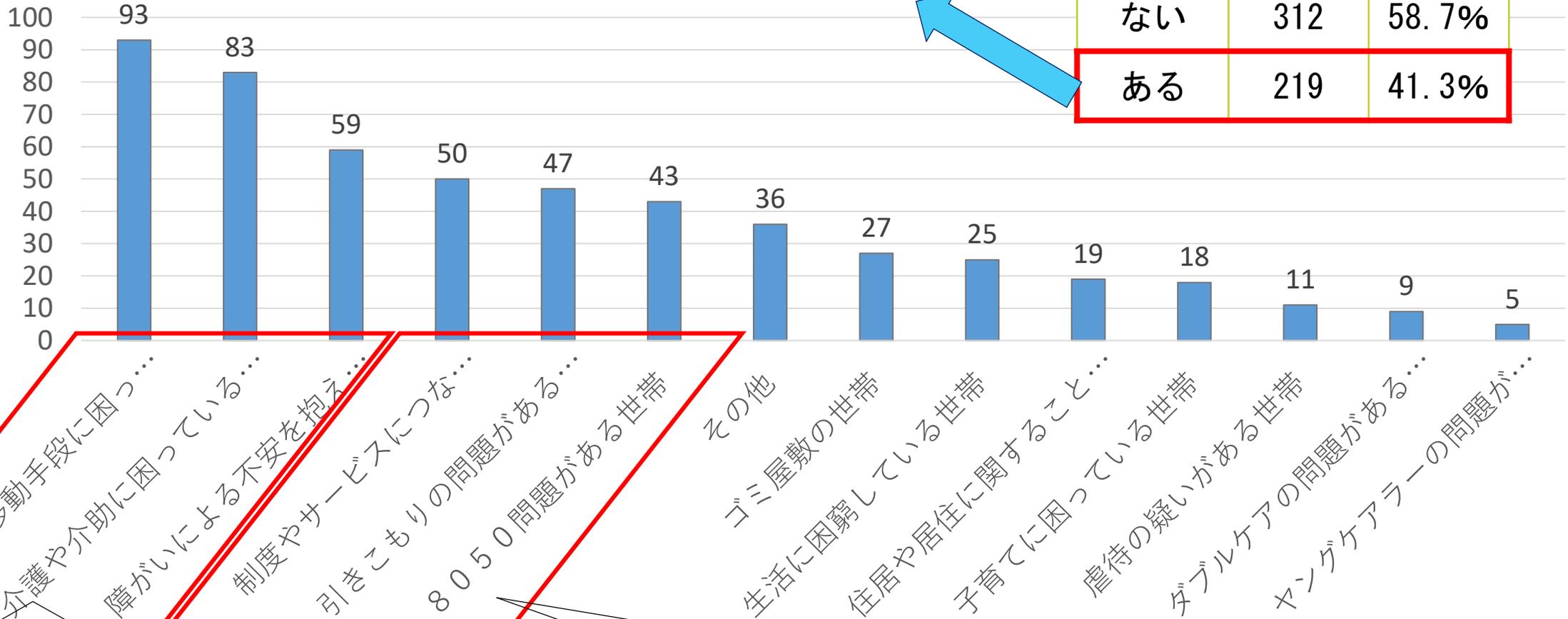
5年前との比較  
～地域課題を解決するための連携体制～  
(N=550)



気になる世帯の内訳（複数回答）

気になる世帯の有無

ない	312	58.7%
ある	219	41.3%



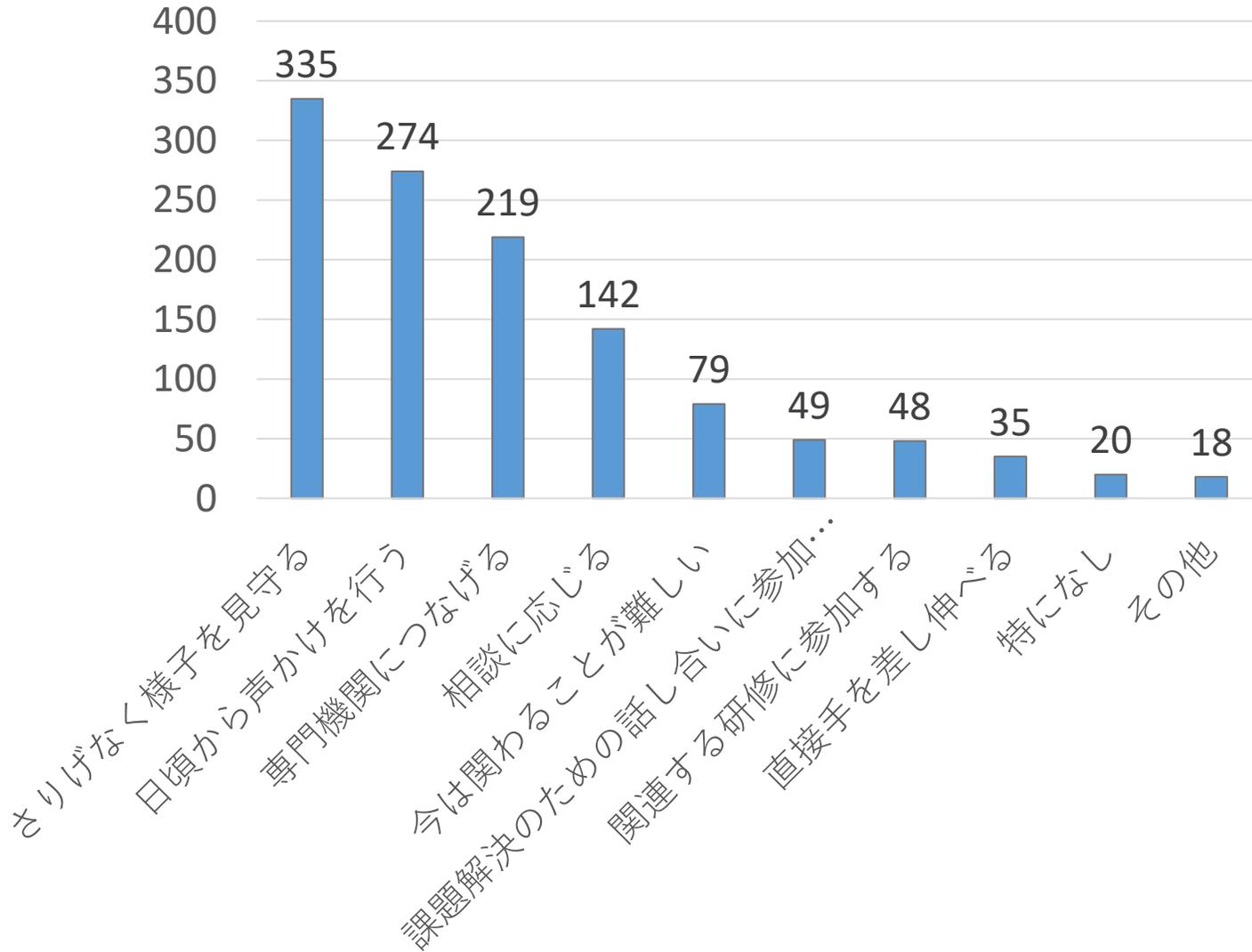
表出されており既存のサービス（保険、ハイヤーなど）で対応できる可能性がある内容

潜在化しており既存のサービス等だけでは対応が難しい内容

## 気になる世帯の自由回答

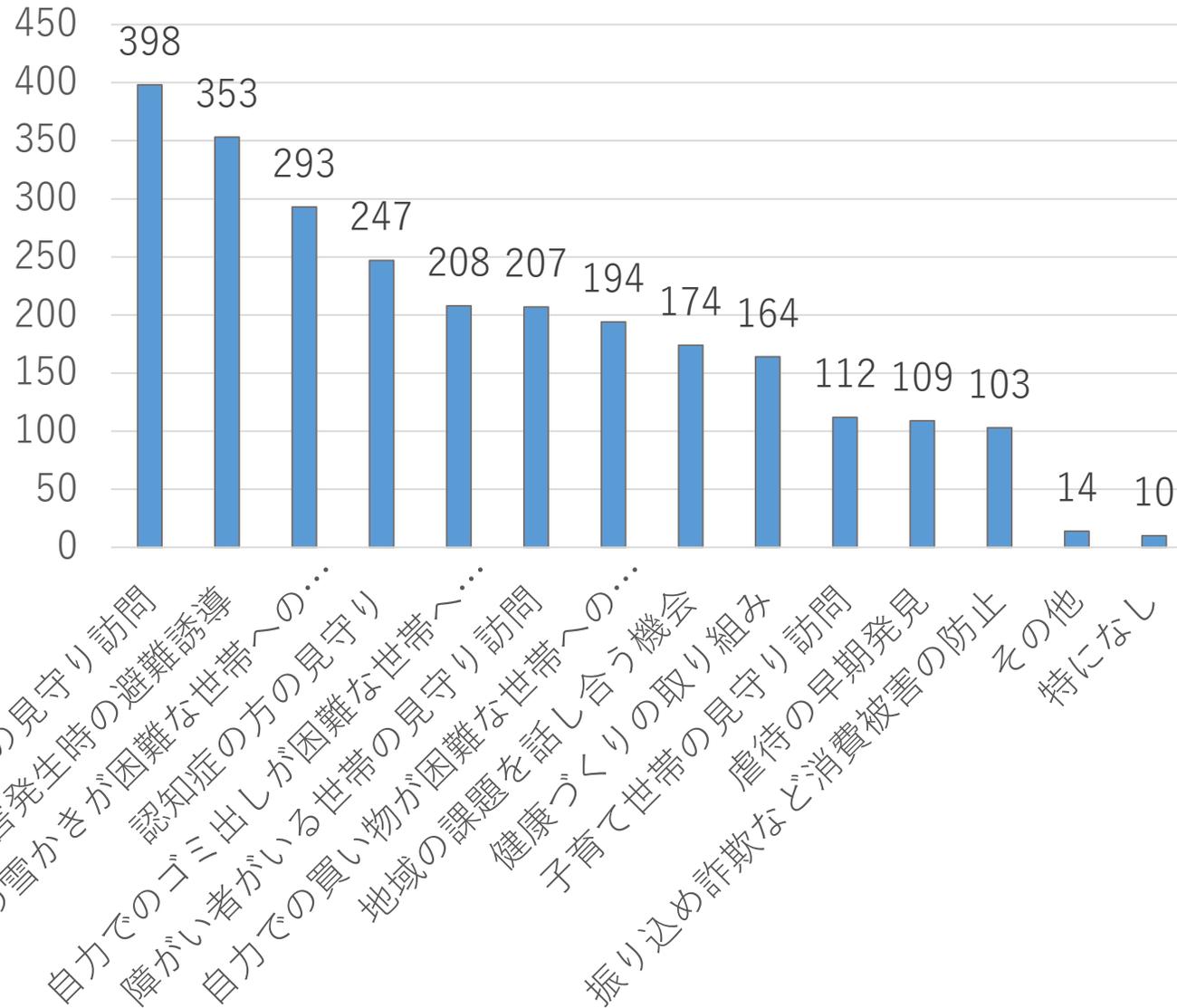
- ・ 70歳以上の1人世帯
- ・ なかなか目に見えない、聞こえてこない所があるように思います
- ・ 空き家の老朽と雑草親のどなり声、子供に対する虐待？
- ・ 高齢の一人暮らし世帯
- ・ ギャンブル依存に伴う困窮
- ・ 高齢のためゴミ出しに困っている～現在は近所で協力し合っている
- ・ 深いかかわりがないのでわからない
- ・ 日常生活上での不自由さ（自身でできない）
- ・ 短期間の住居、町内会未加入と空き家の老朽化
- ・ 高齢者世帯で夫婦2人共来訪者との意思疎通が難しい
- ・ 年齢40歳くらい、男性、短大卒後一度も働いたことない

気になる世帯への関わり方（複数回答／N = 509）



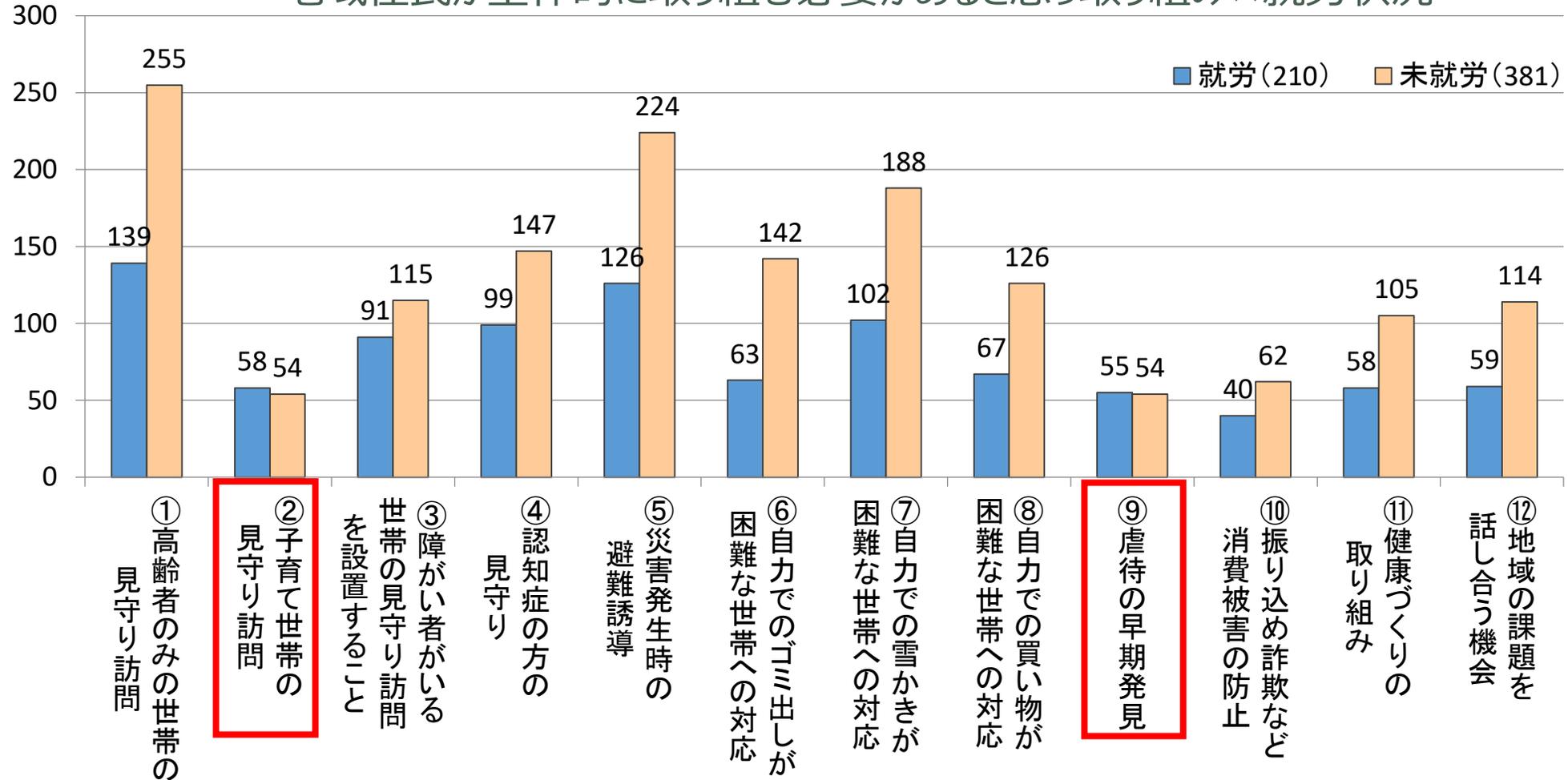
- ・ 近隣住民との情報収集をする
- ・ 町内会⇒相談支援⇒社協⇒行政の連携した支援
- ・ むずかしい課題である
- ・ 気になる世帯の状況に応じての対応が必要と思います民生委員の方に話しておく
- ・ 様子を見ながら声かけをする
- ・ 関わるには自分自身の勉強が必要
- ・ コロナのため関わりは難しいが最小限度に声かけはするように心がけています。
- ・ 必要に応じた対処をする
- ・ 電話、自宅訪問する

地域の主体的な取り組みが必要だと思うもの（複数回答／N=581）



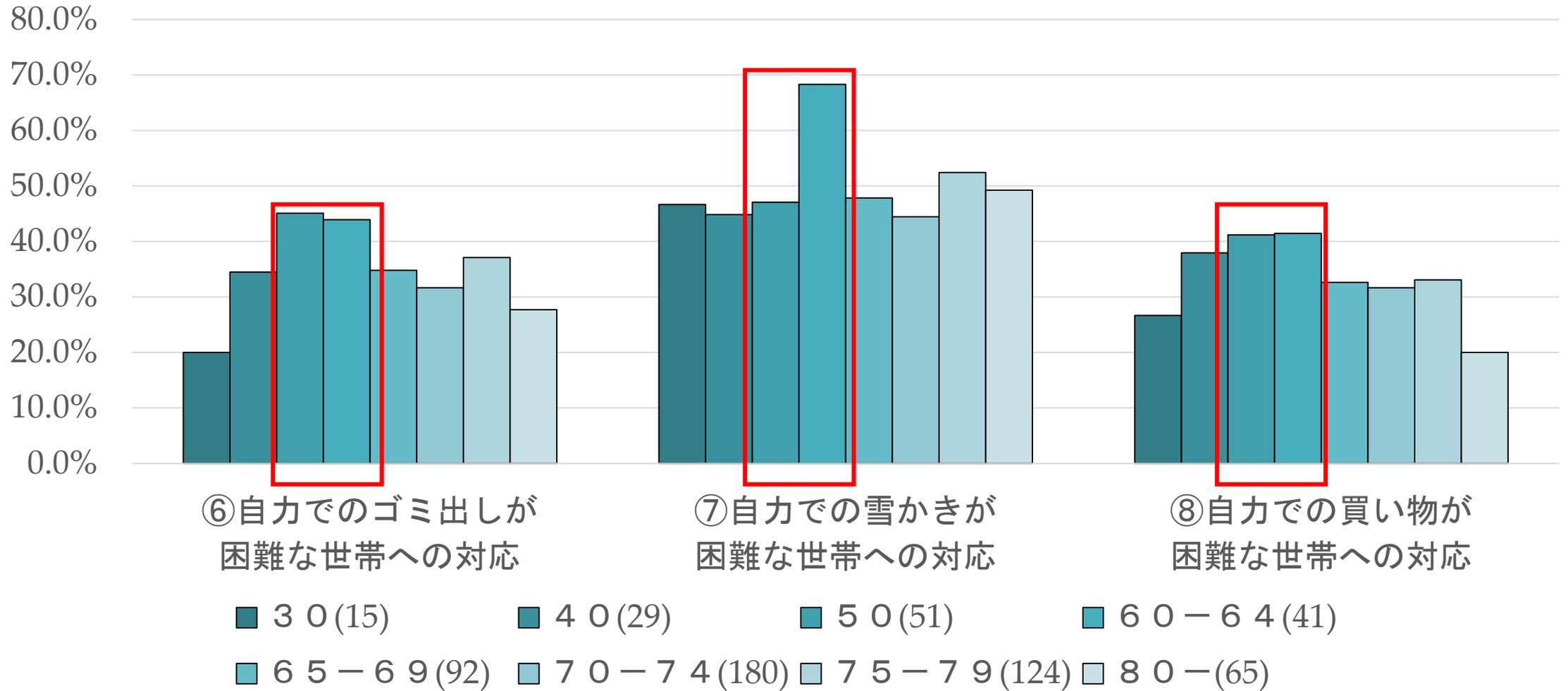
- ・自分や大切な人を守って暮らせる地域を望んでいますし、信頼されることも大事なひとつです。
- ・全部大切だと思うがなかなかできない。お節介だと思われ
- ・食材ならびに出来上がった食事を届ける
- ・ありのままのその人を認める、思いやる心をもって
- ・近隣者同志がたすけ合い、支え合いながら生活をされている様子がみうけられます
- ・そもそも住民主体の福祉活動に期待しすぎているのでは
- ・近所同士で気軽に話し合える雰囲気作りが出来る事

## 地域住民が主体的に取り組む必要があると思う取り組み×就労状況



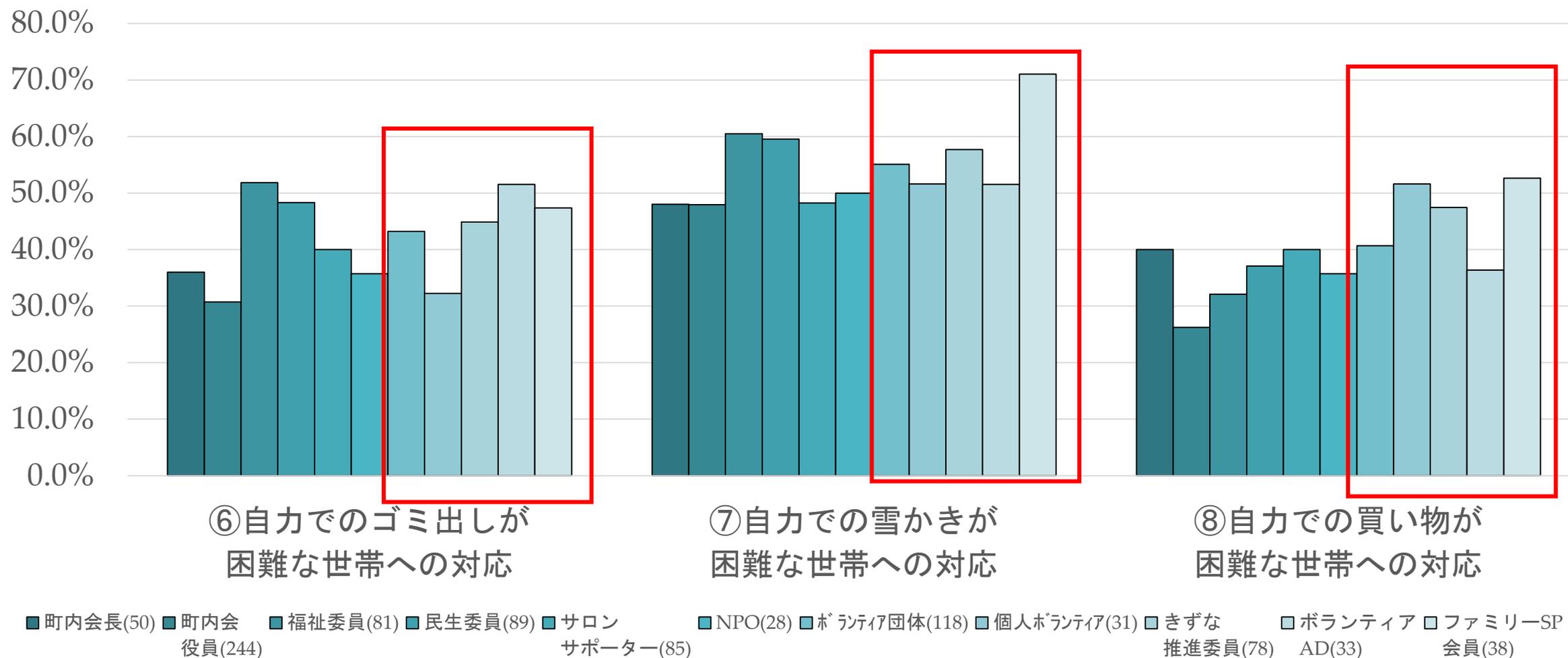
子育て世帯の見守りや虐待の早期発見など子どもに関わりがある設問のみ就労している方の回答が高かった。⇒子ども関係の取り組みであれば就労中の方でも取り組む意欲が高いのではないか。

## 地域住民が主体的に取り組む必要があると思う取り組み×年代



いわゆる生活支援といわれる設問について、50～64歳の割合が高い。  
 また雪かきについては全世代で高い割合を示している。  
 ⇒生活支援を具現化していくための、ターゲットとなるのではないだろうか。

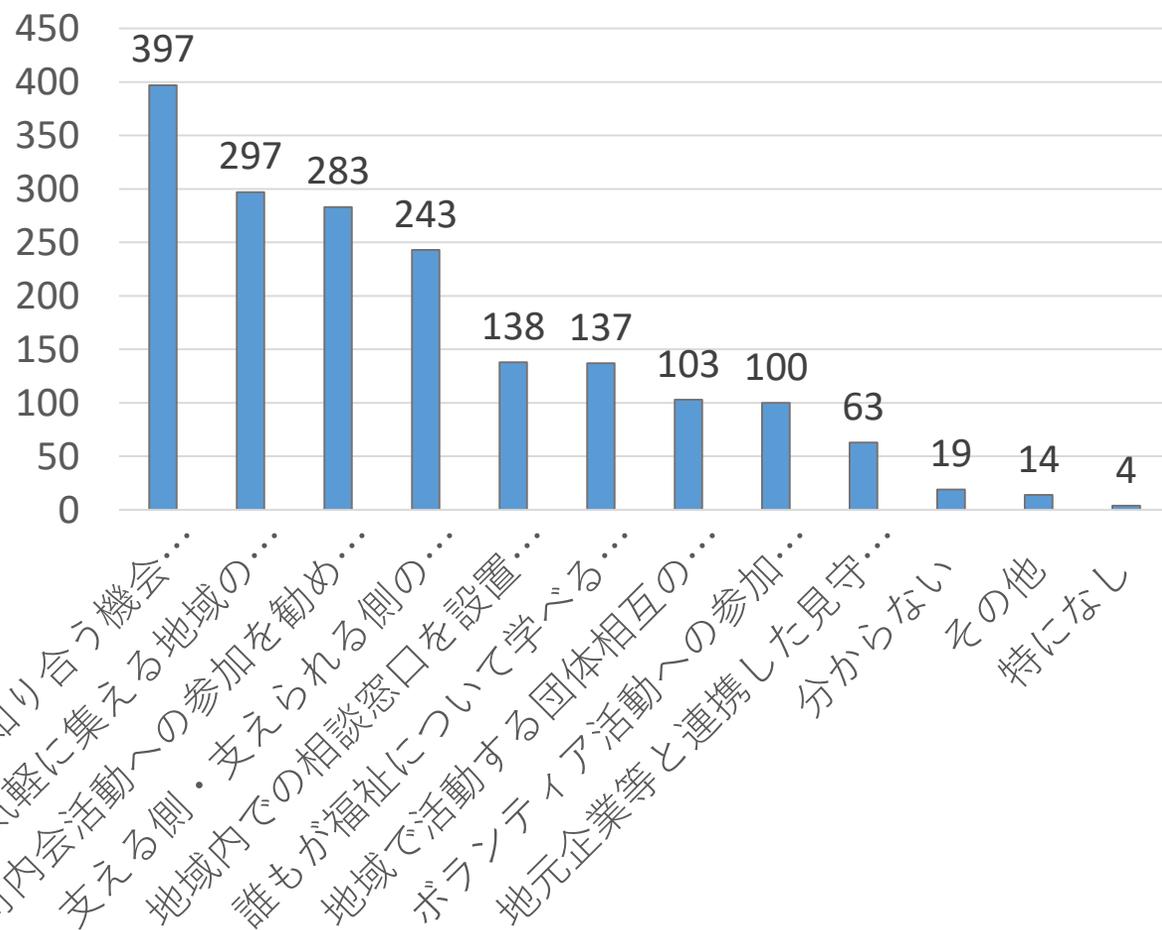
## 地域住民が主体的に取り組む必要があると思う取り組み×活動内容



また町内会外での取り組みをする活動者の生活支援の割合が高く示しており、既存の地域活動以外での生活支援の取り組みも検討の余地もあるのではないだろうか。

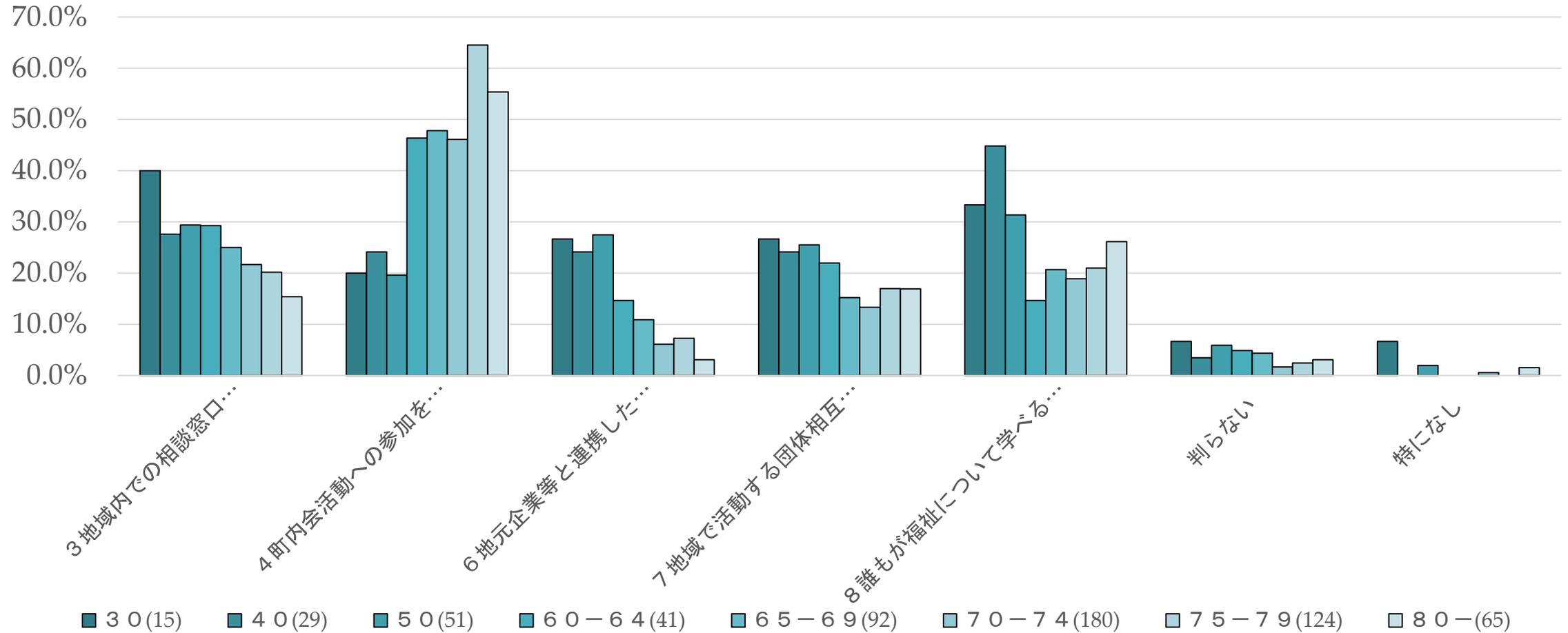
## 住民がともに支え合う地域に必要な取り組み

(複数回答／N=584)



- ・顔を合わす機会が多い程なんでも話していただけていると思っています。
- ・次世代への活動への参加をすすめる手を差し伸べても「No」と言われる人にどうすべきか？「迷惑をかけられない」と思っている人
- ・住民主体のボランティアをあてにするのはどうか？あくまでも自治体が汗を流すのが基本と思う。
- ・隣近所への支え、特に独居老人宅
- ・現状はコロナのため難しいと思いますが落ち着けば(コロナ)積極的に活動していきたいと思っています
- ・地域の民生委員と町内会福祉担当との情報交換
- ・場を作っても参加してこない

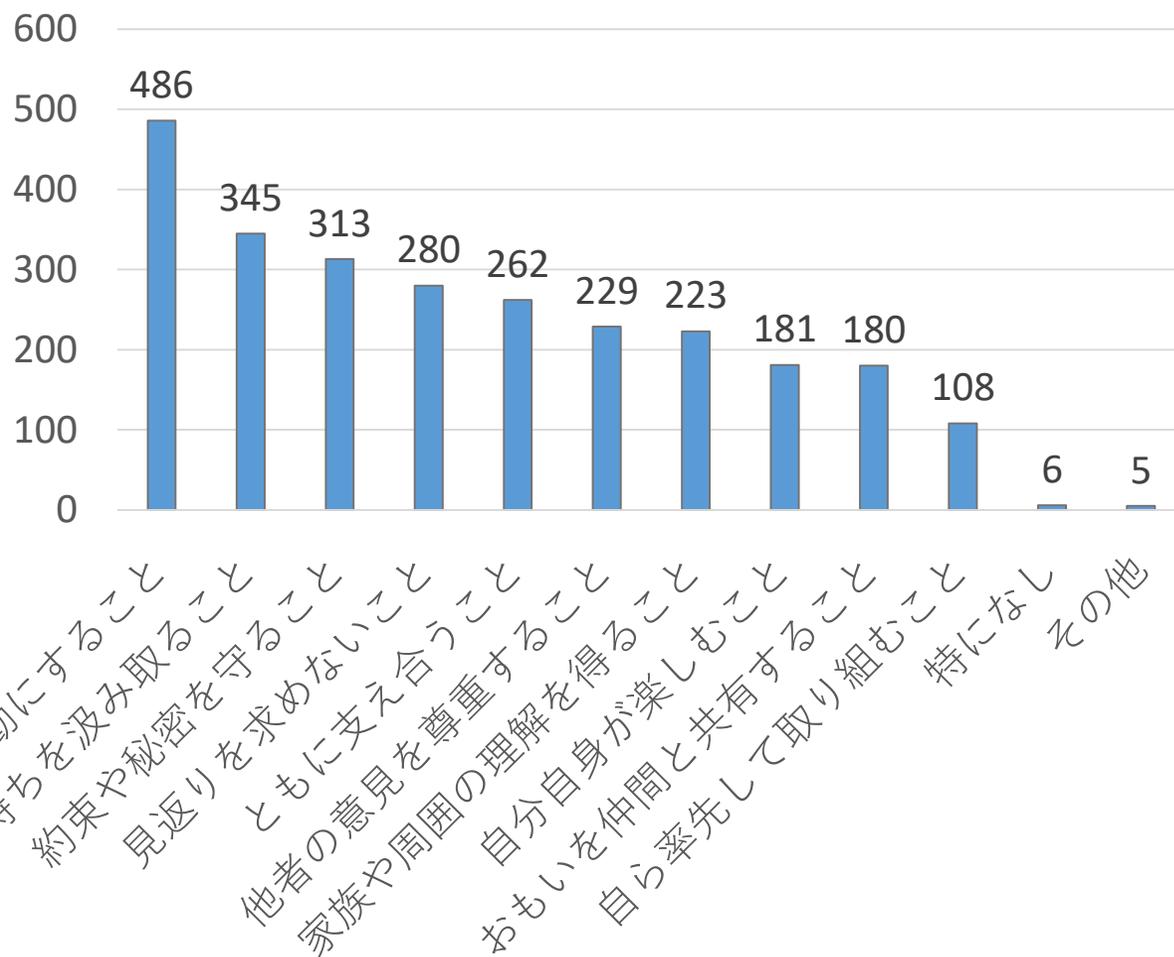
## 住民がともに支え合う地域をつくるために必要な取り組み×年代



世代ごとに大きな差異が見られる選択肢を列挙した。  
これらの世代間の意識の違いについて留意しながら進める必要がある。

## 住民がともに支え合う地域に大切な心掛け

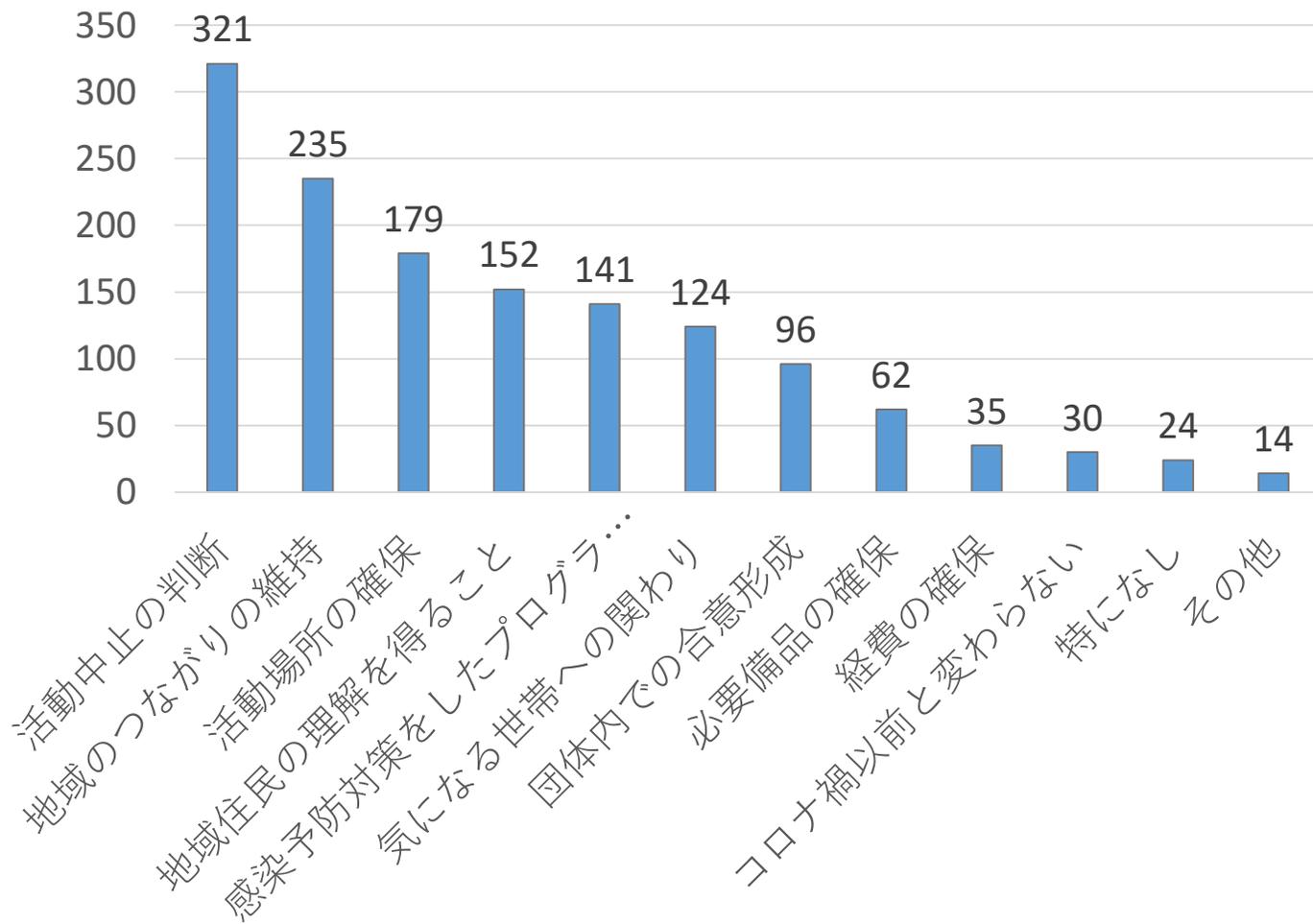
(複数回答／N=584)



- ・ お互い様と思うこと
- ・ プライドを傷つけないような手助けの仕方。気になる人はいるが成人だし年上だしあまり知らない人だし私が出て行っても...と思う。「市の職員です」などの方が窓口となって手助けするのがその方も受け入れやすいのかなと思う。「助けて」と言えない人の手助けが必要です。
- ・ 他者に対しての関心を持つこと
- ・ すべて心掛けが大切だと思います。○をつけた所は特に感じた部分です
- ・ 町内会加入と周辺（近所）の理解

## コロナ禍における福祉活動で難しいこと

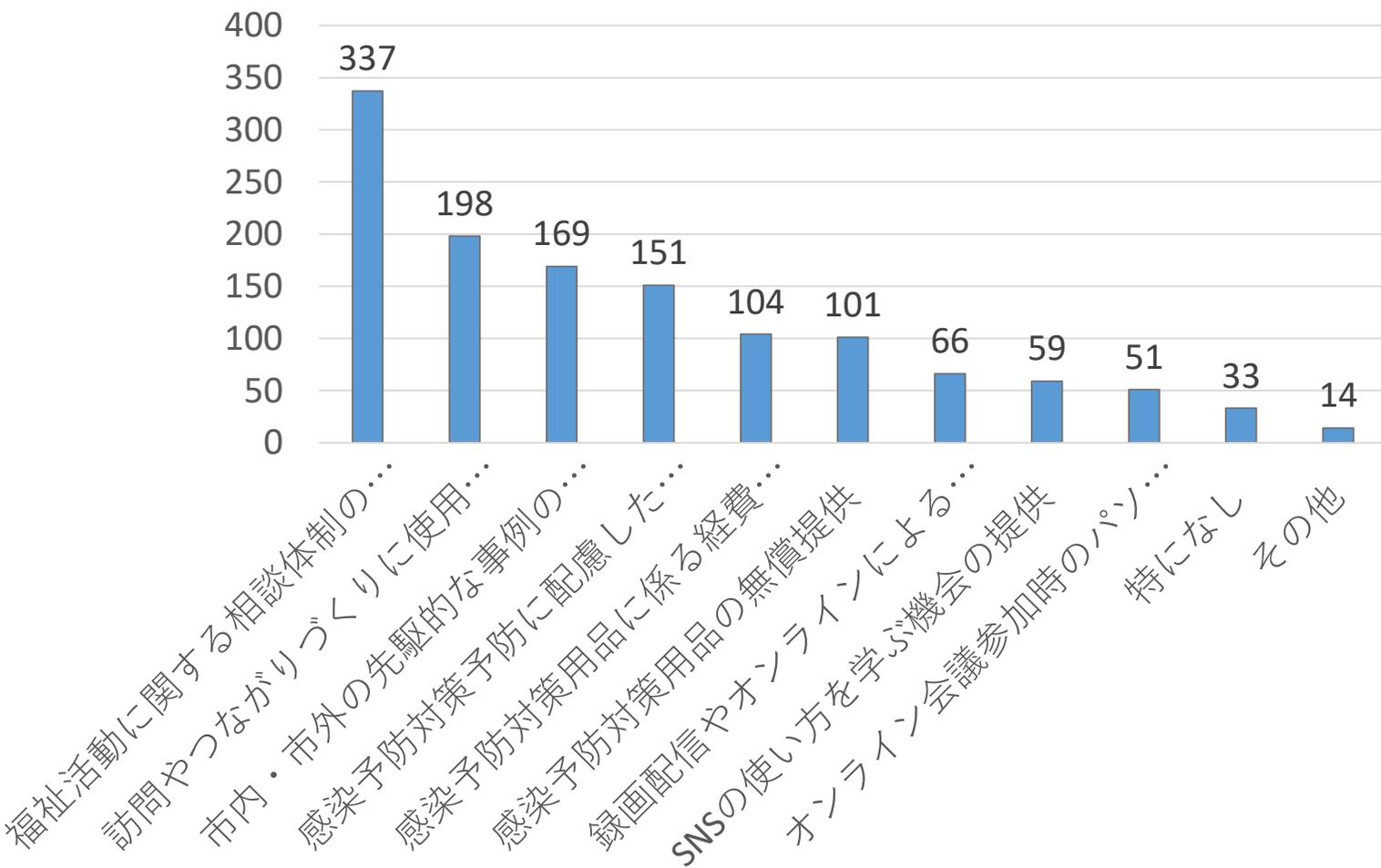
(複数回答／N = 569)



- ・ 直接会ってサポートする際にコロナ禍ということもあり相手の健康状態によっては自分の家族への影響をも考えてしまうこともあり、コロナ以前のような積極的な気持ちにブレーキがかかってしまうこともあります。逆にコロナ禍では本来助けを求めたいがこの状況にあることによってそれがしづらい方たちも多いのではないかと懸念しています。
- ・ 場所が狭いため密になることの心配
- ・ さりげなく現況を聞いたりしてつながりを持つ
- ・ ほとんどの活動ができない
- ・ 自分も段々と年齢を重ねるに伴い、周りの人への協力・支援がおっくうになる時があります
- ・ 会議、会合、行事等が行えず人とのコミュニケーションが失われたこと

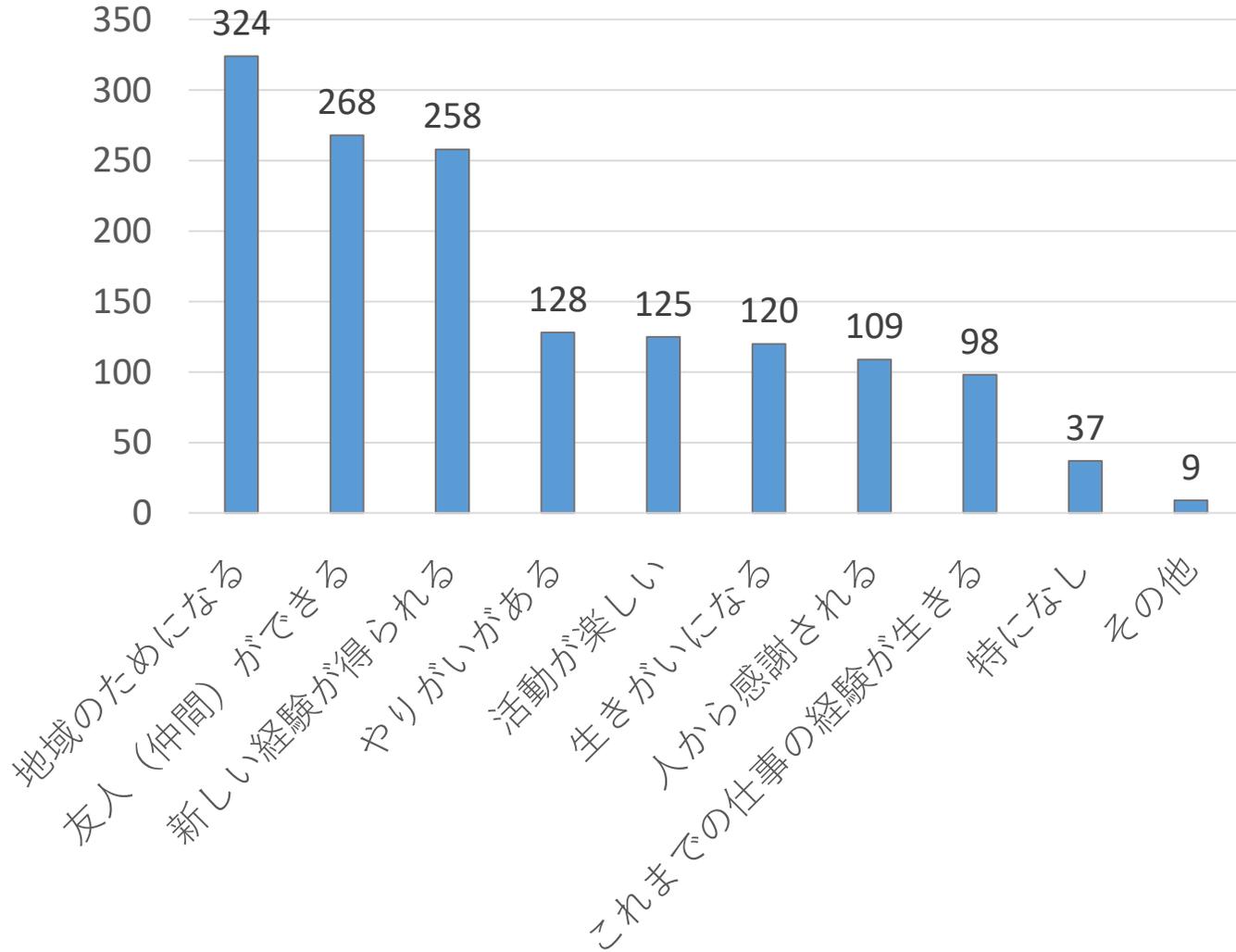
## コロナ後も福祉活動を停滞させないための取り組み

(複数回答／N=546)



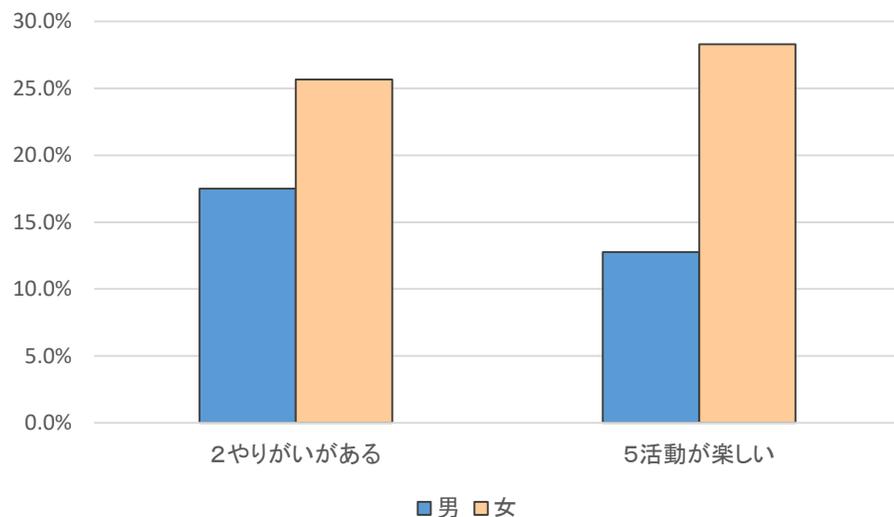
- ・ 独居老人がコロナ禍のような状況でもネットで交流できる環境づくり
- ・ 声かけ
- ・ 例年沢山の行事はやっておりませんが、町内会で実施されてる事柄の行事等は思う存分行きたいです。早くその様な時を願います。
- ・ 規則等の柔軟な運用について
- ・ お互いあまり負担にならない様に...気軽に声をかけ合える環境を...できればいいなあ〜と
- ・ TELするとか
- ・ 行政の指導により以前の活動を開始したい
- ・ わからない

## 福祉活動の魅力（複数回答／N=562）

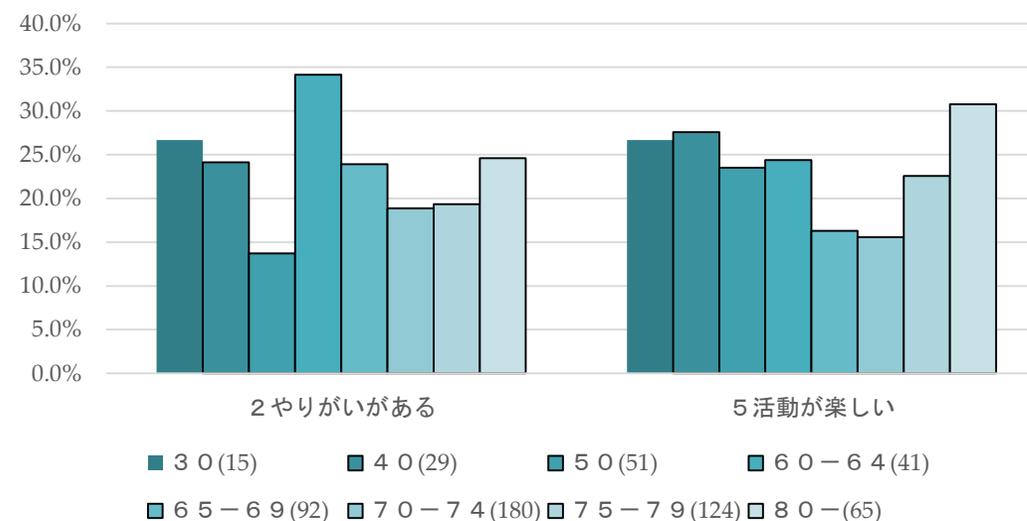


- ・ 地域のつながりができる事
- ・ 体力づくり、気分転換
- ・ 無理はしない
- ・ 地域の情報がわかる
- ・ 互助
- ・ 私自身は福祉活動は好きではないです
- ・ つかい道
- ・ 自分が地域から必要とされている（気がする）
- ・ プライバシーを守りながら困った時に助け合える状況にならないと魅力は生まれないと感じる
- ・ 自分も高齢者に近くなるにつれ、自分は何か役に立つことがあるのだろうかと思うこともあります。

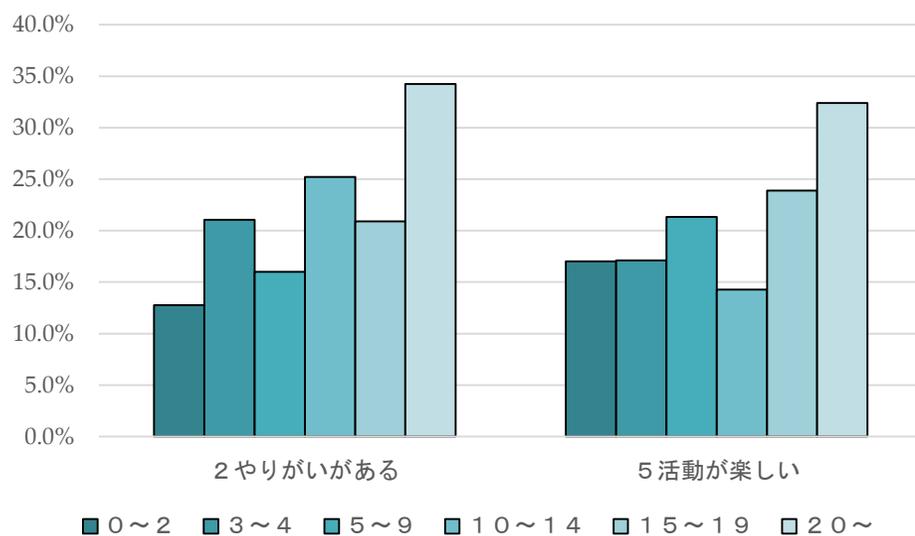
福祉活動の魅力×性別



福祉活動の魅力×年代



福祉活動の魅力×活動年数



やりがいを感じにくいのは  
「男性」「50代」「経験年数0~2年」

楽しさを感じにくいのは  
「男性」「65~74歳」「経験年数10~14年」

これらの層をターゲットにやりがいや楽しさを揺り起こす方策の検討が必要ではないだろうか。

# 1. アンケート調査の結果について（事業所向け）

## 【基本情報】

回答数	72	回答率	78.3%
-----	----	-----	-------

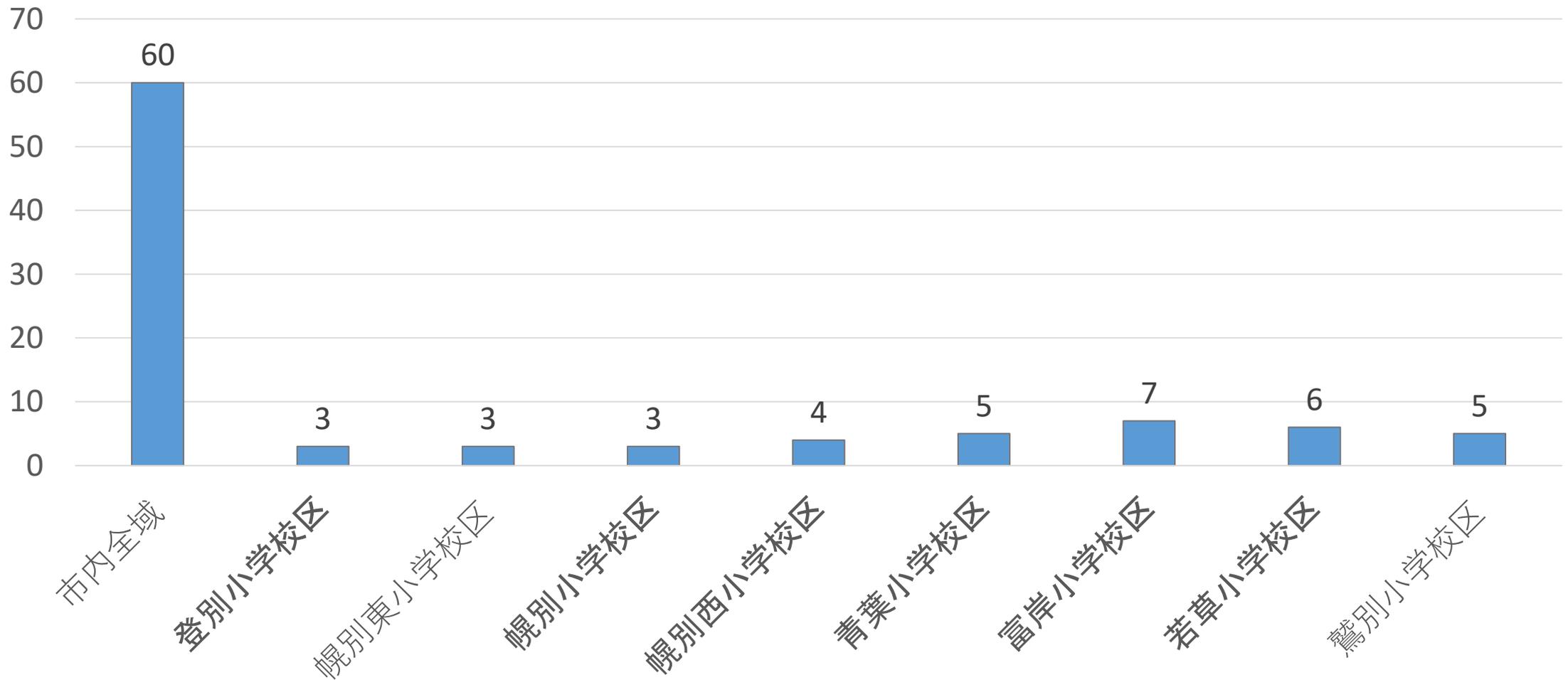
大区分	事業所区分	回答数	区分別回答率
高齢者	地域包括支援センター	3	100.0%
	居宅介護支援	7	63.6%
	訪問介護	5	83.3%
	訪問看護	4	80.0%
	訪問リハビリ	2	100.0%
	居宅療養管理指導	1	100.0%
	通所リハビリ	4	100.0%
	通所介護	5	83.3%
	地域密着型通所介護	3	60.0%
	短期入所生活介護	2	66.7%
	短期入所療養介護	3	75.0%
	介護老人福祉施設	1	50.0%

大区分	事業所区分	回答数	区分別回答率
高齢者	地域密着型介護老人福祉施設	1	100.0%
	介護老人保健施設	1	100.0%
	認知症対応型共同生活介護	6	100.0%
	小規模多機能型居宅介護	1	50.0%
	福祉用具貸与・販売	2	100.0%
障がい児者	障害生活介護	0	0.0%
	共同生活援助	5	71.4%
	計画相談支援	1	100.0%
	就労支援事業所	4	66.7%
	児童発達支援	2	100.0%
子ども	地域子育て支援拠点	3	100.0%
	幼稚園・保育所	6	75.0%

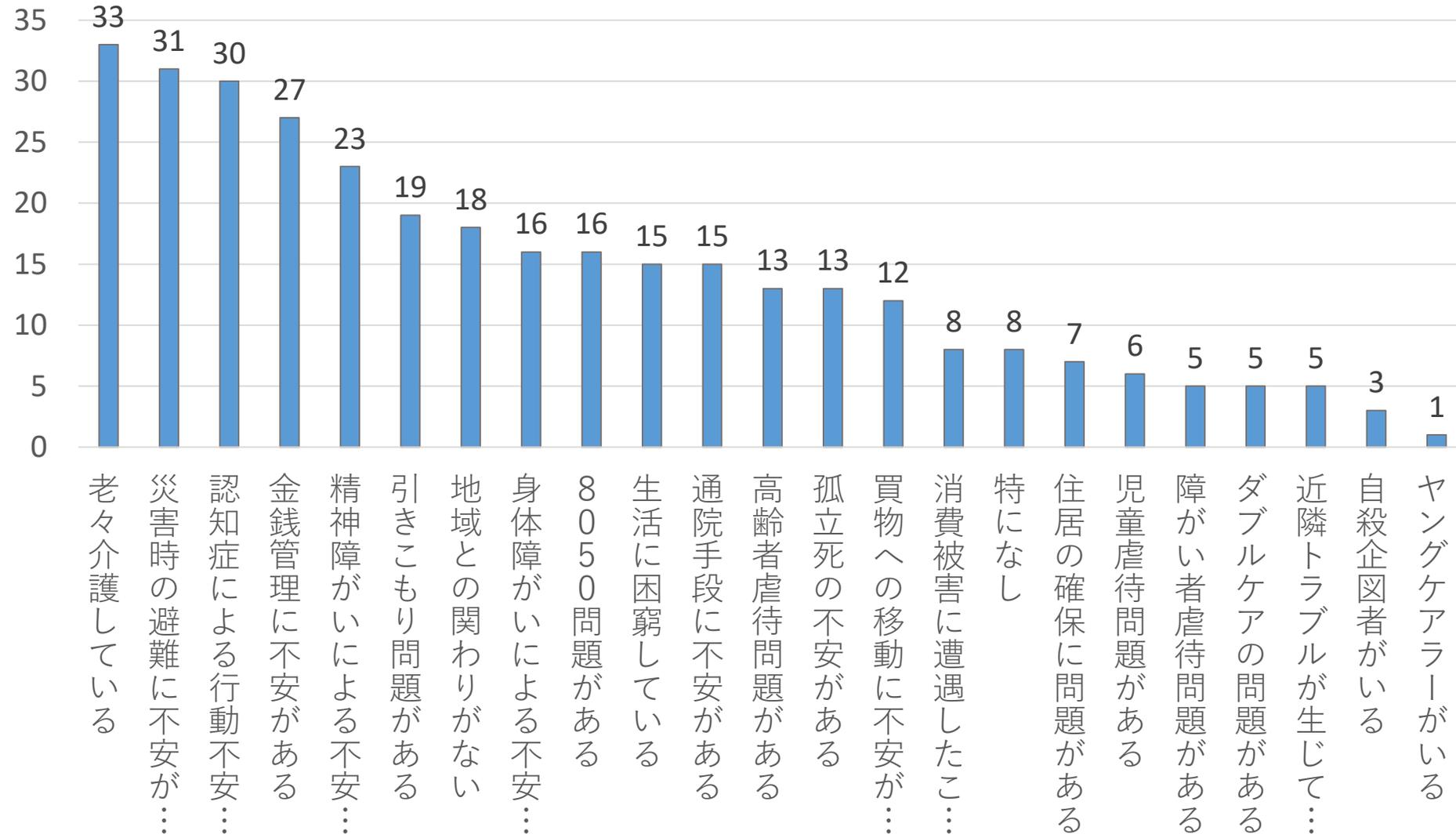
## 回答母数数

高齢者	51
障がい児者	12
子ども	9

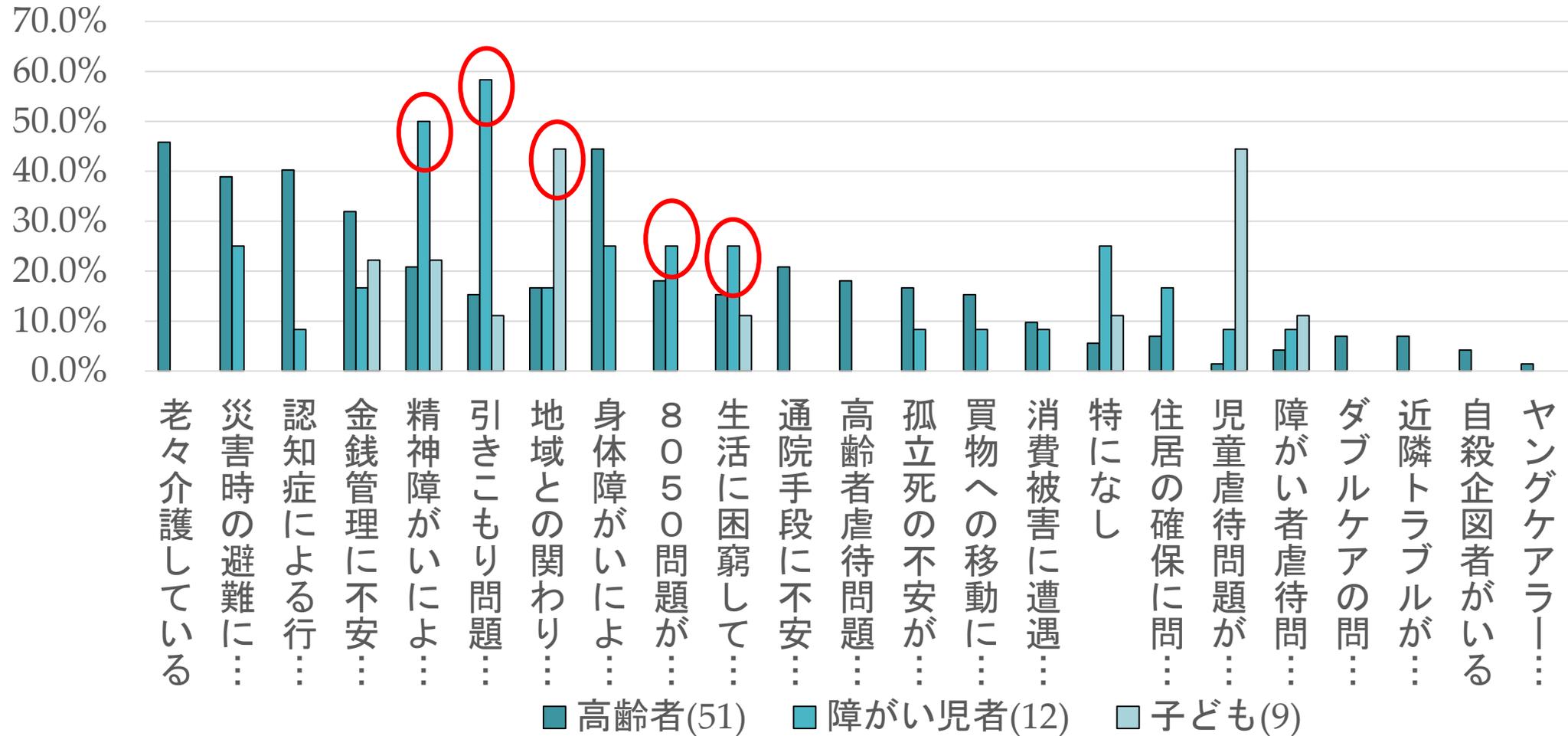
## サービス提供可能範囲



## 解決の難しい課題のある世帯

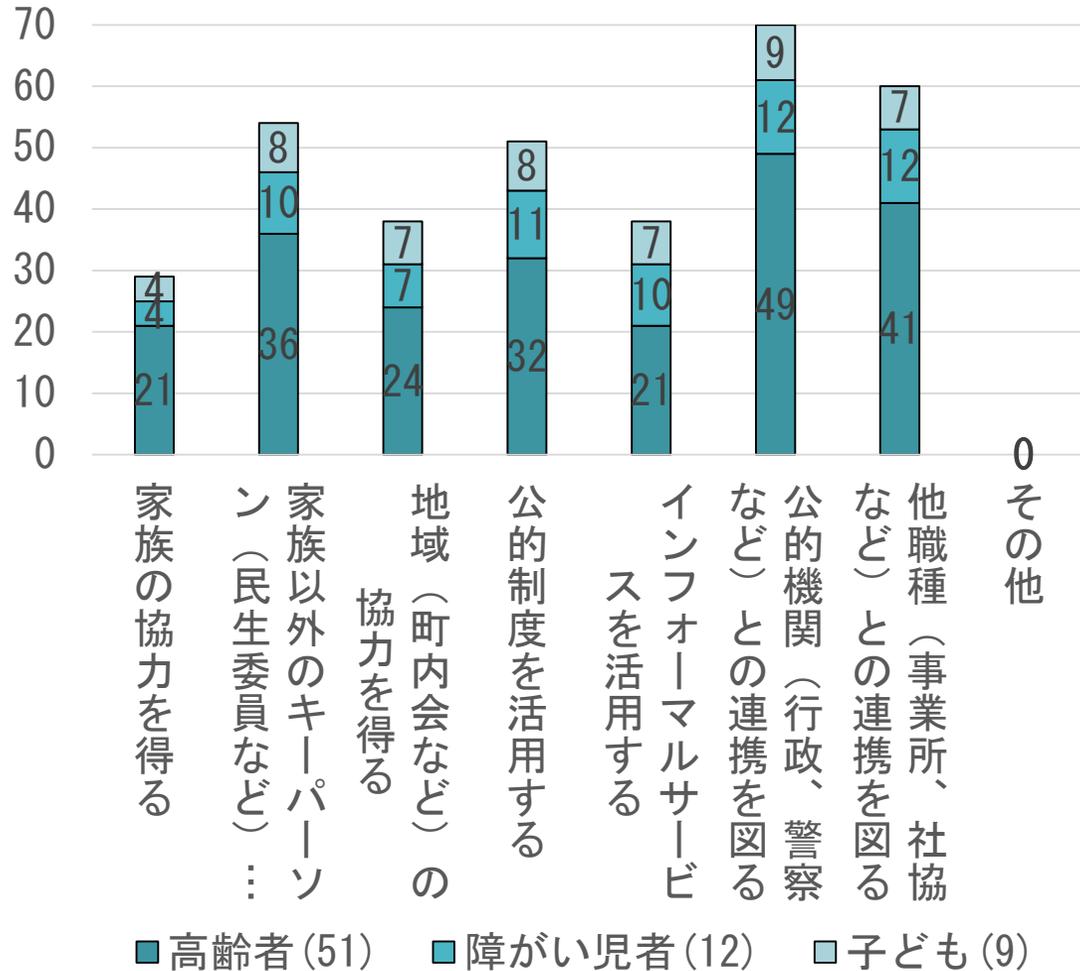


## 【事業所分野別】 解決の難しい課題のある世帯

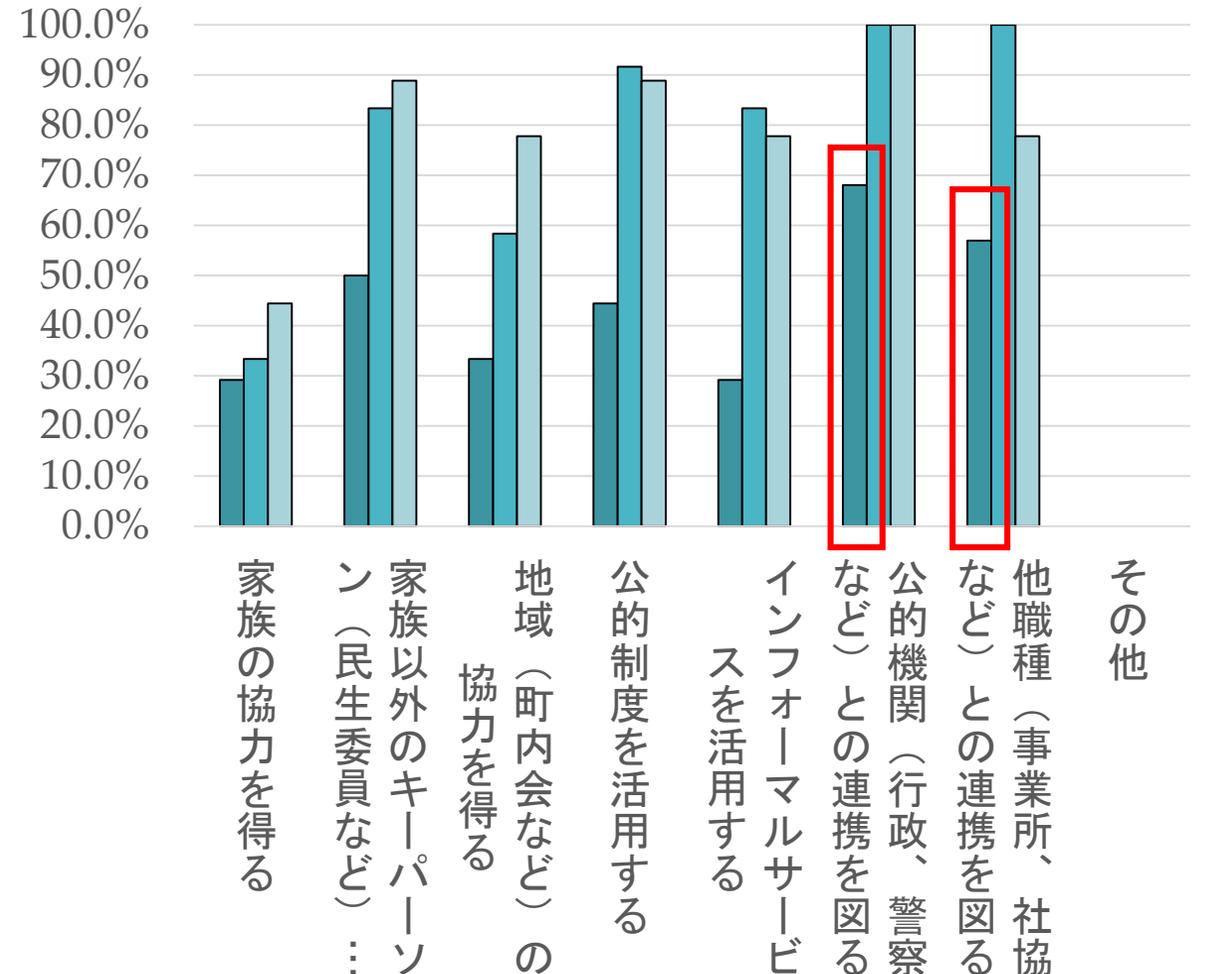


障がい児者のいる世帯が複合的な課題を抱えやすい傾向にあります。  
また、子育て世帯については地域とのつながりが持ちにくいという結果となりました。

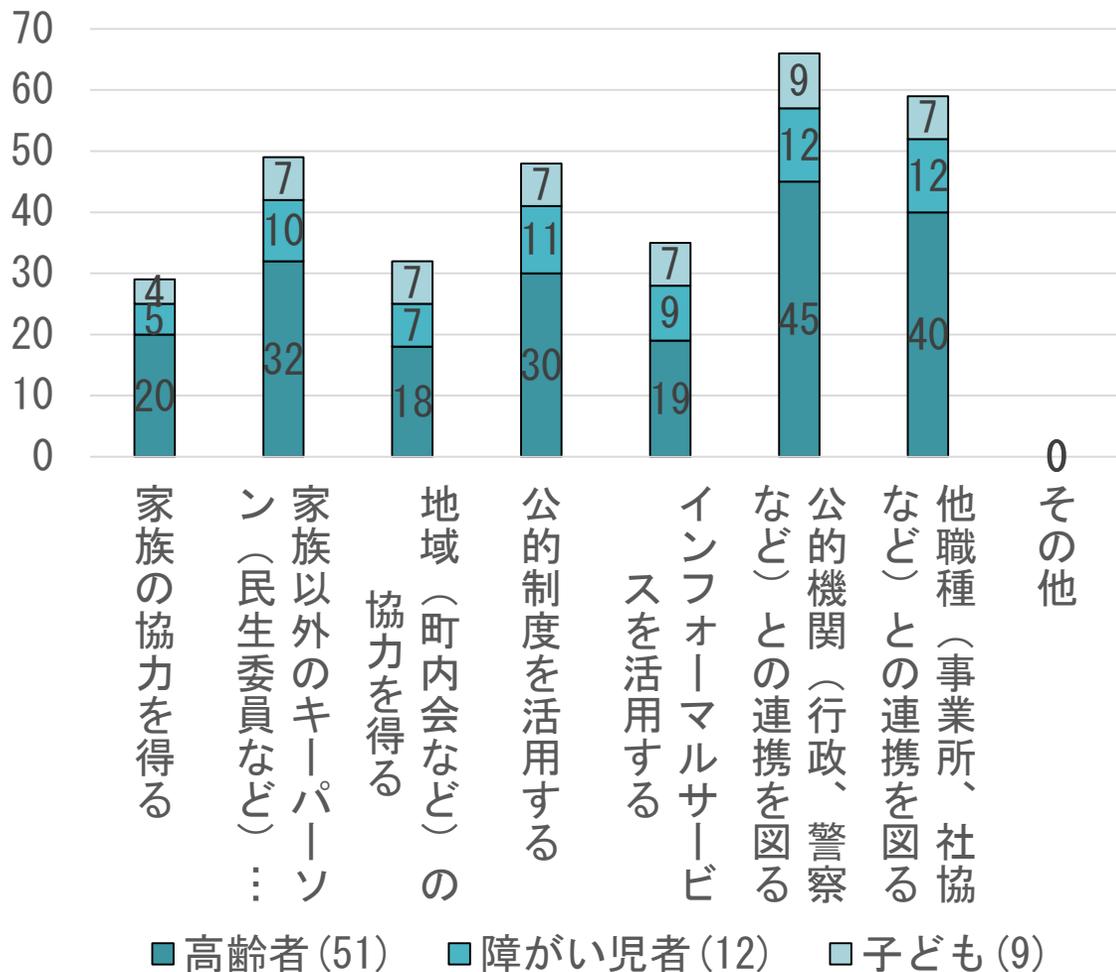
地域生活課題を解決するために必要な取組み～高齢者虐待～



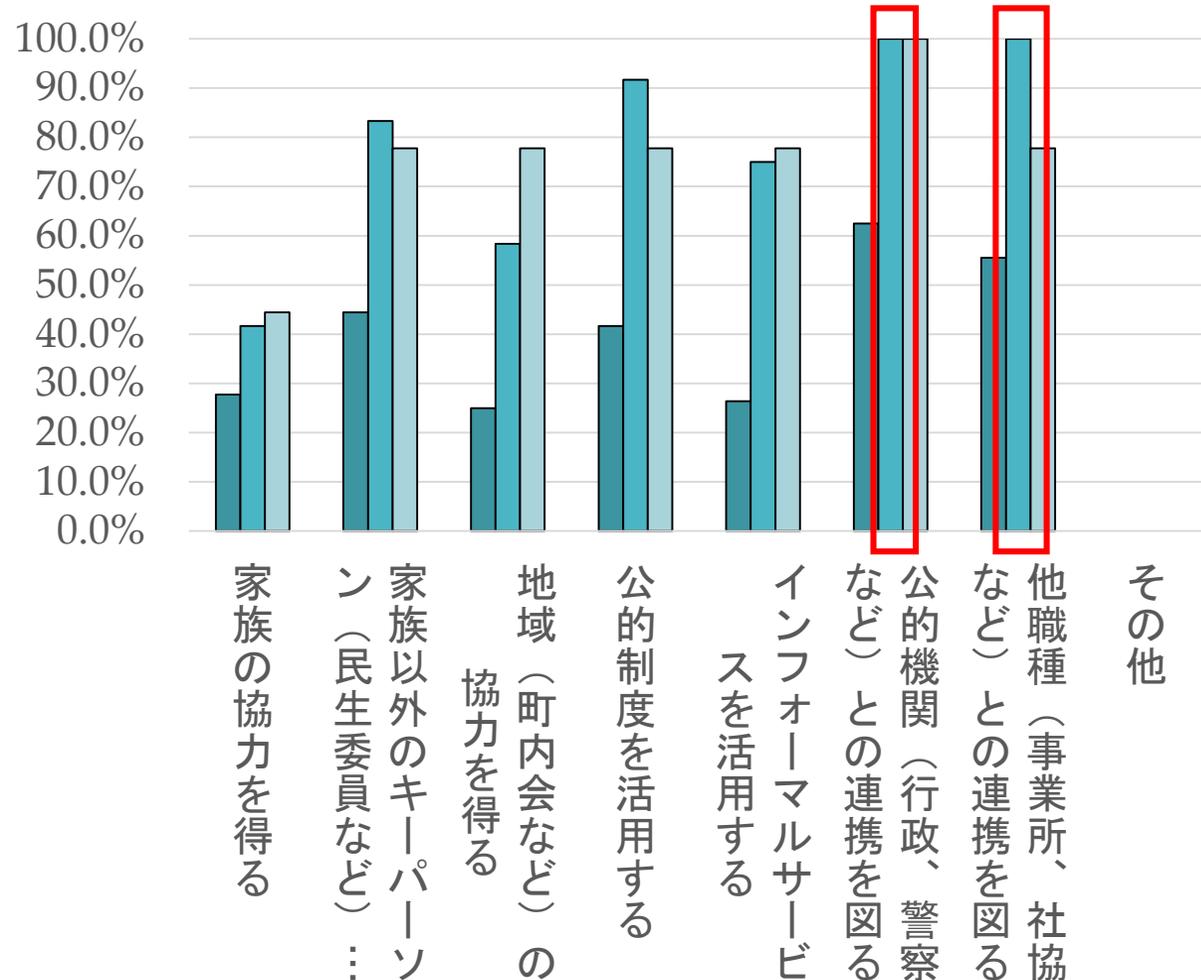
地域生活課題を解決するために必要な取組み～高齢者虐待～



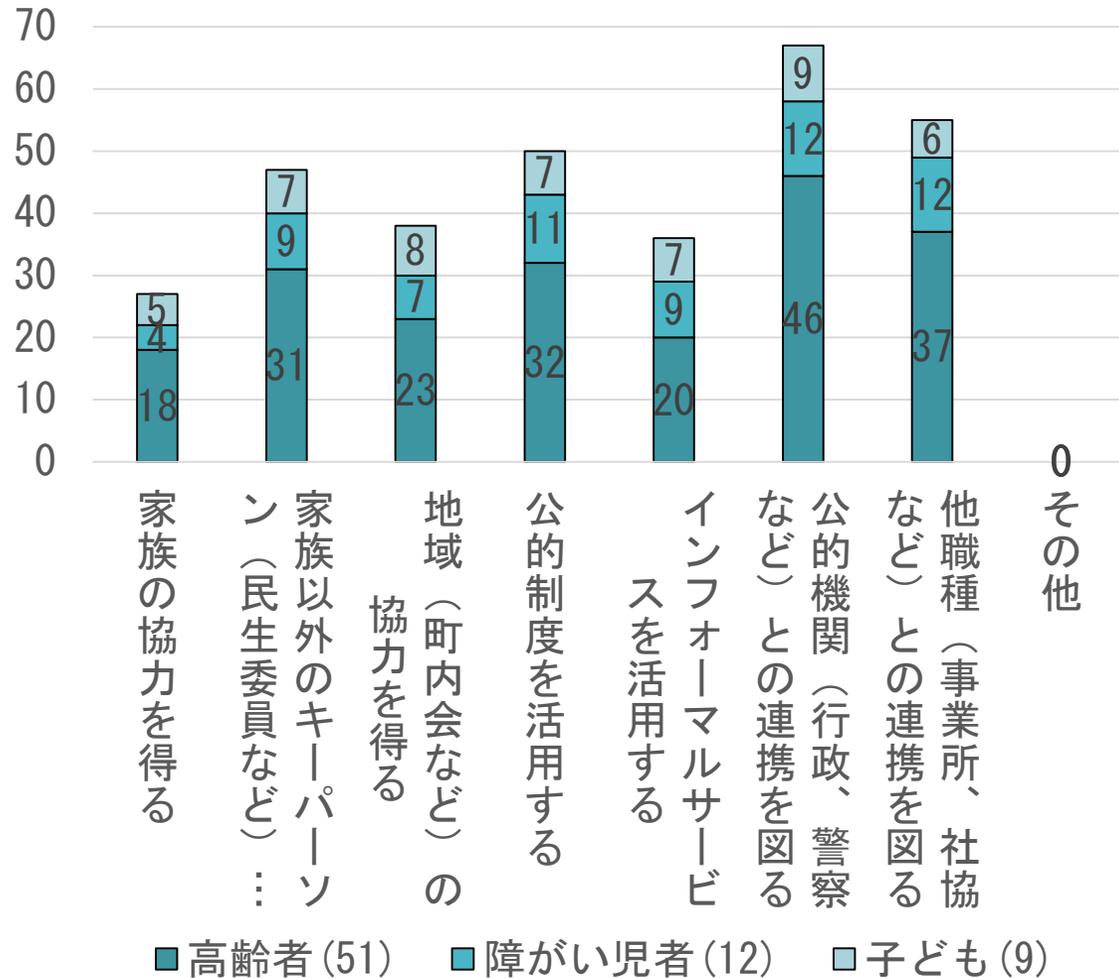
地域生活課題を解決するために必要な取  
り組み～障がい者虐待～



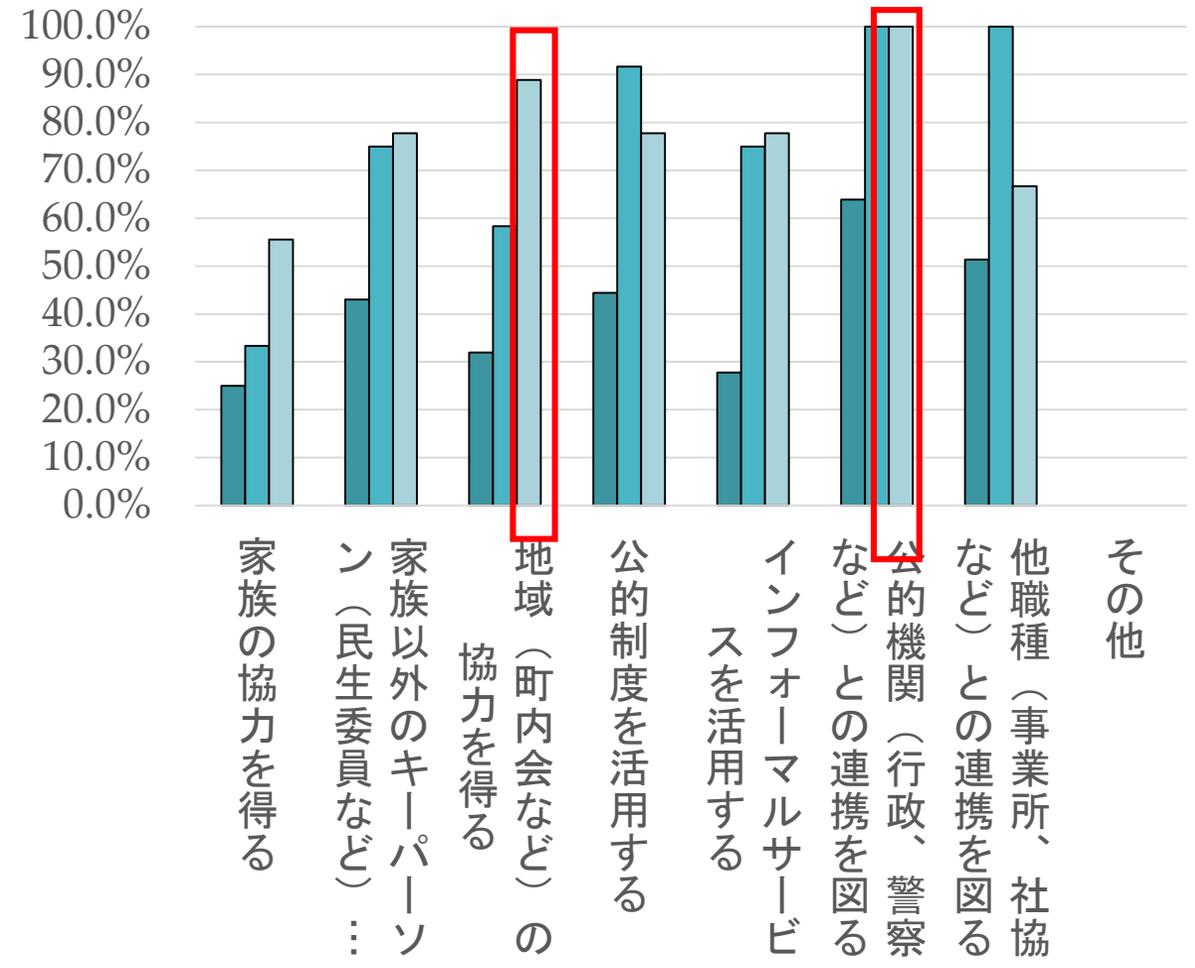
地域生活課題を解決するために必要な取  
組み～障がい者虐待～



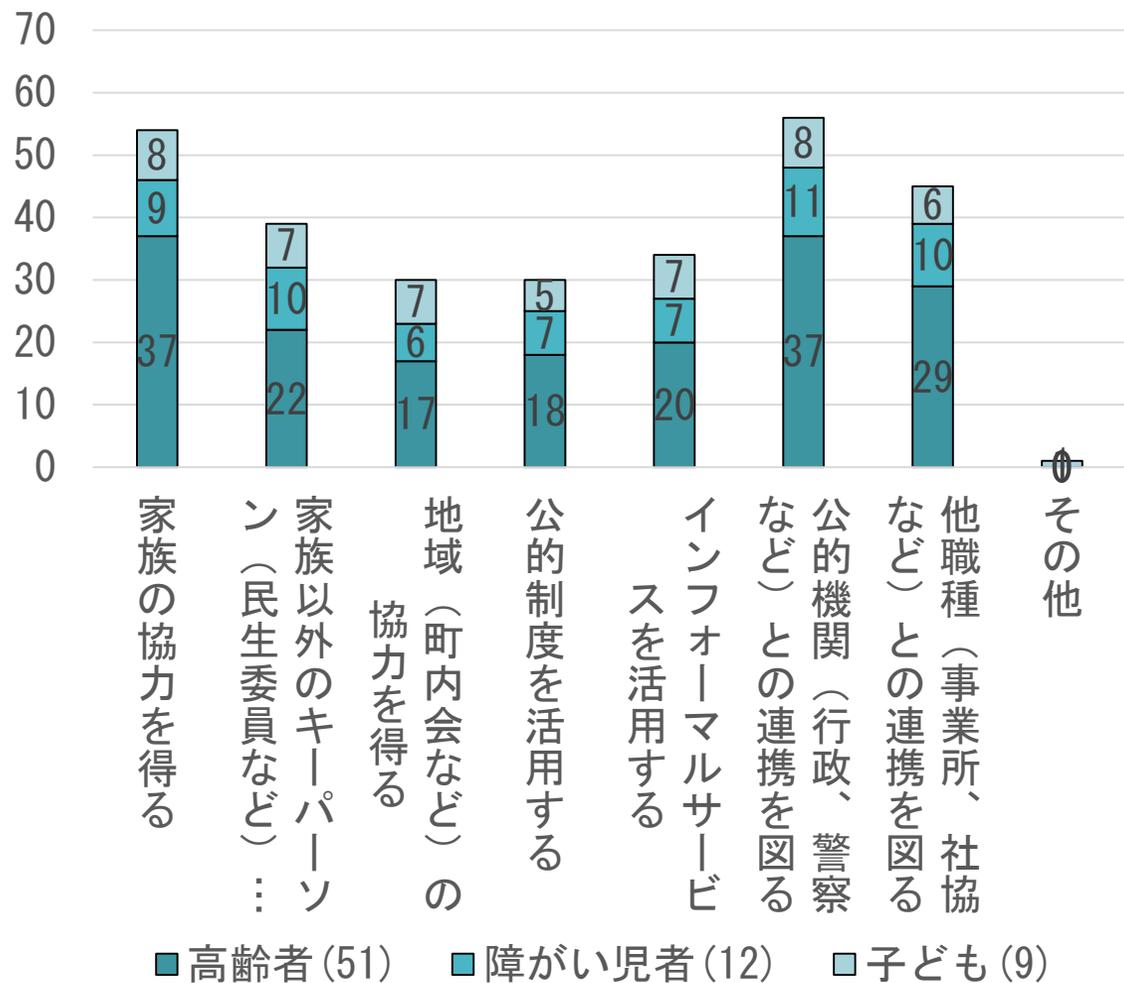
地域生活課題を解決するために必要な取  
り組み～児童虐待～



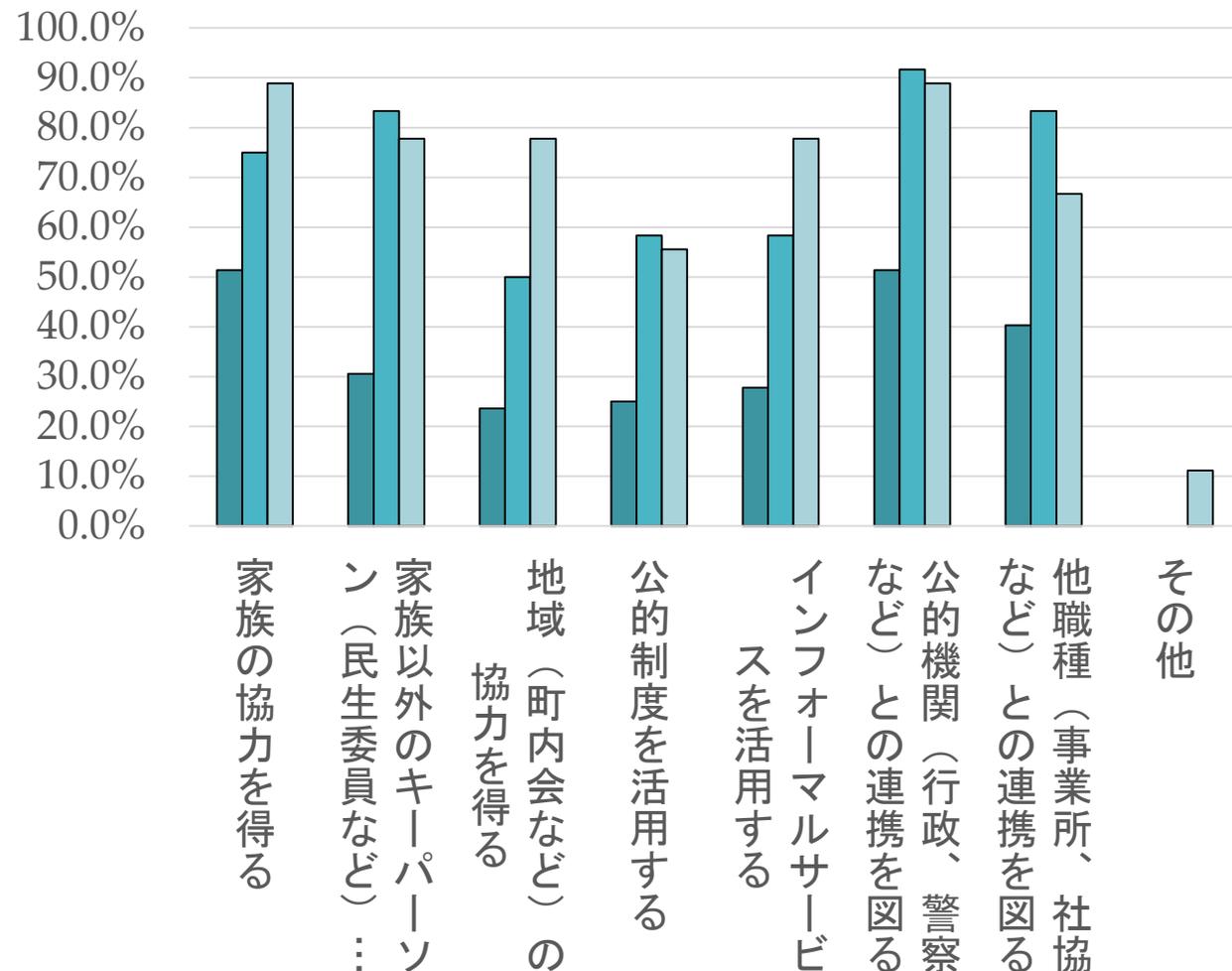
地域生活課題を解決するために必要な取  
組み～児童虐待～



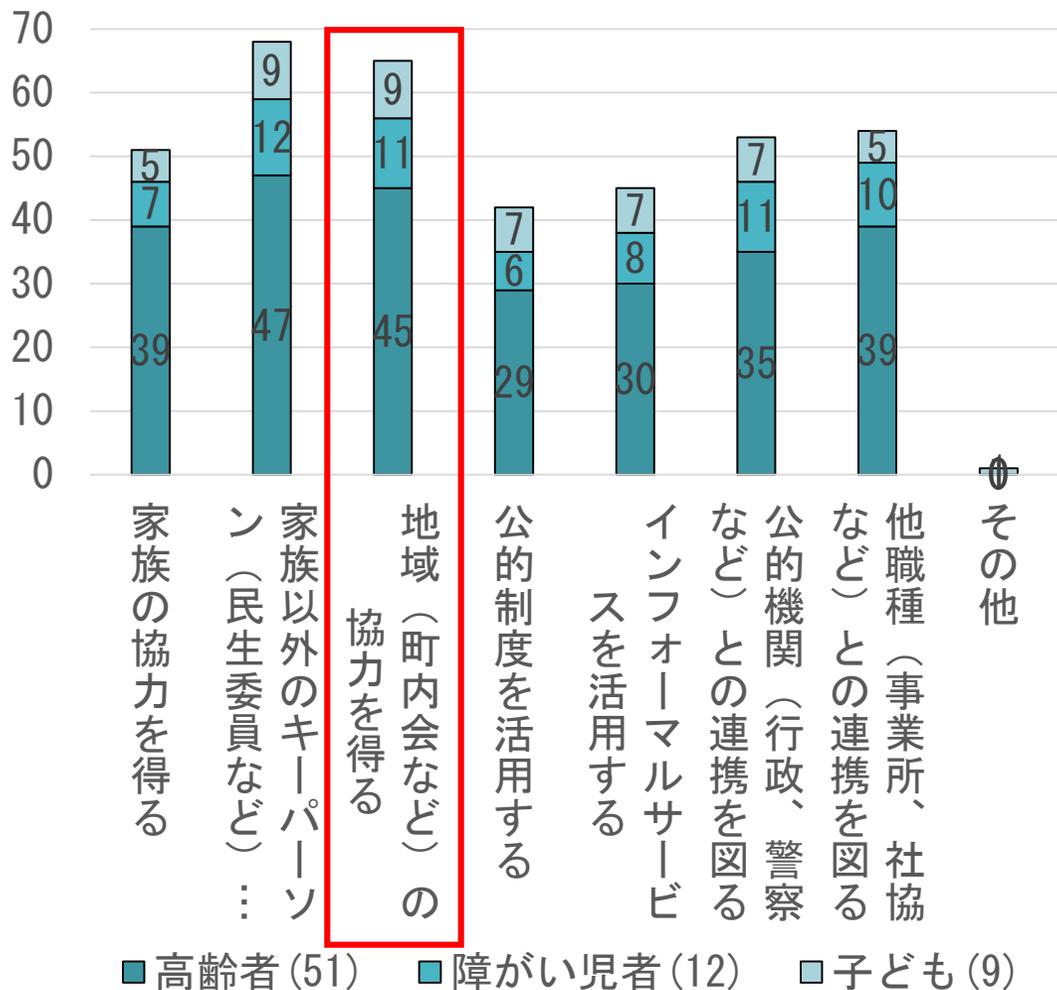
地域生活課題を解決するために必要な取  
り組み～自殺企図者～



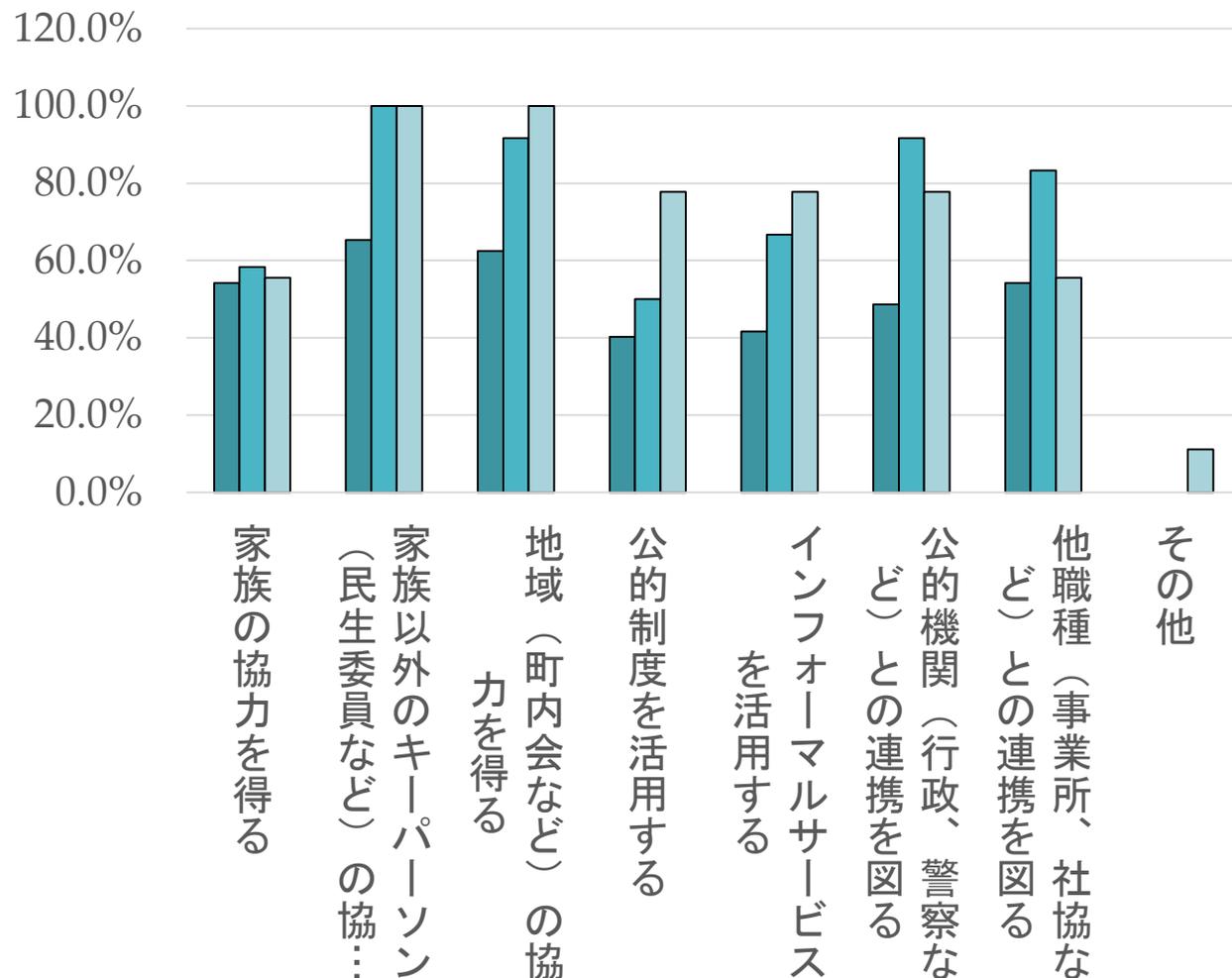
地域生活課題を解決するために必要な取組  
み～自殺企図者～



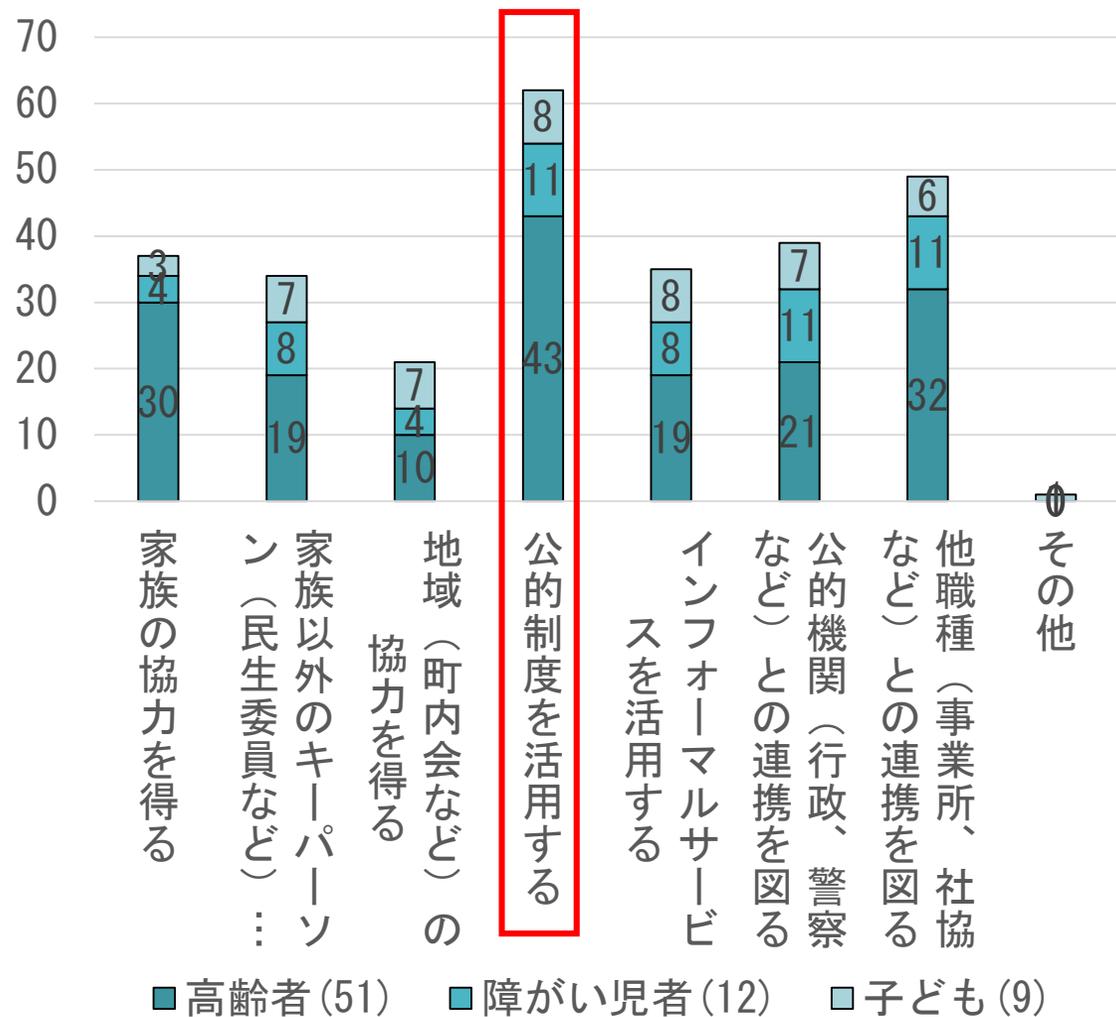
地域生活課題を解決するために必要な  
取り組み～孤立死～



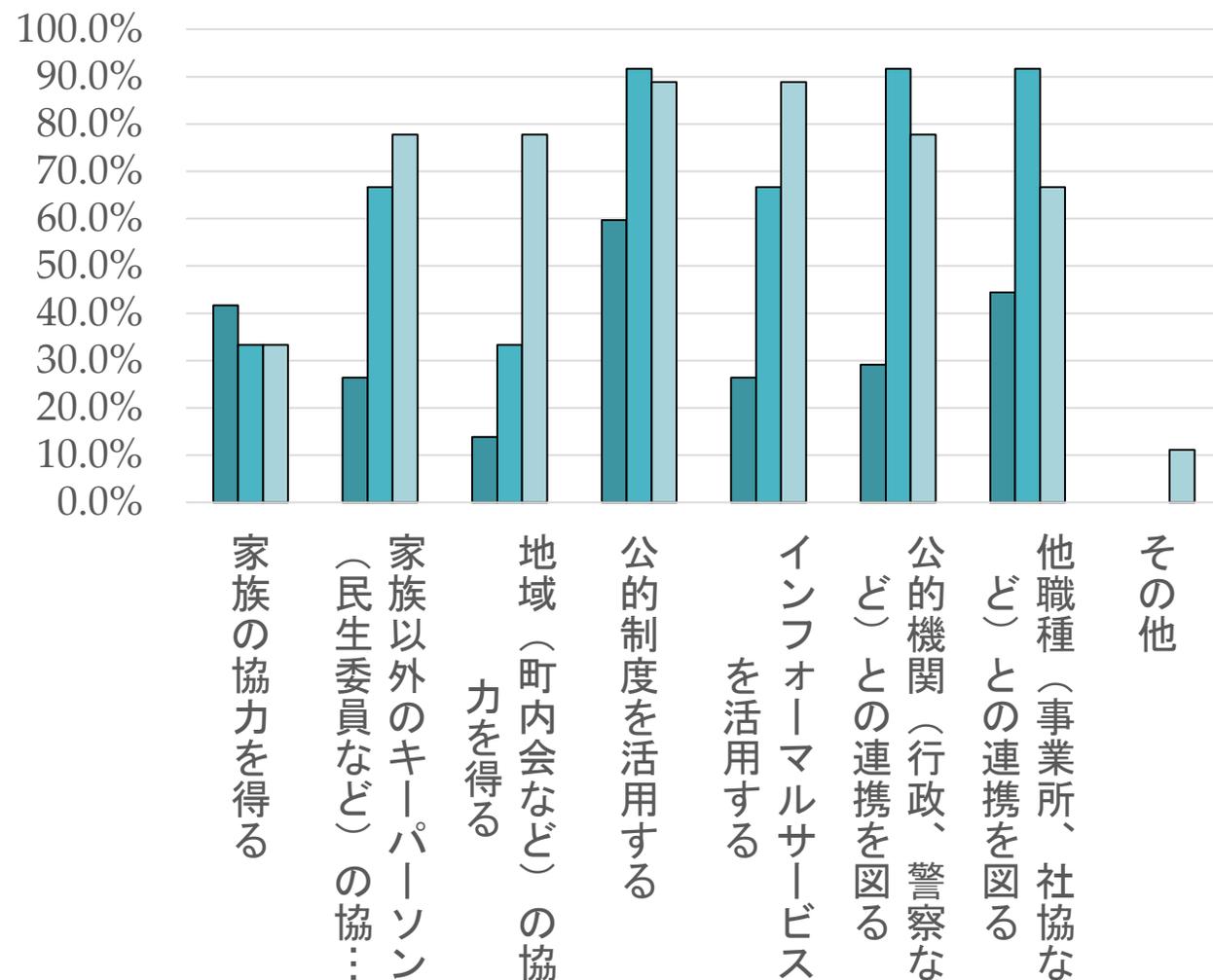
地域生活課題を解決するために必要な取り組み～孤立死～



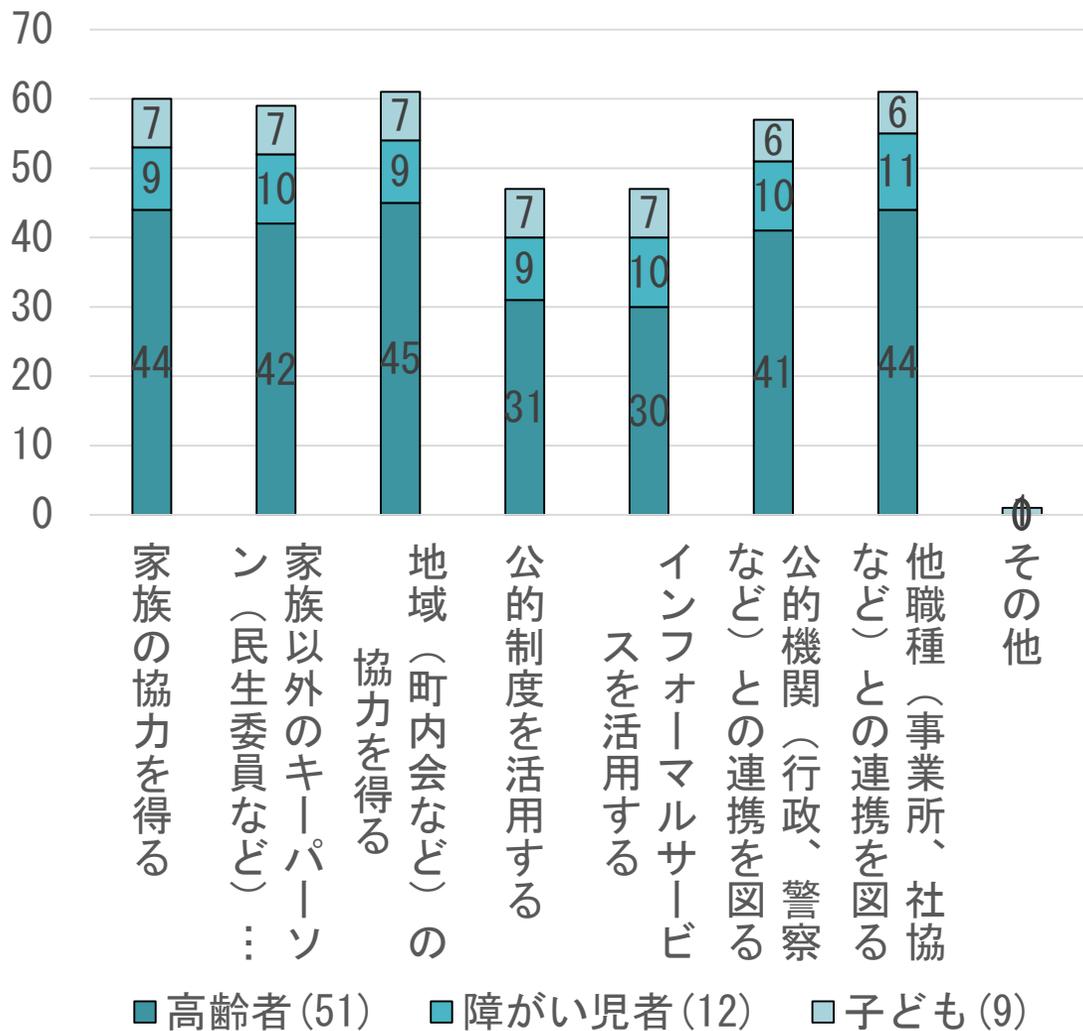
地域生活課題を解決するために必要な取  
り組み～生活困窮～



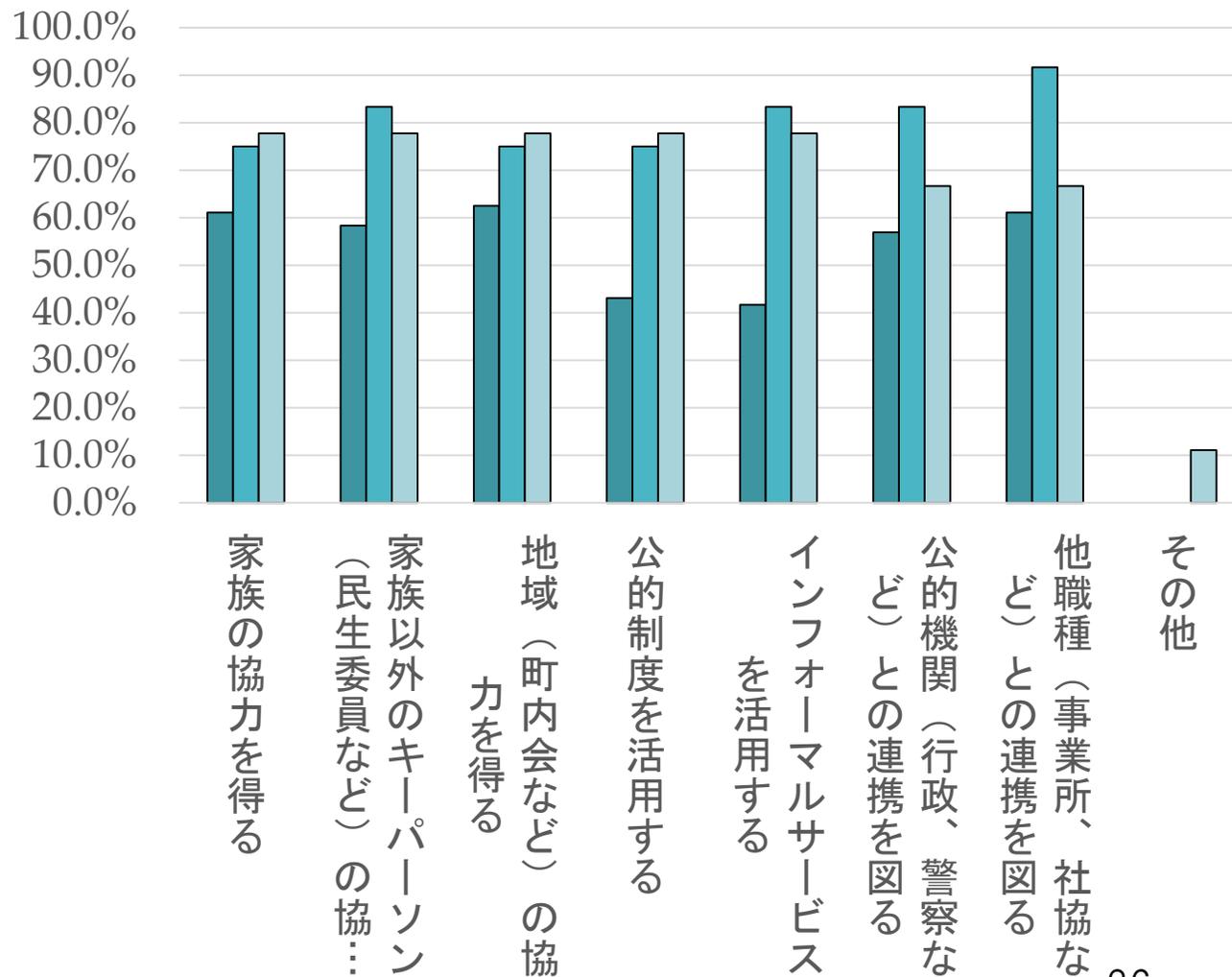
地域生活課題を解決するために必要な取  
り組み～生活困窮～



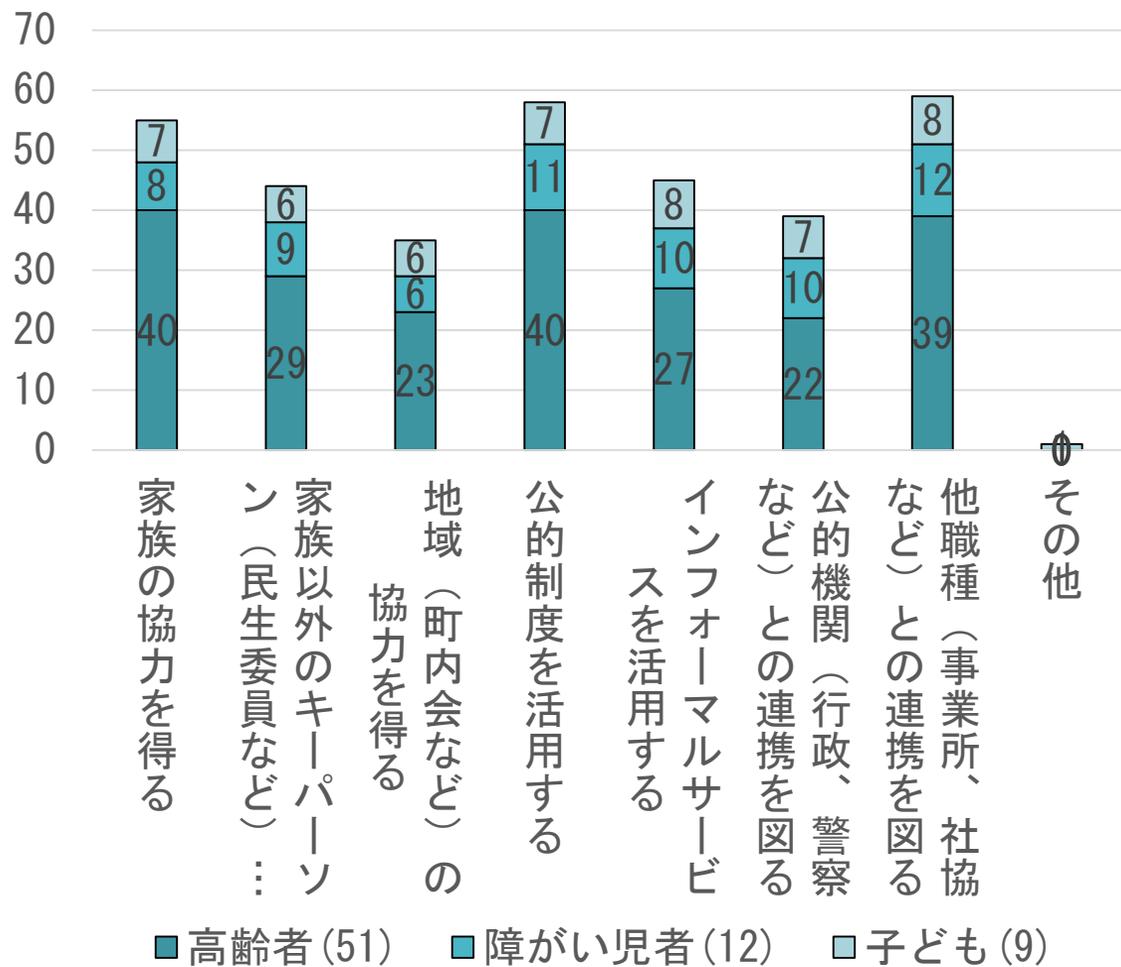
地域生活課題を解決するために必要な取  
り組み～認知症～



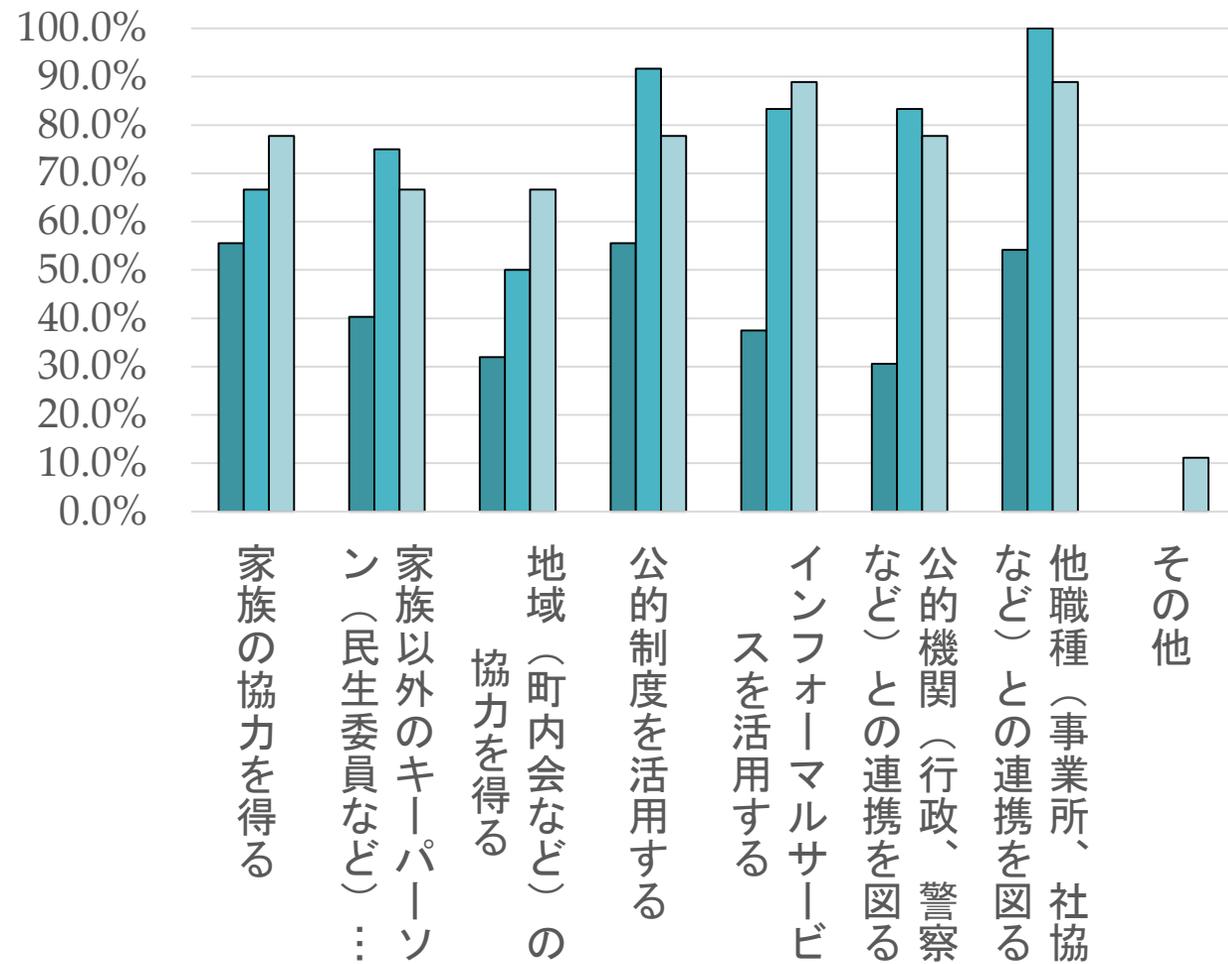
地域生活課題を解決するために必要な取  
り組み～認知症～



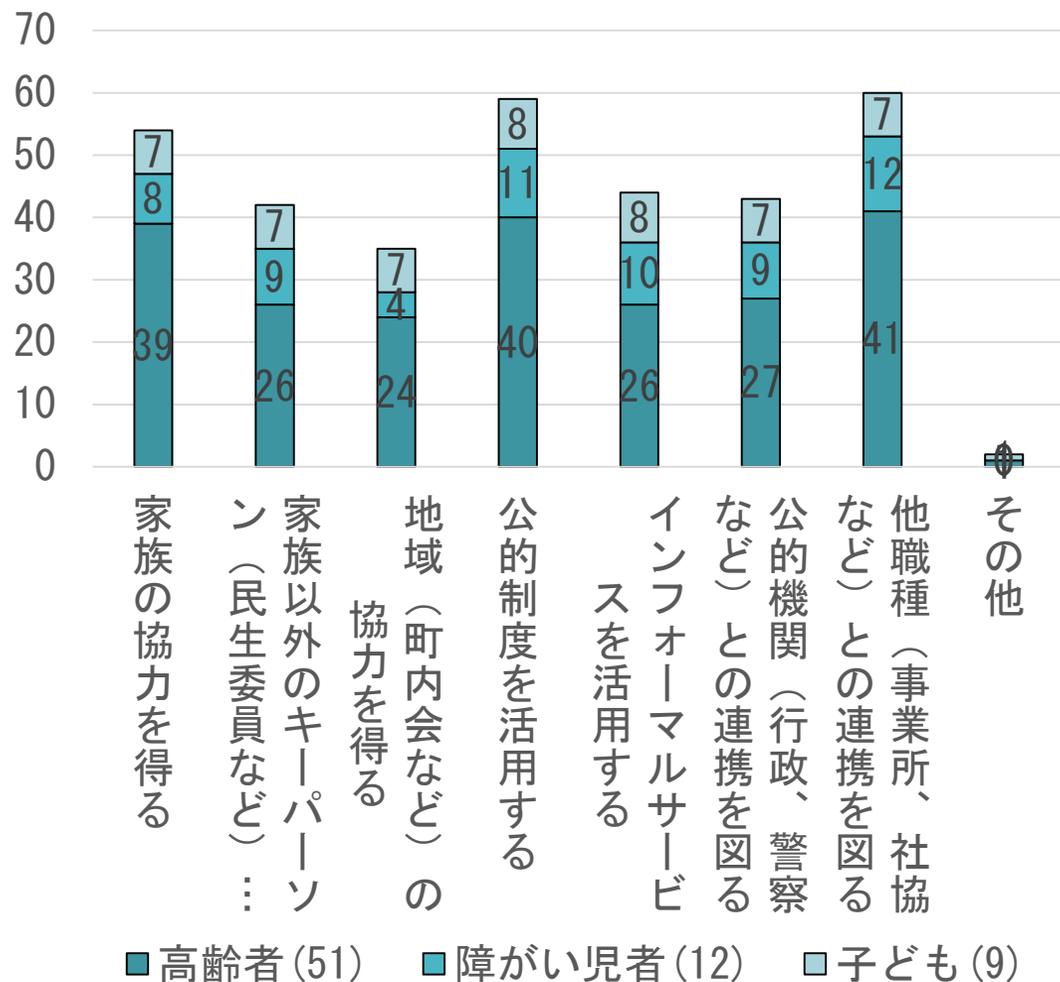
地域生活課題を解決するために必要な取  
り組み～身体障がい～



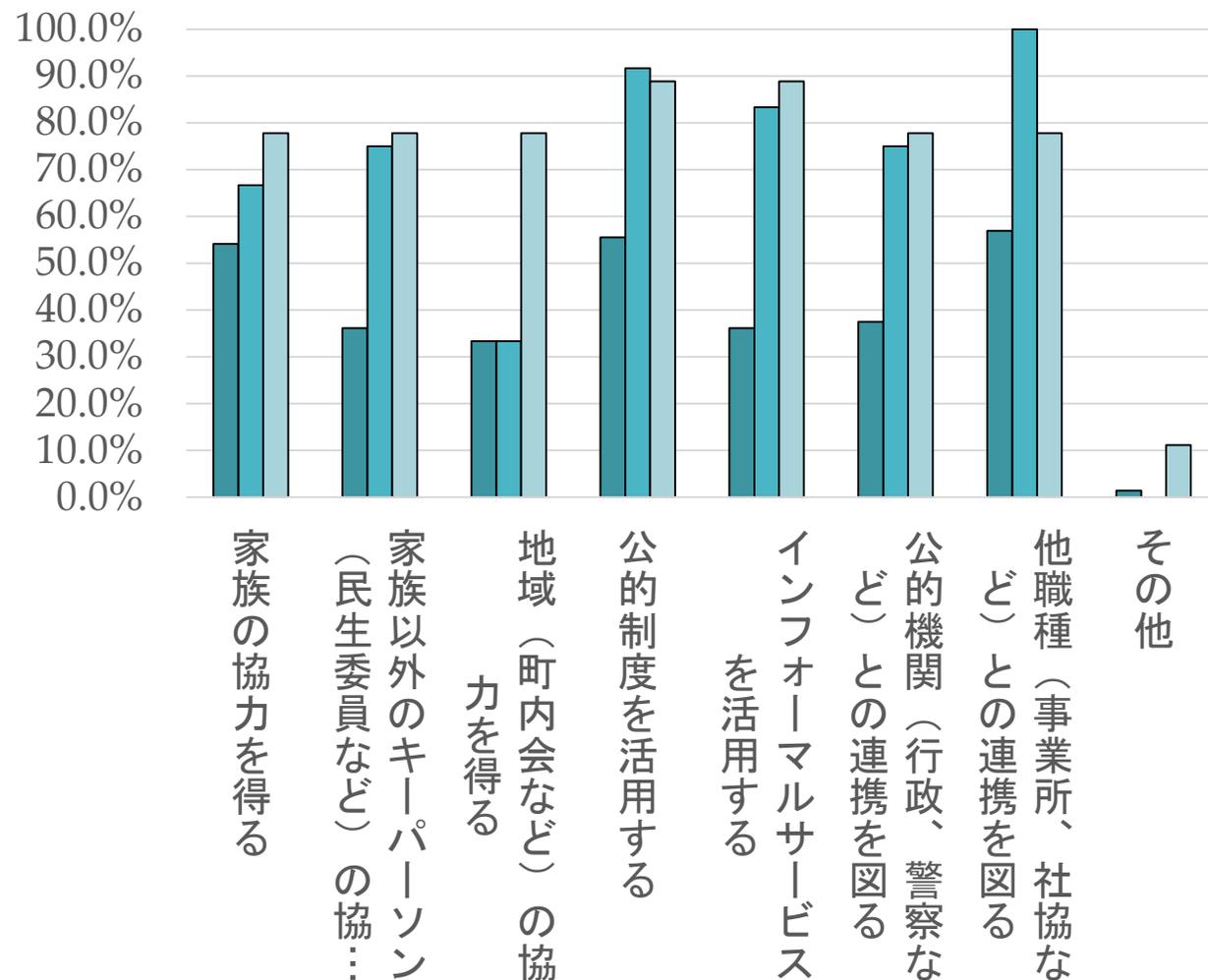
地域生活課題を解決するために必要な取  
り組み～身体障がい～



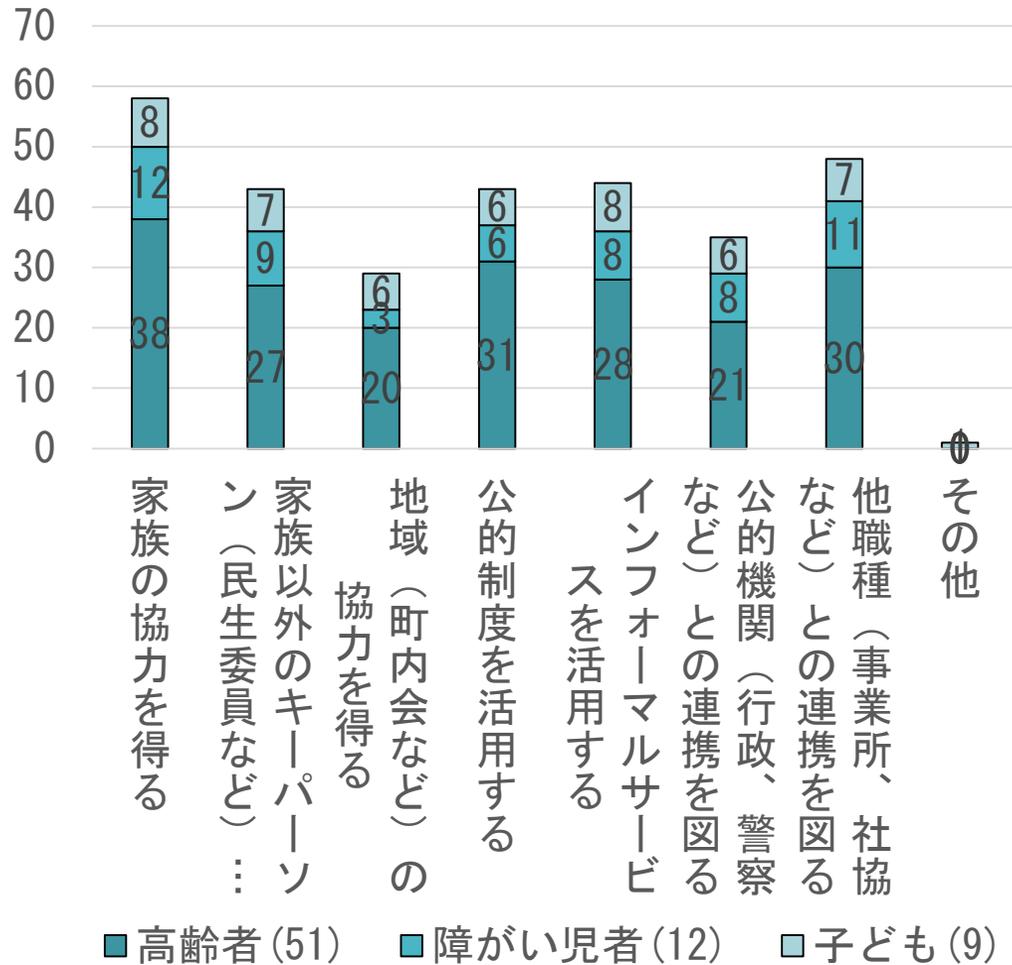
## 地域生活課題を解決するために必要な 取り組み～精神障がい～



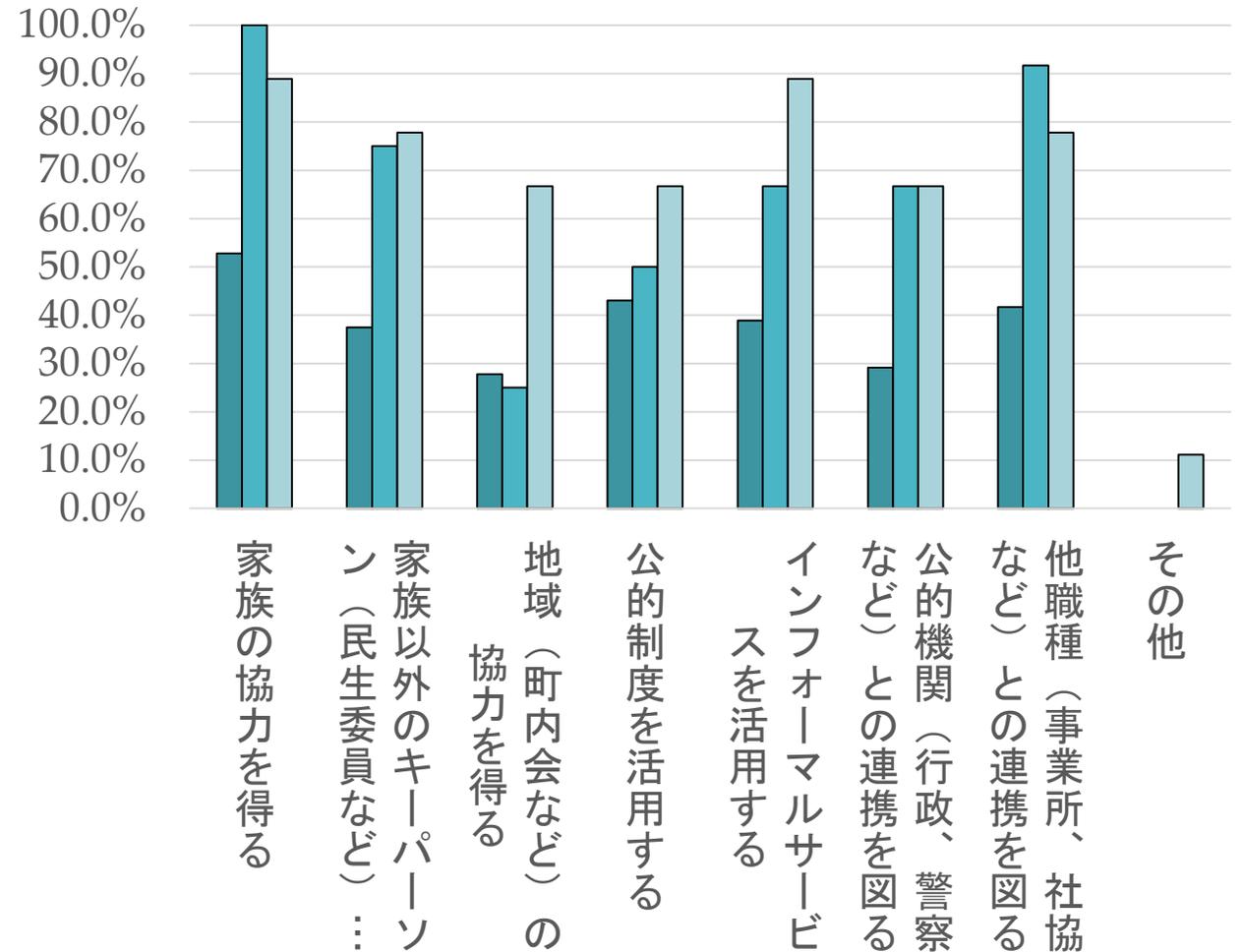
## 地域生活課題を解決するために必要な取り組み～精神障がい～



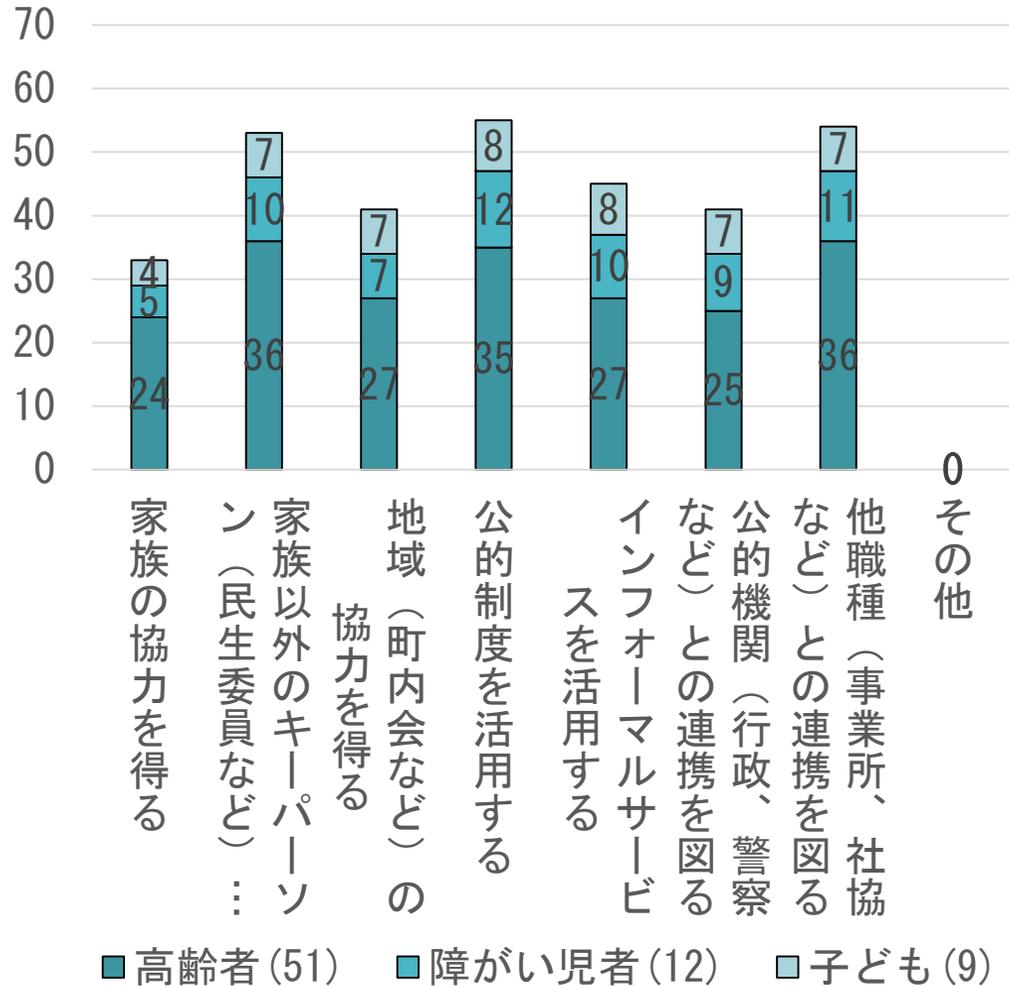
### 地域生活課題を解決するために必要な 取り組み～引きこもり～



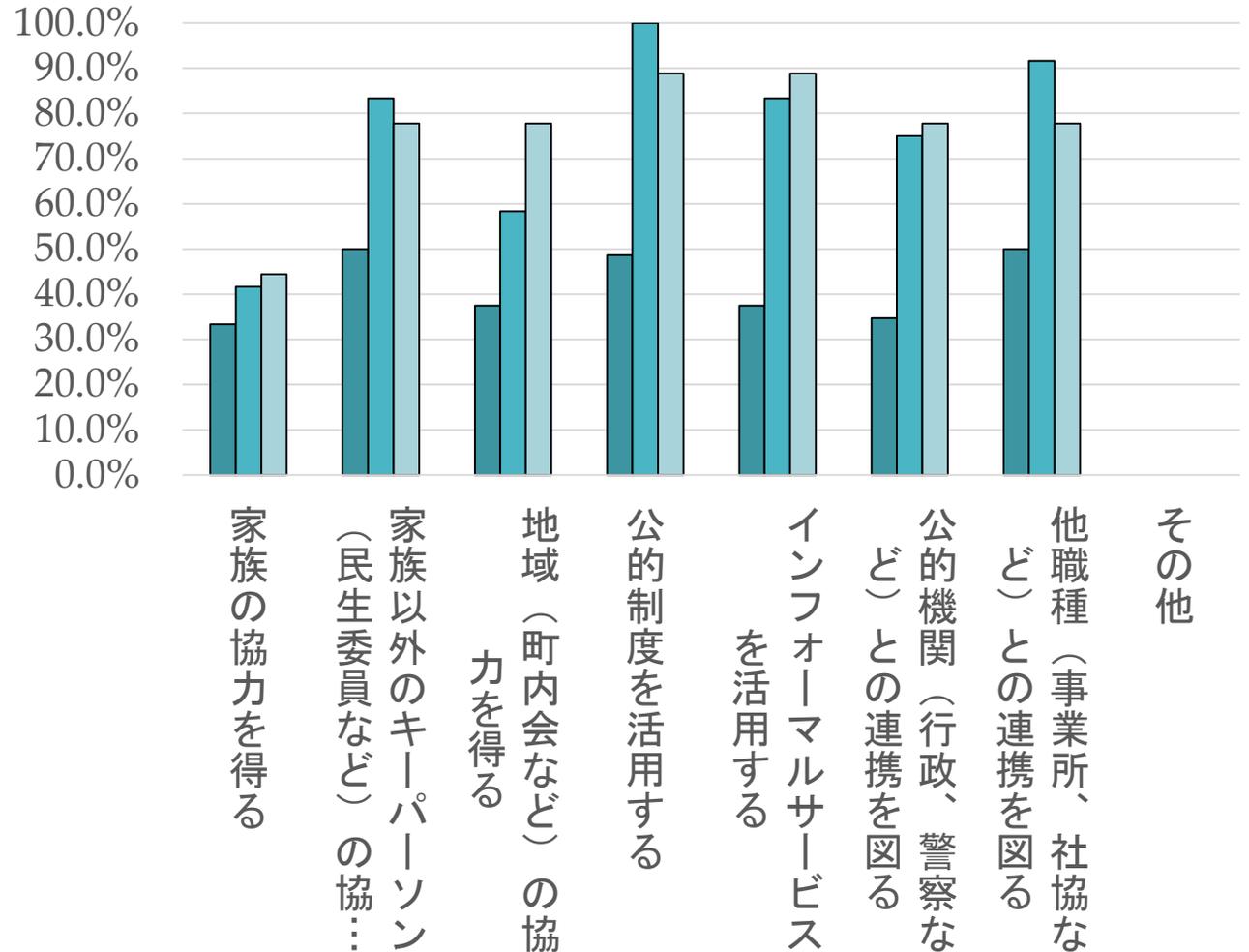
### 地域生活課題を解決するために必要な取り組み～引きこもり～



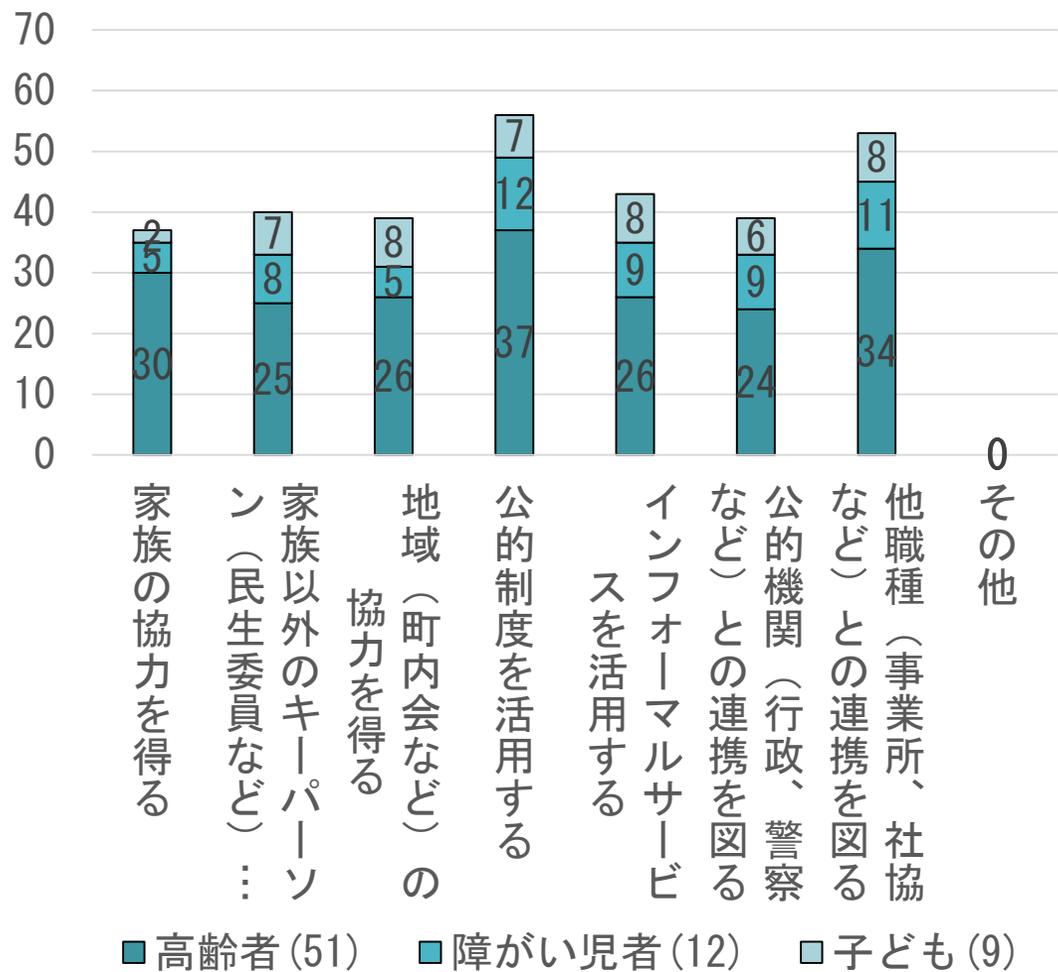
地域生活課題を解決するために必要な取り組み～8050問題～



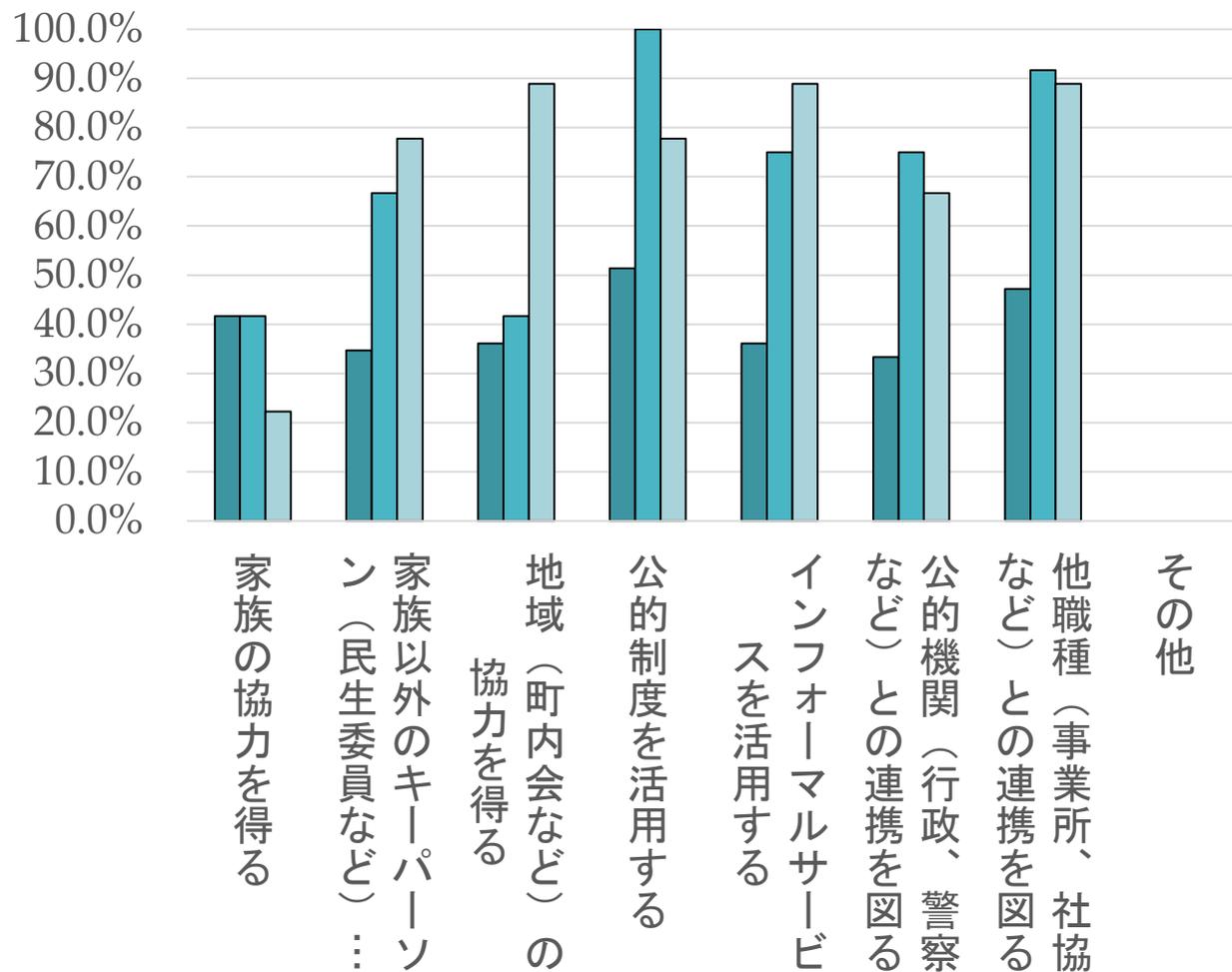
地域生活課題を解決するために必要な取り組み～8050問題～



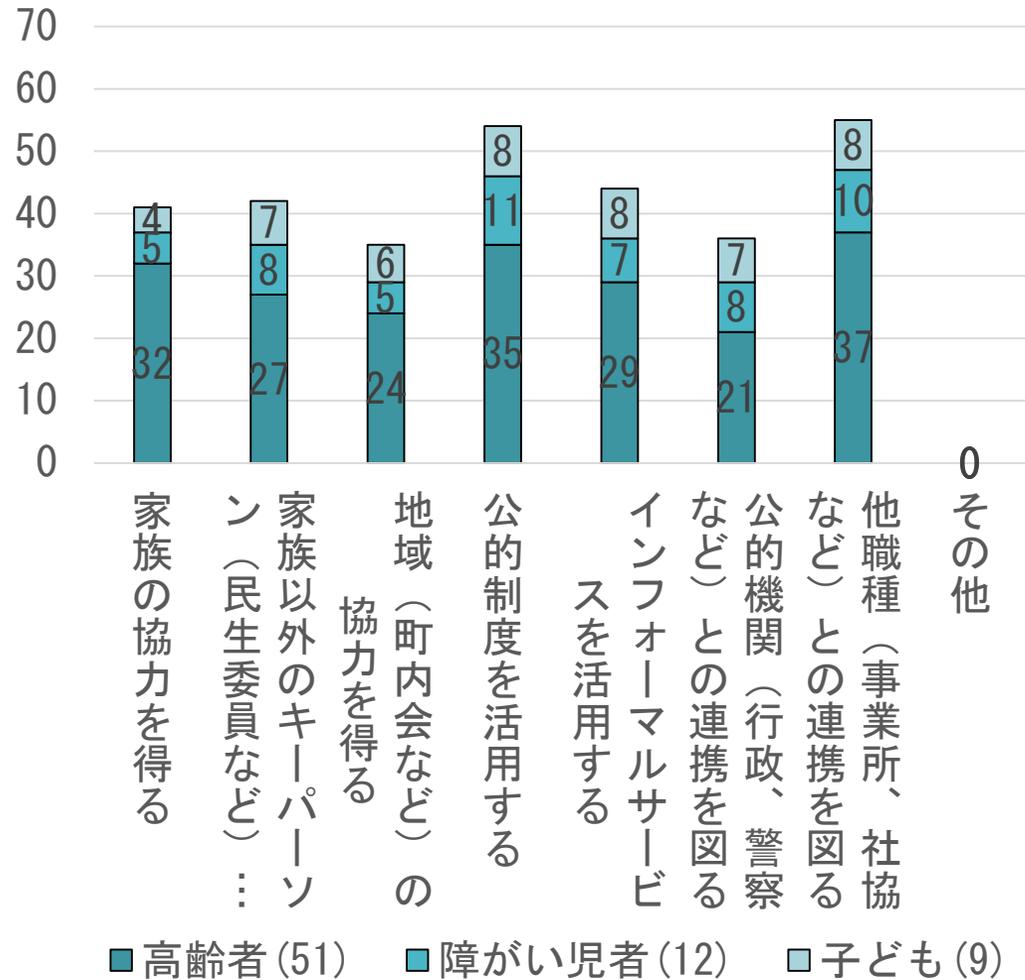
### 地域生活課題を解決するために必要な 取り組み～ヤングケアラー～



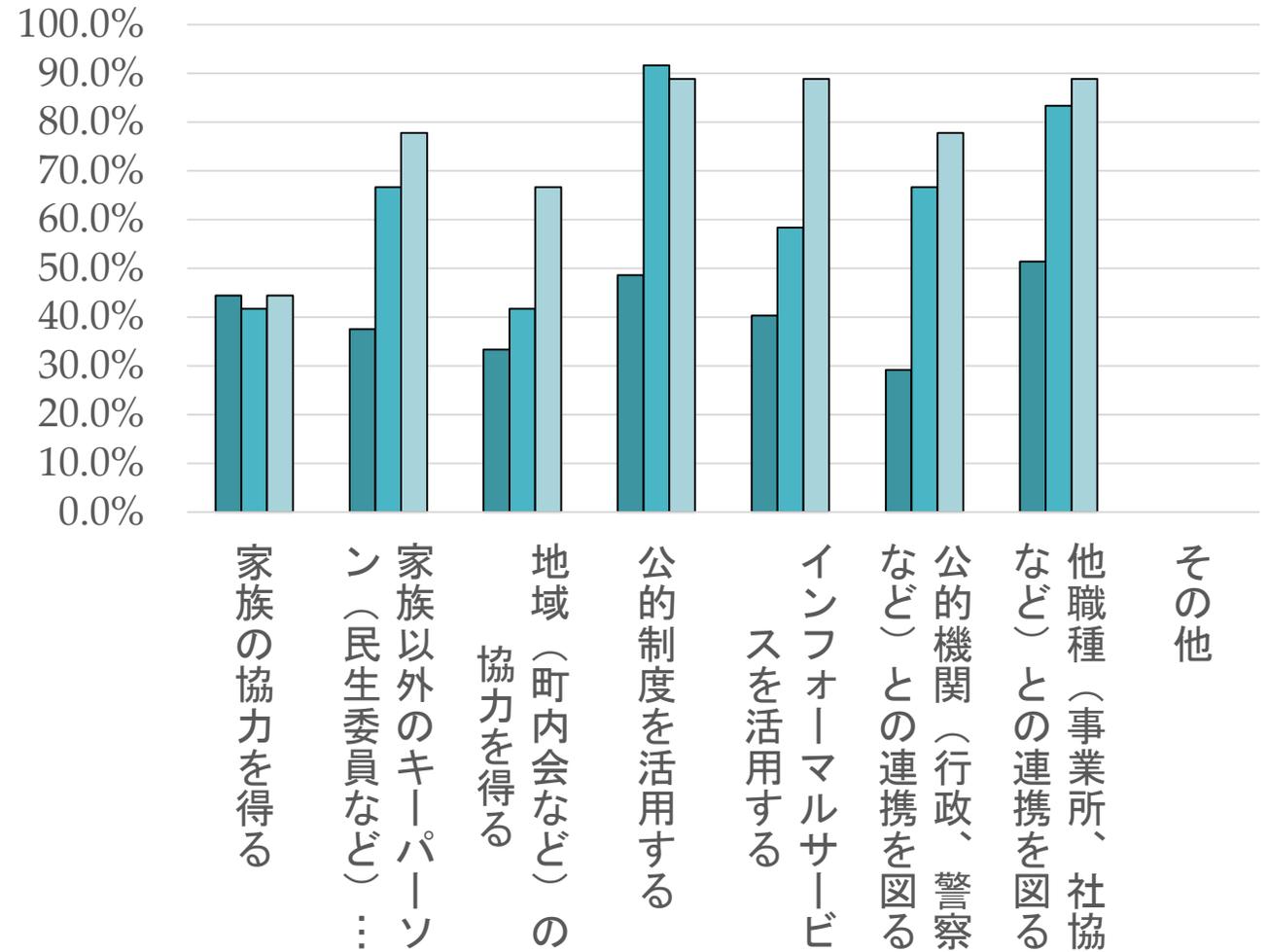
### 地域生活課題を解決するために必要な取り組み～ヤングケアラー～



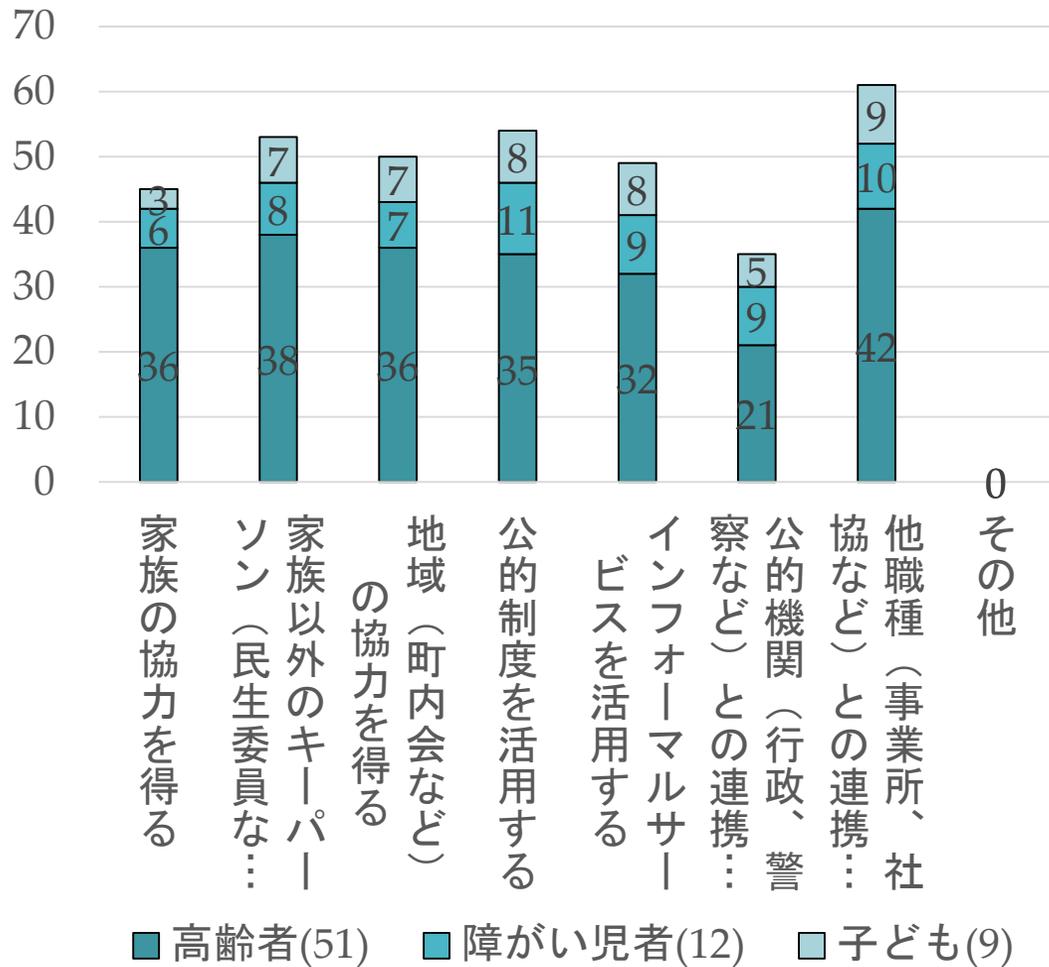
地域生活課題を解決するために必要な  
取り組み～ダブルケア～



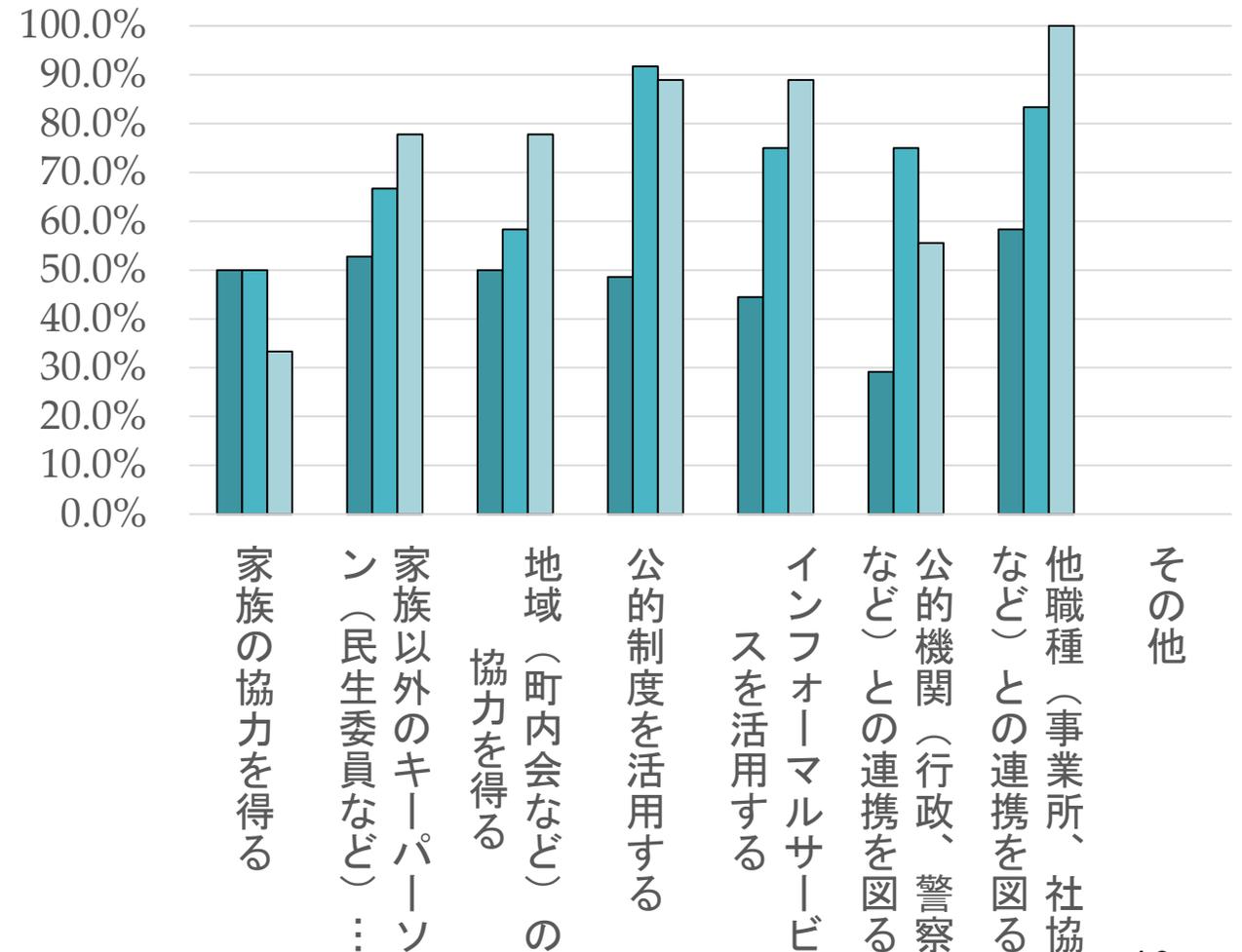
地域生活課題を解決するために必要な取り組み  
～ダブルケア～



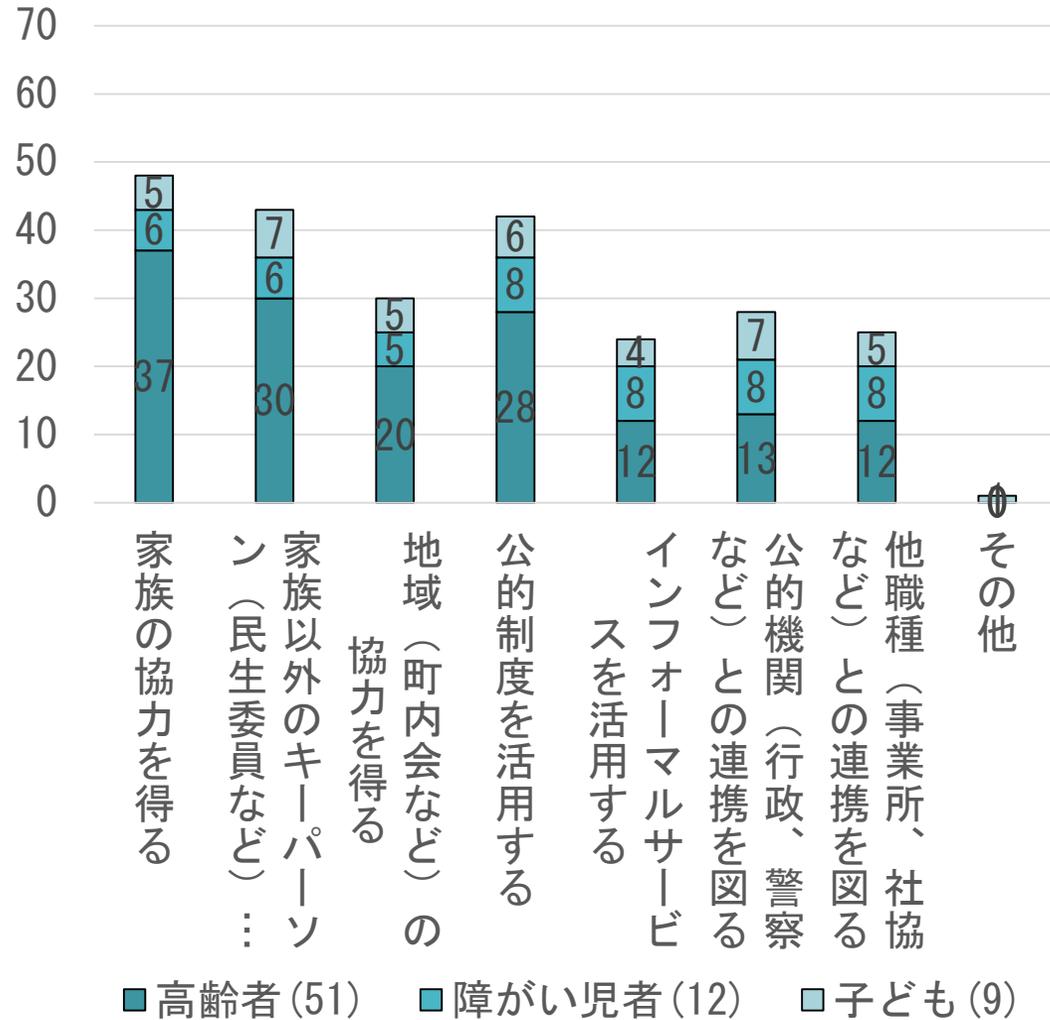
地域生活課題を解決するために必要な  
取り組み～老々介護～



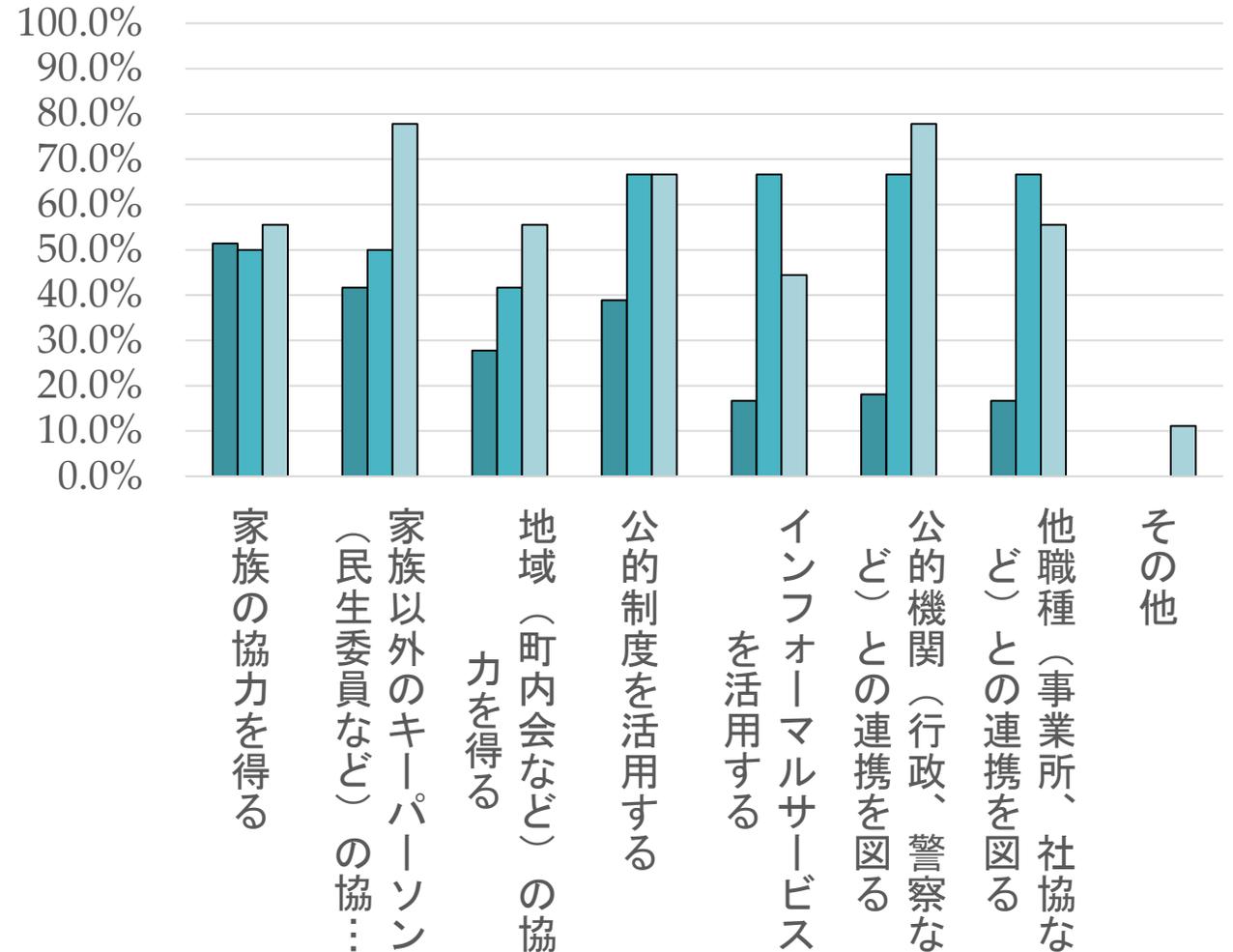
地域生活課題を解決するために必要な取り組み～老々介護～



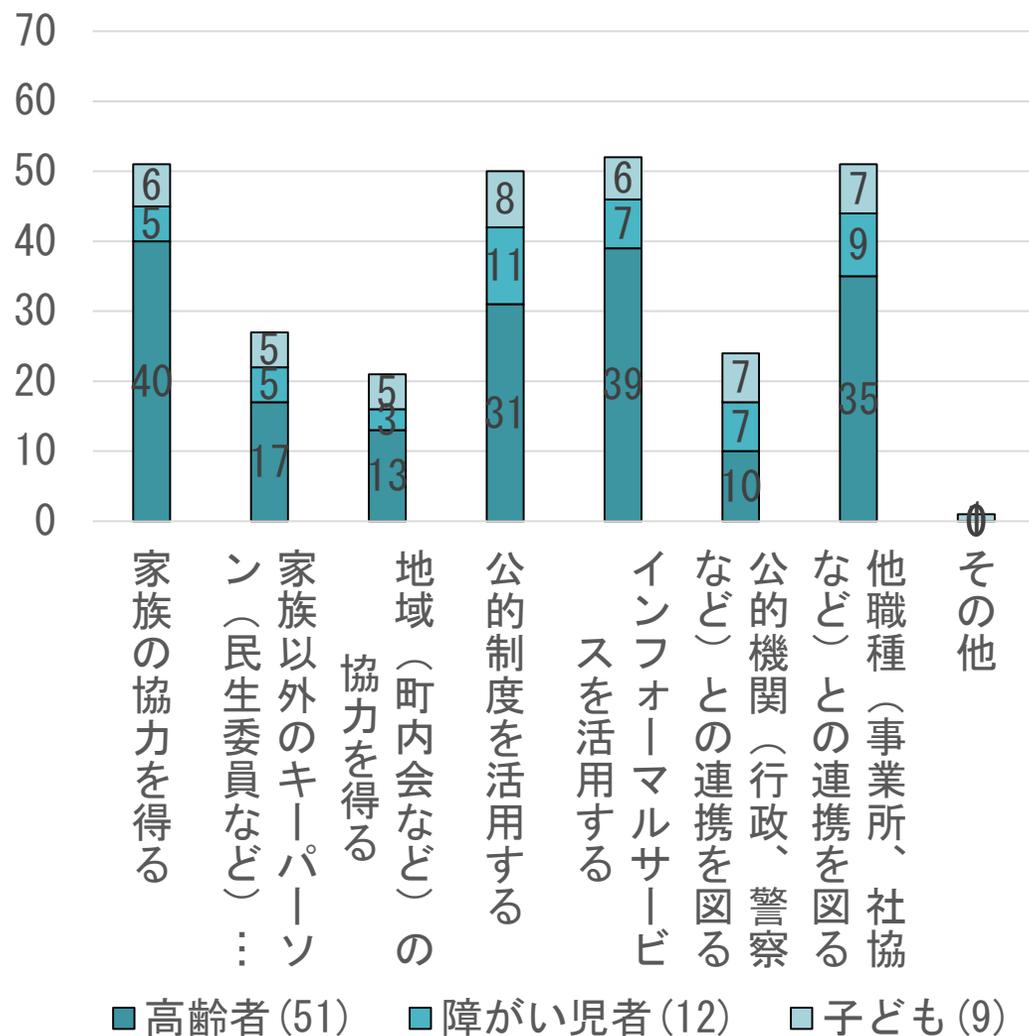
## 地域生活課題を解決するために必要な 取り組み～住居確保～



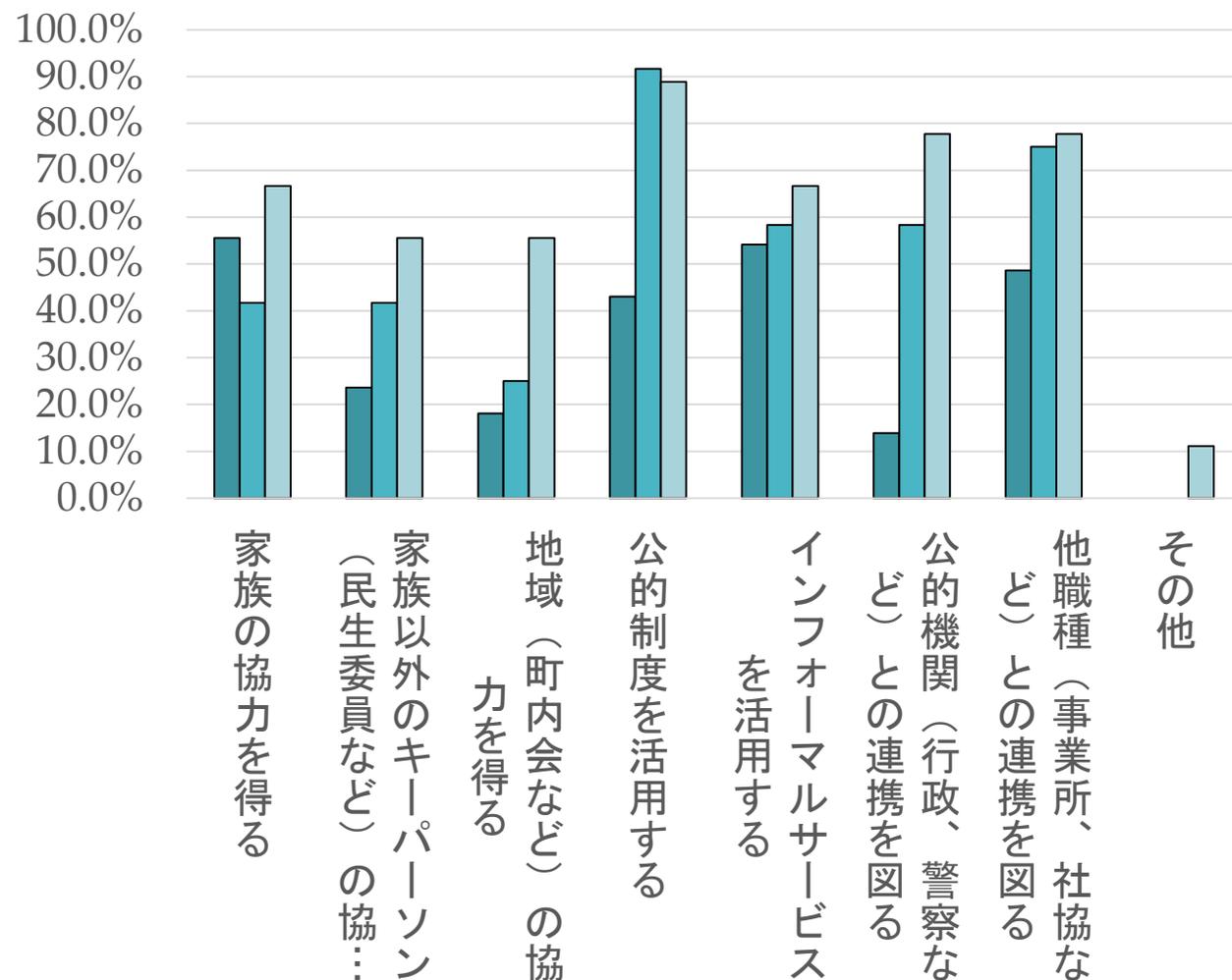
## 地域生活課題を解決するために必要な取り組み～住居確保～



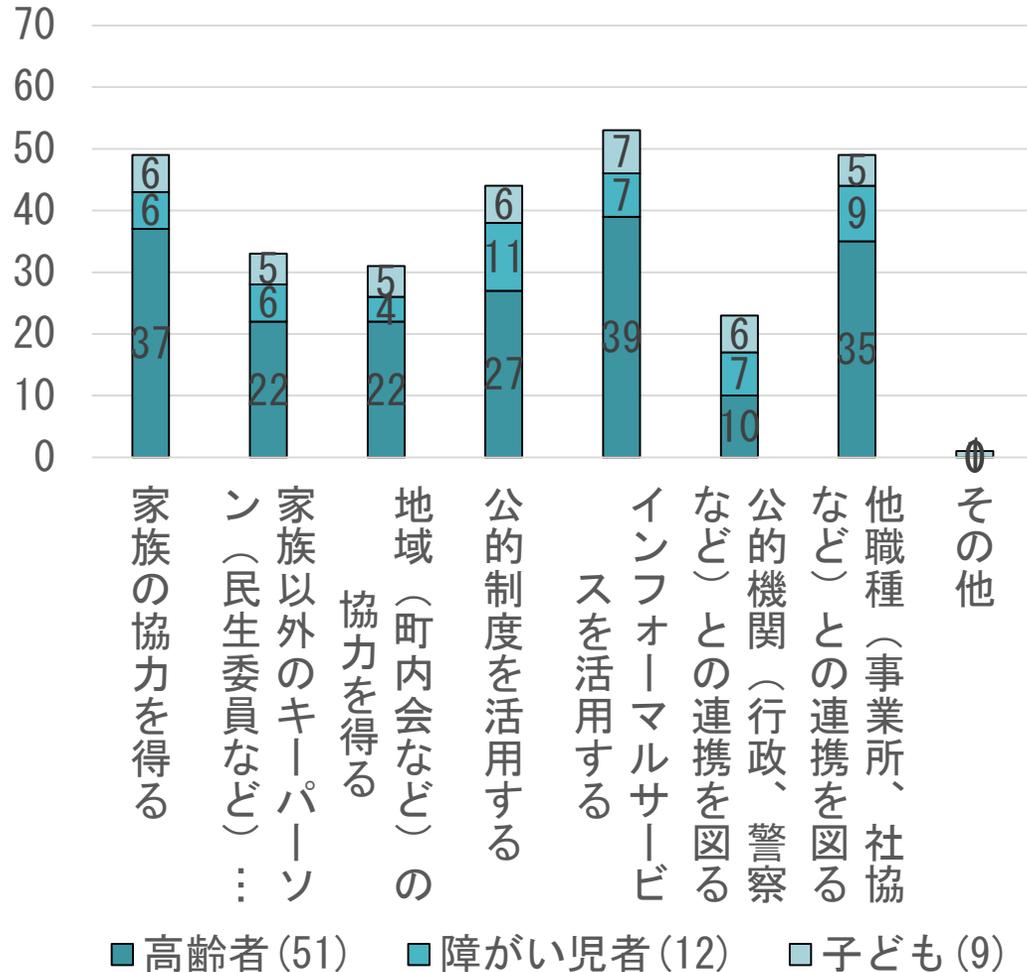
地域生活課題を解決するために必要な  
取り組み～通院手段～



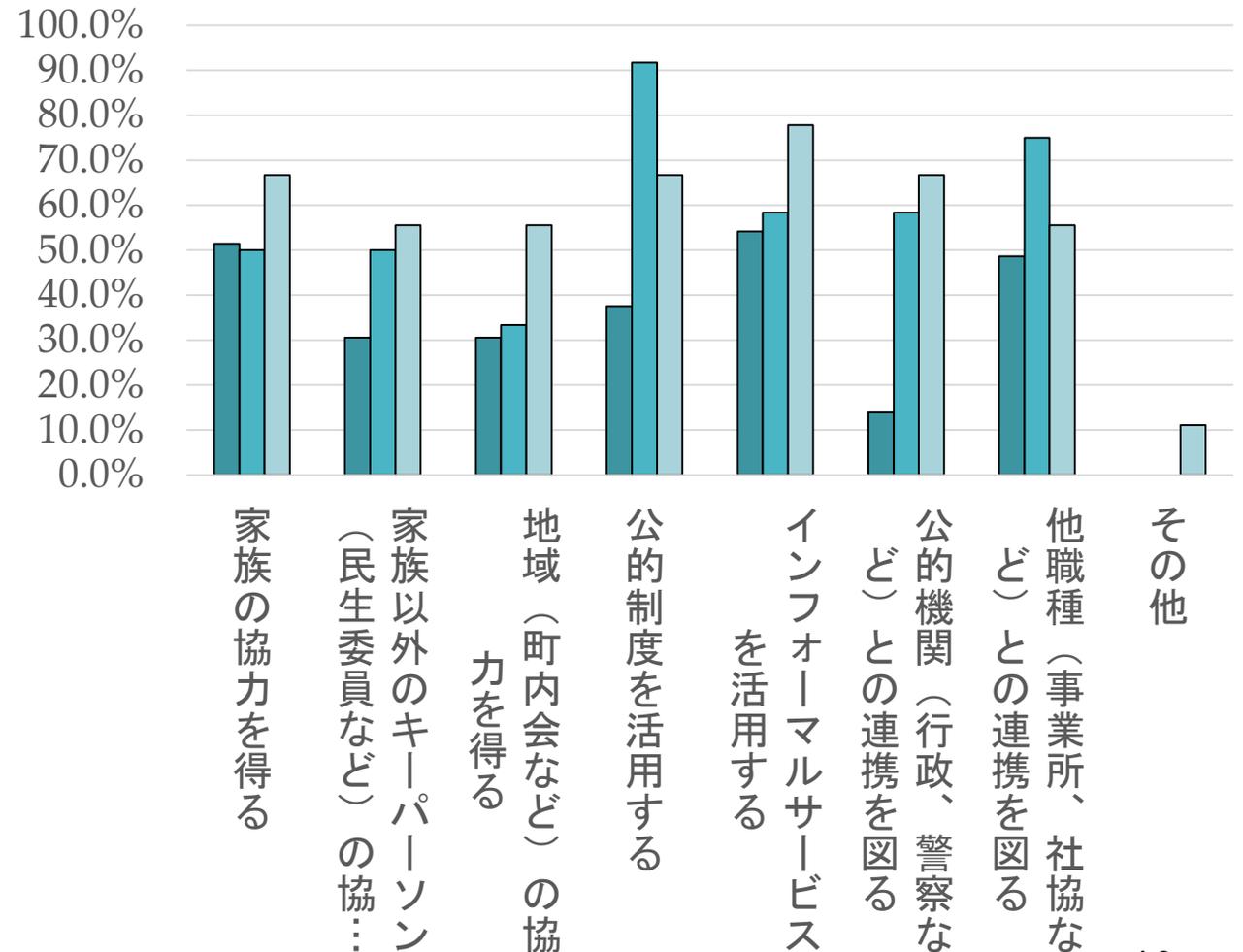
地域生活課題を解決するために必要な取り組み～通院手段～



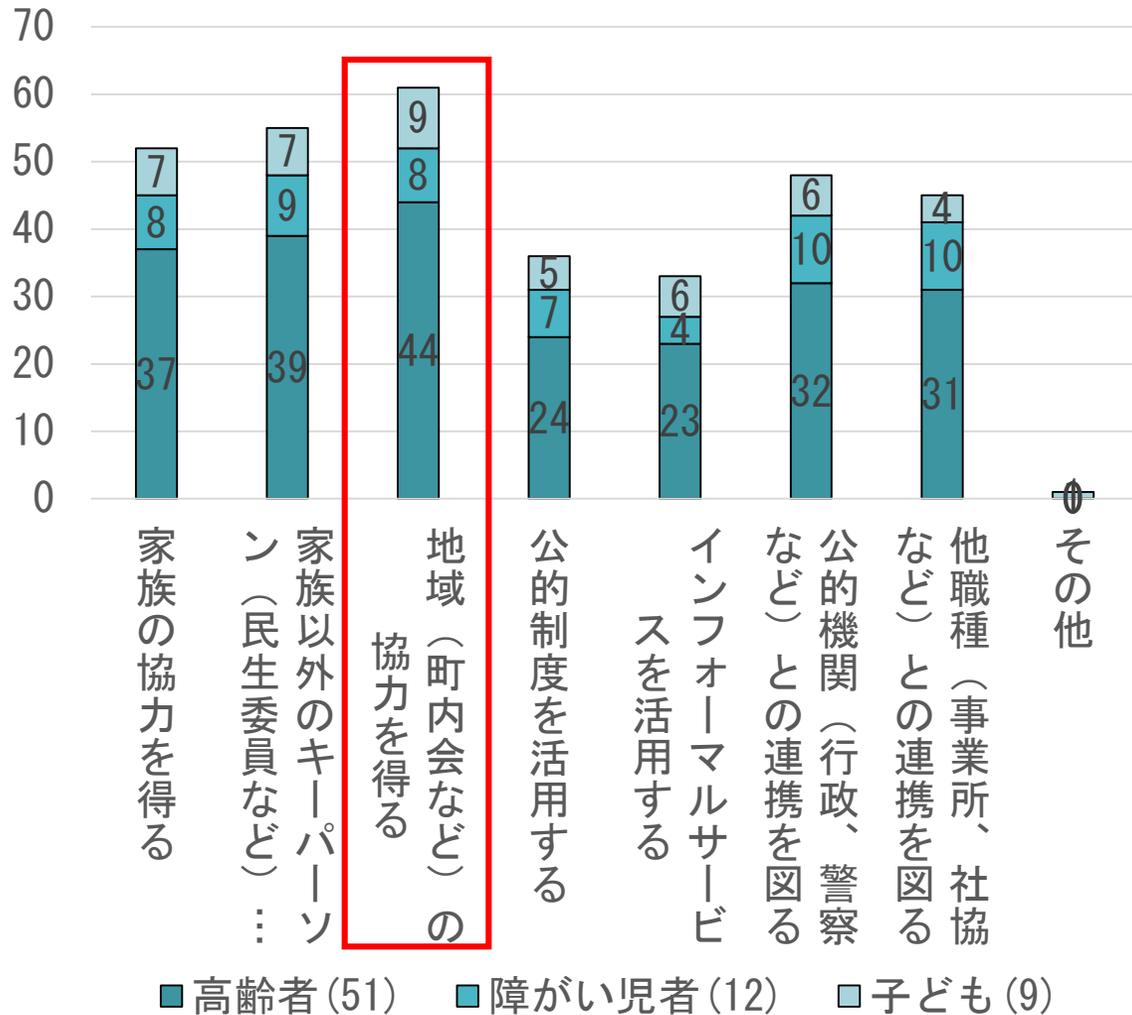
地域生活課題を解決するために必要な  
取り組み～買い物への移動～



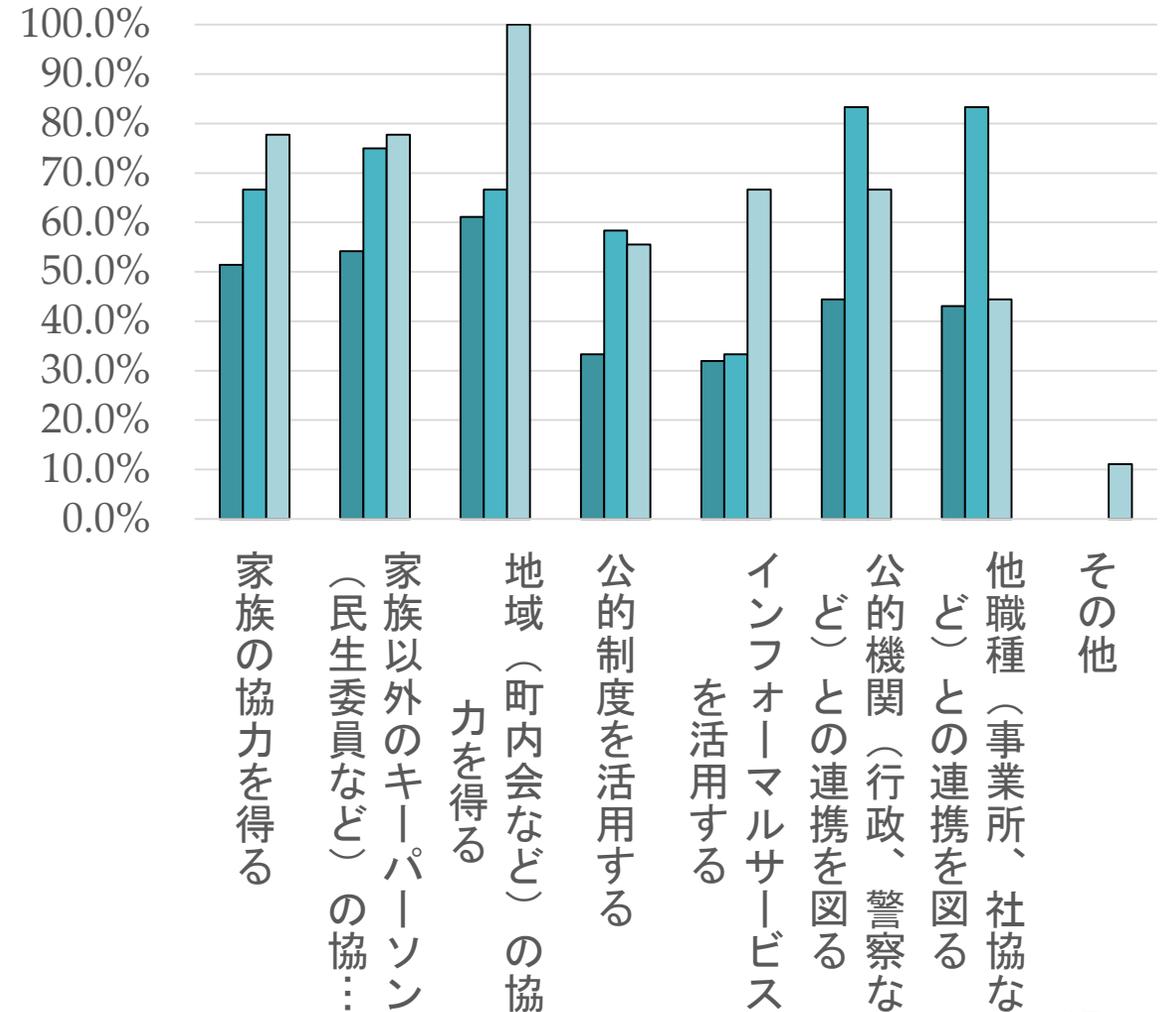
地域生活課題を解決するために必要な取り組み～買い物への移動～



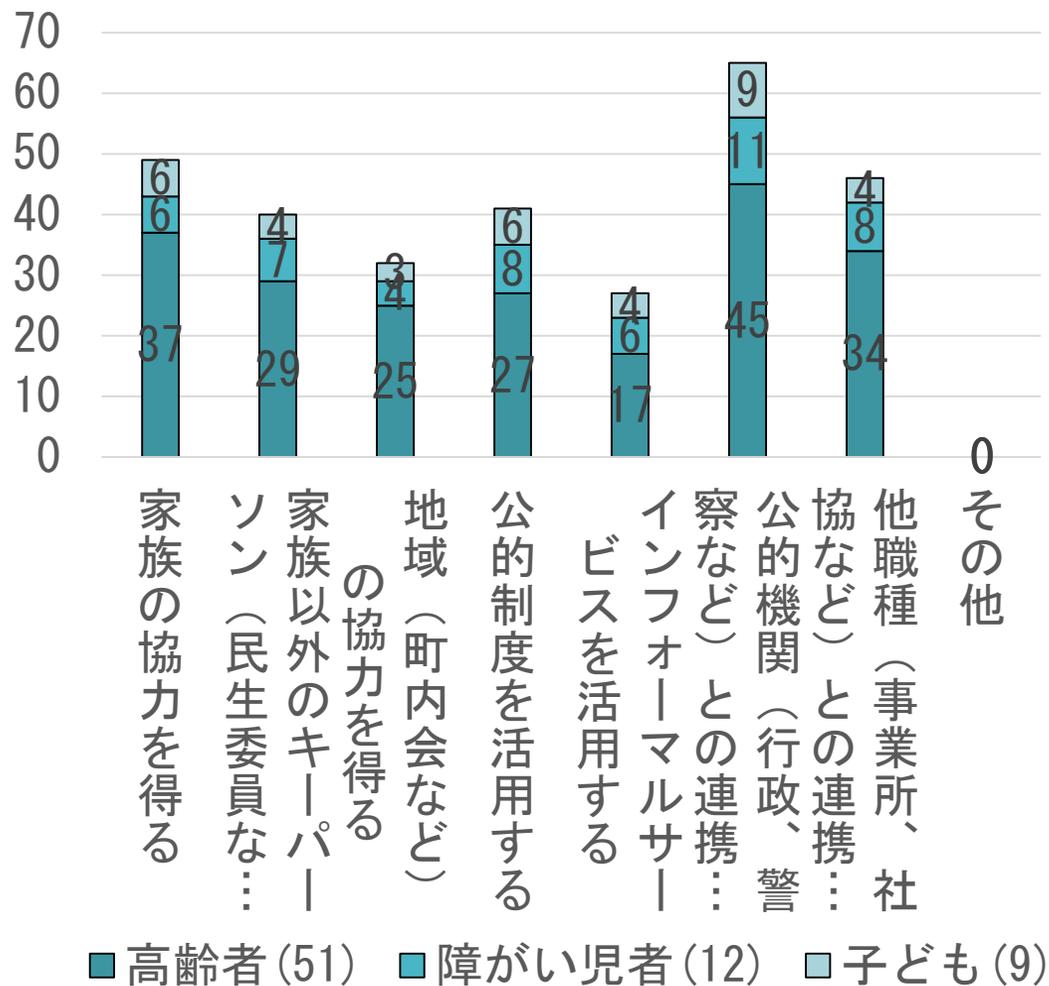
地域生活課題を解決するために必要な取  
り組み～災害時避難～



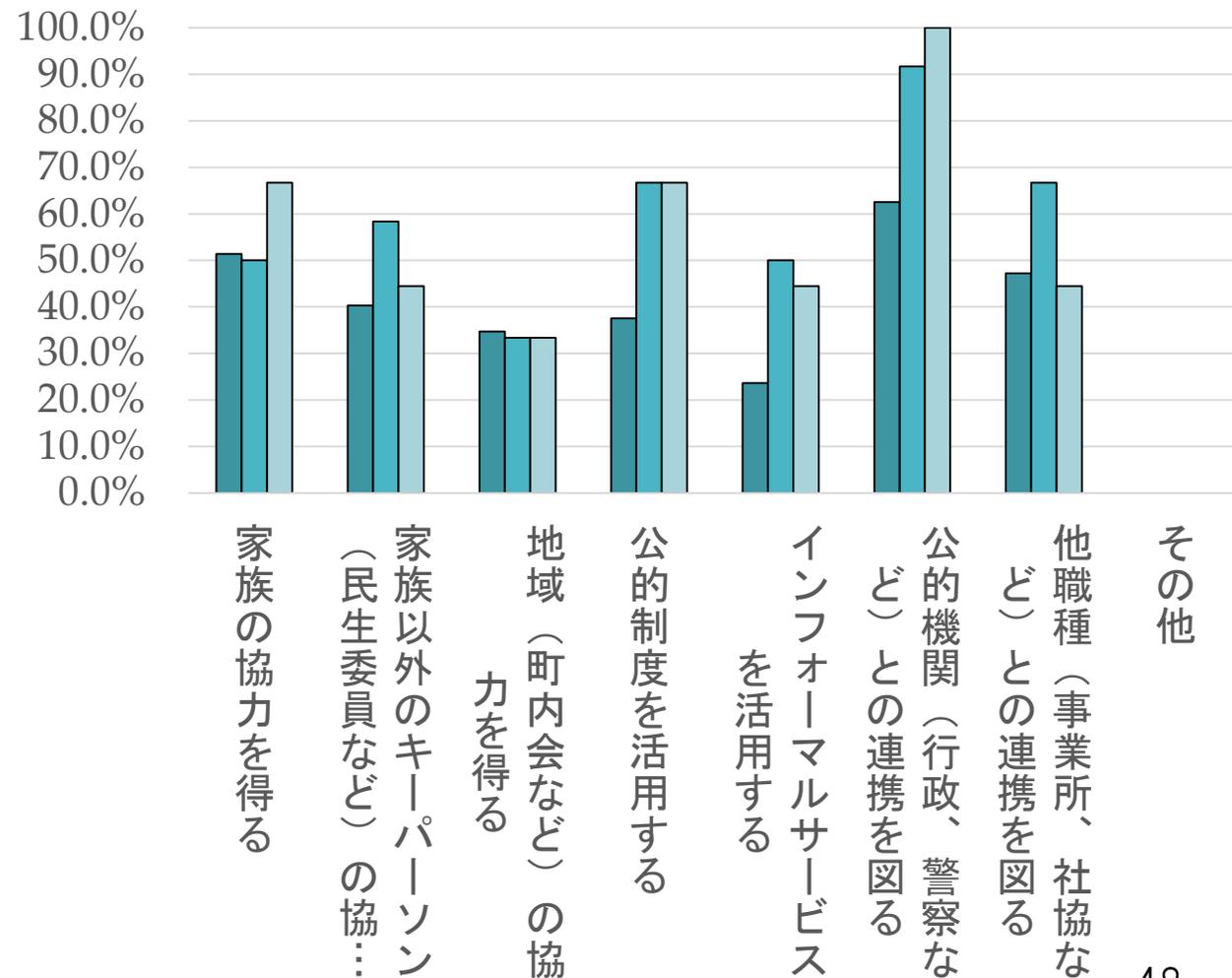
地域生活課題を解決するために必要な取  
り組み～災害時避難～



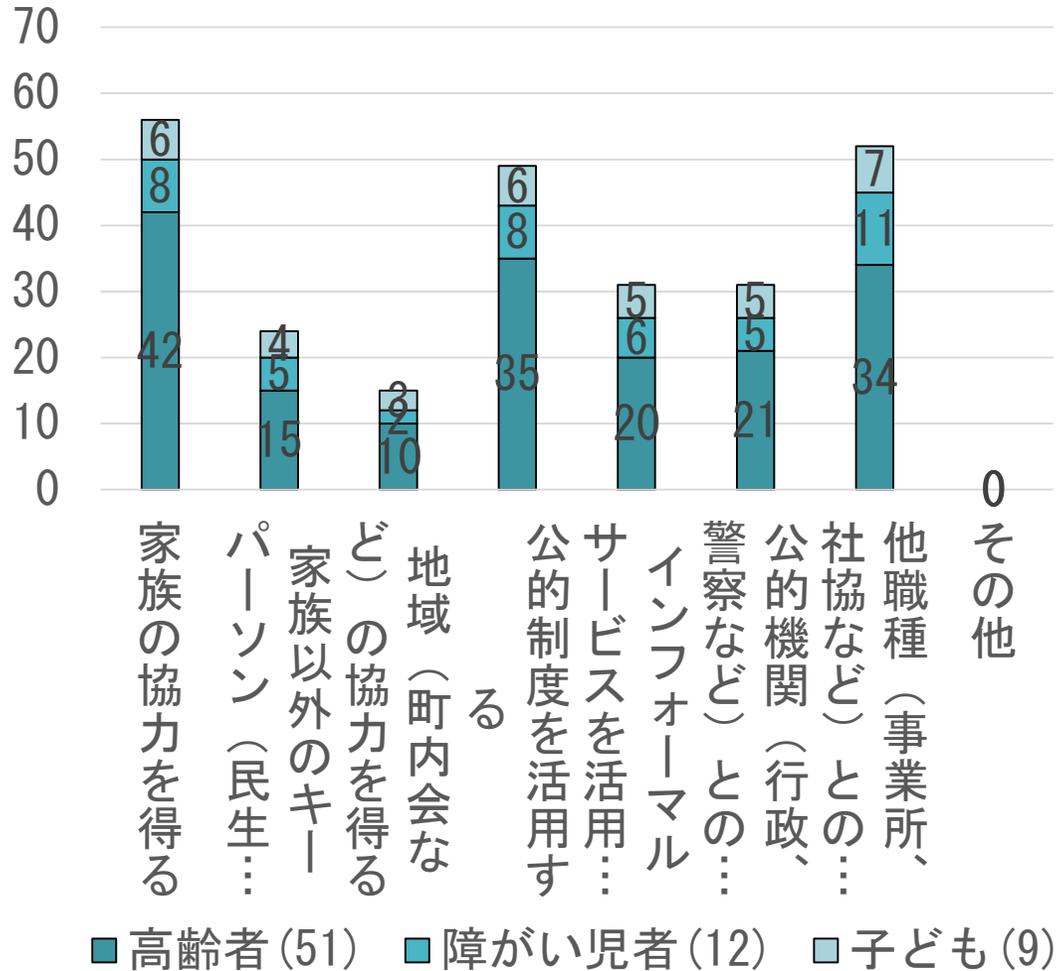
## 地域生活課題を解決するために必要な取り組み～消費被害～



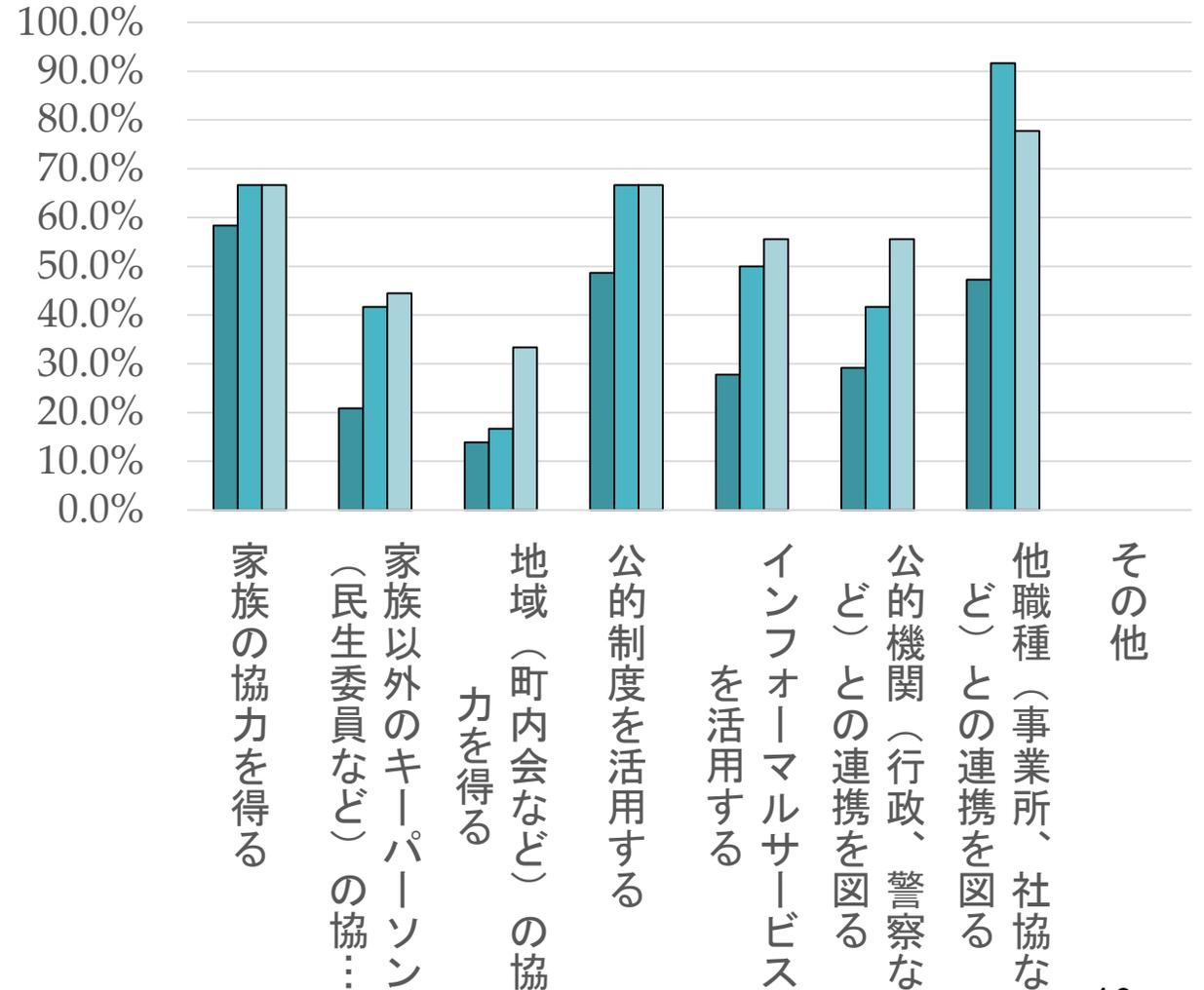
## 地域生活課題を解決するために必要な取り組み～消費被害～



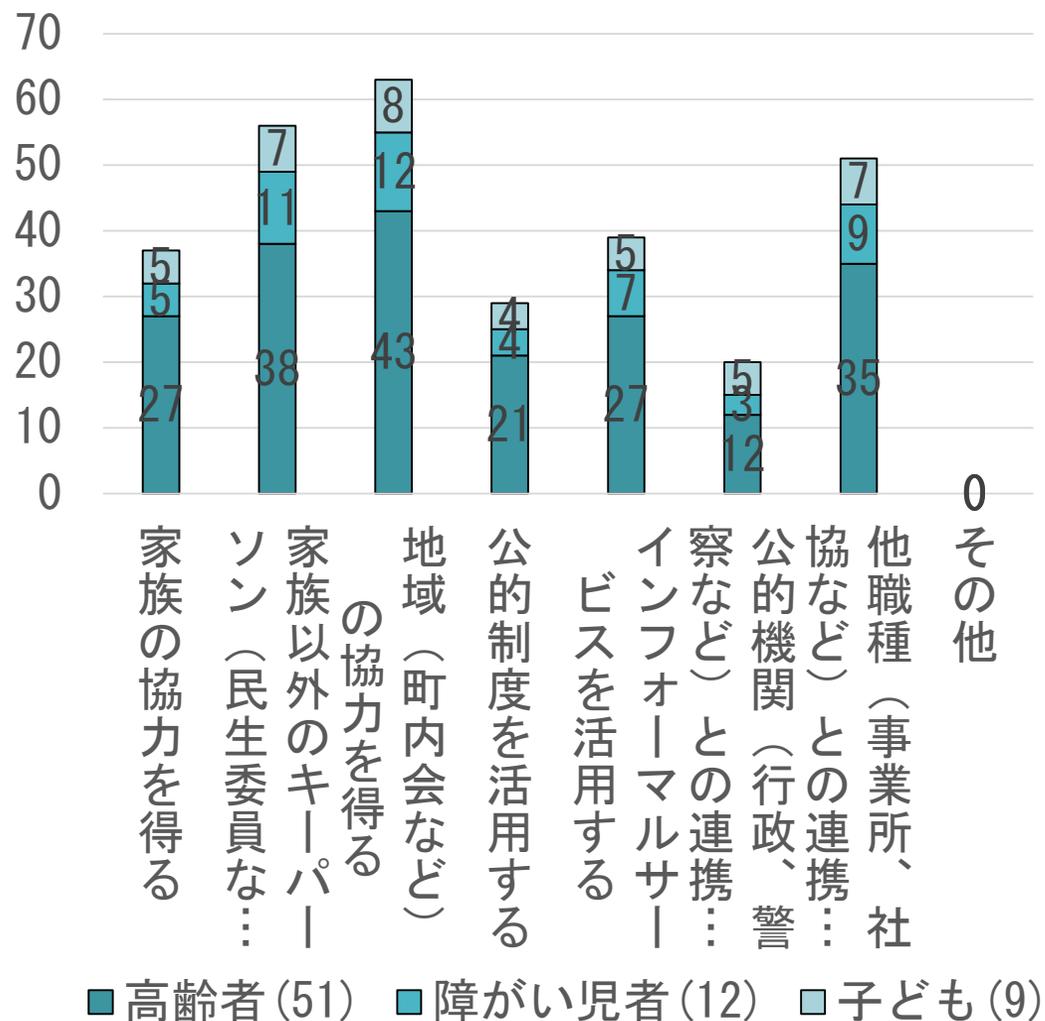
## 地域生活課題を解決するために必要な取り組み～金銭管理～



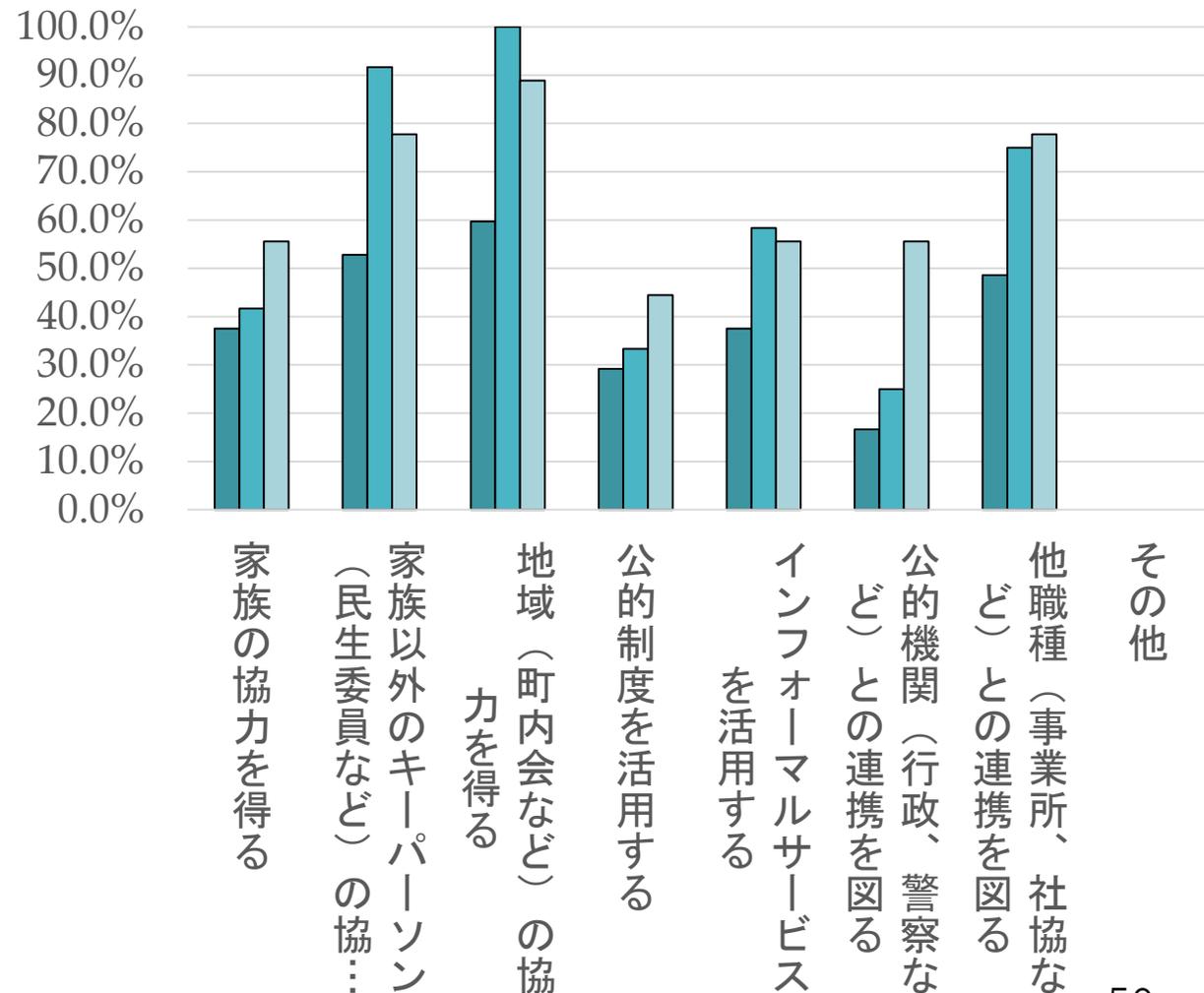
## 地域生活課題を解決するために必要な取り組み～金銭管理～



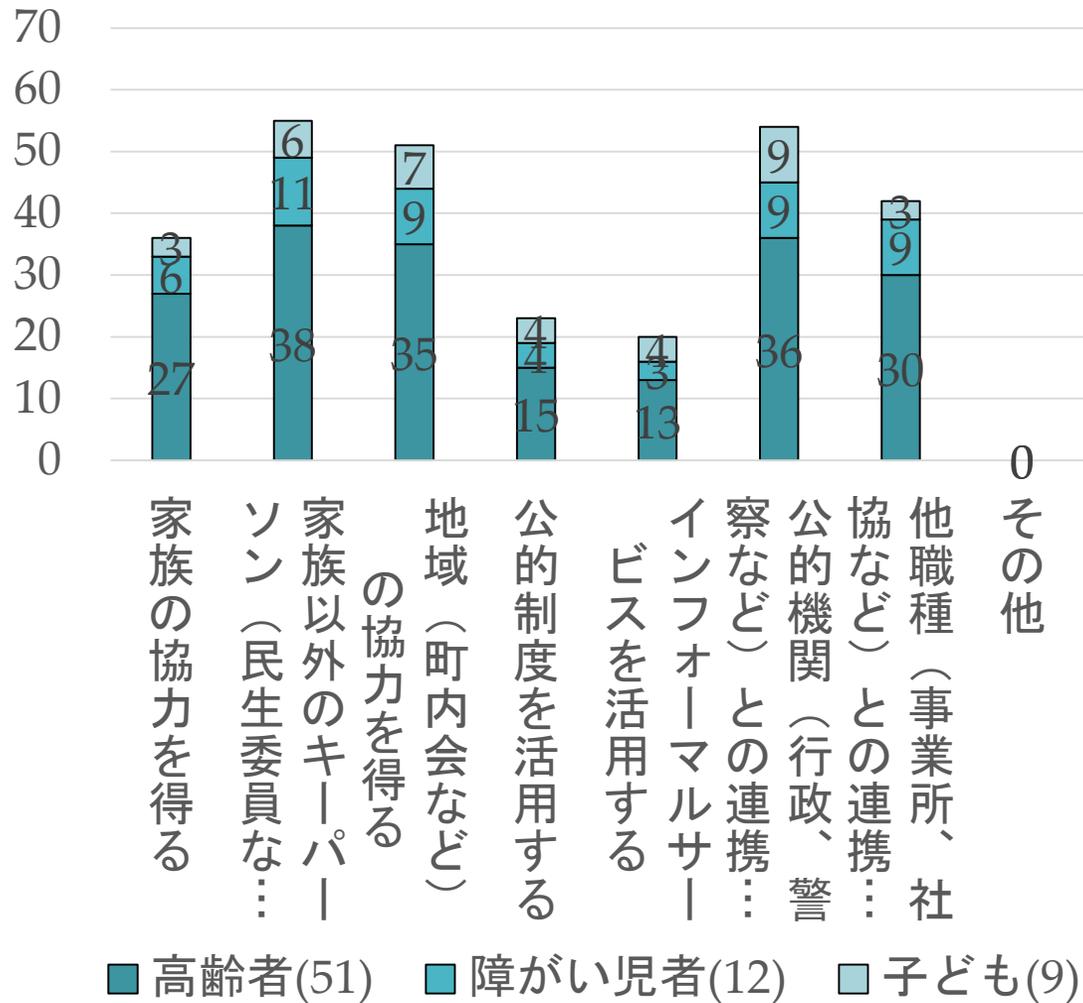
地域生活課題を解決するために必要な取  
り組み～地域との関わりがない～



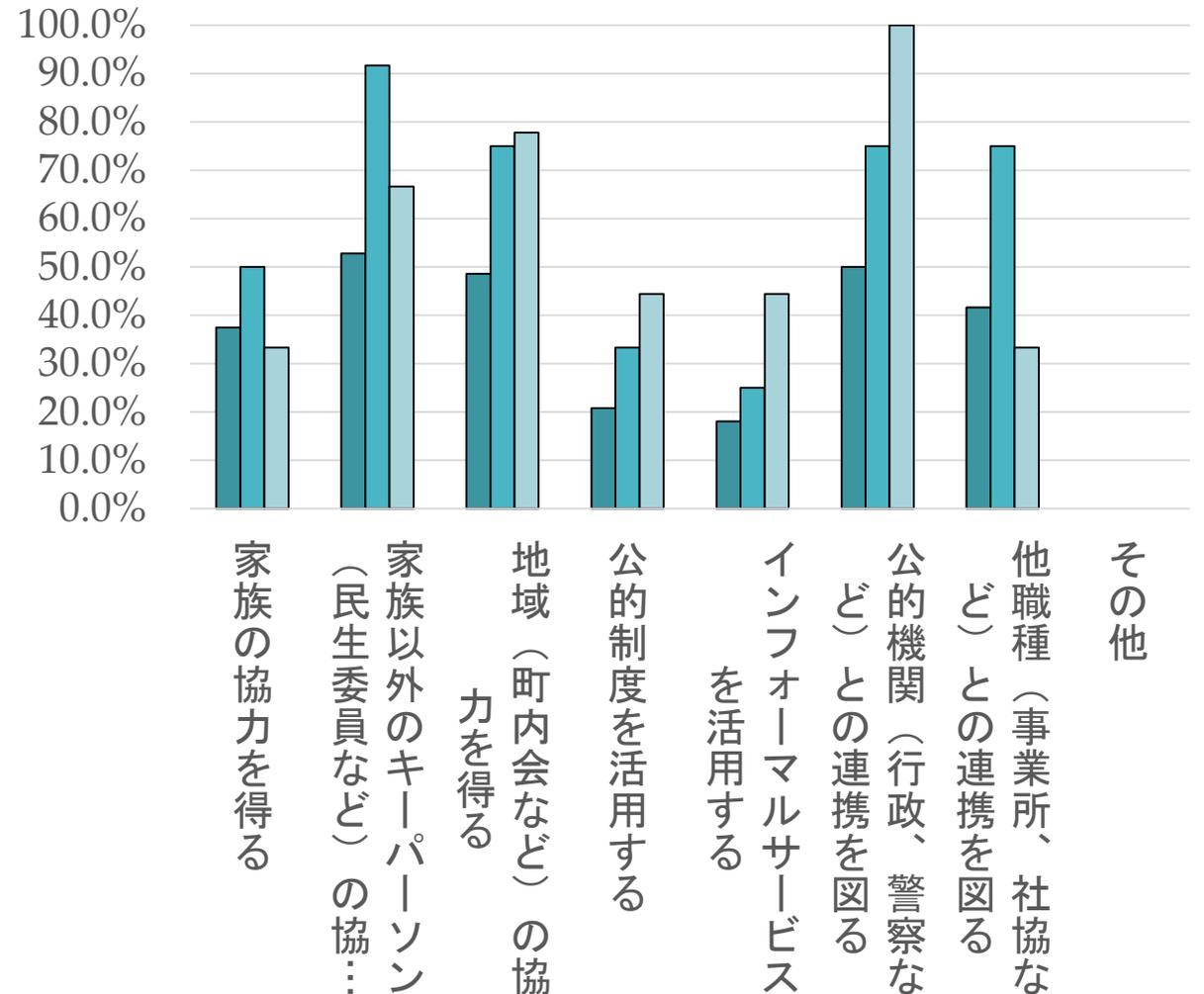
地域生活課題を解決するために必要な取  
り組み～地域との関わりがない～



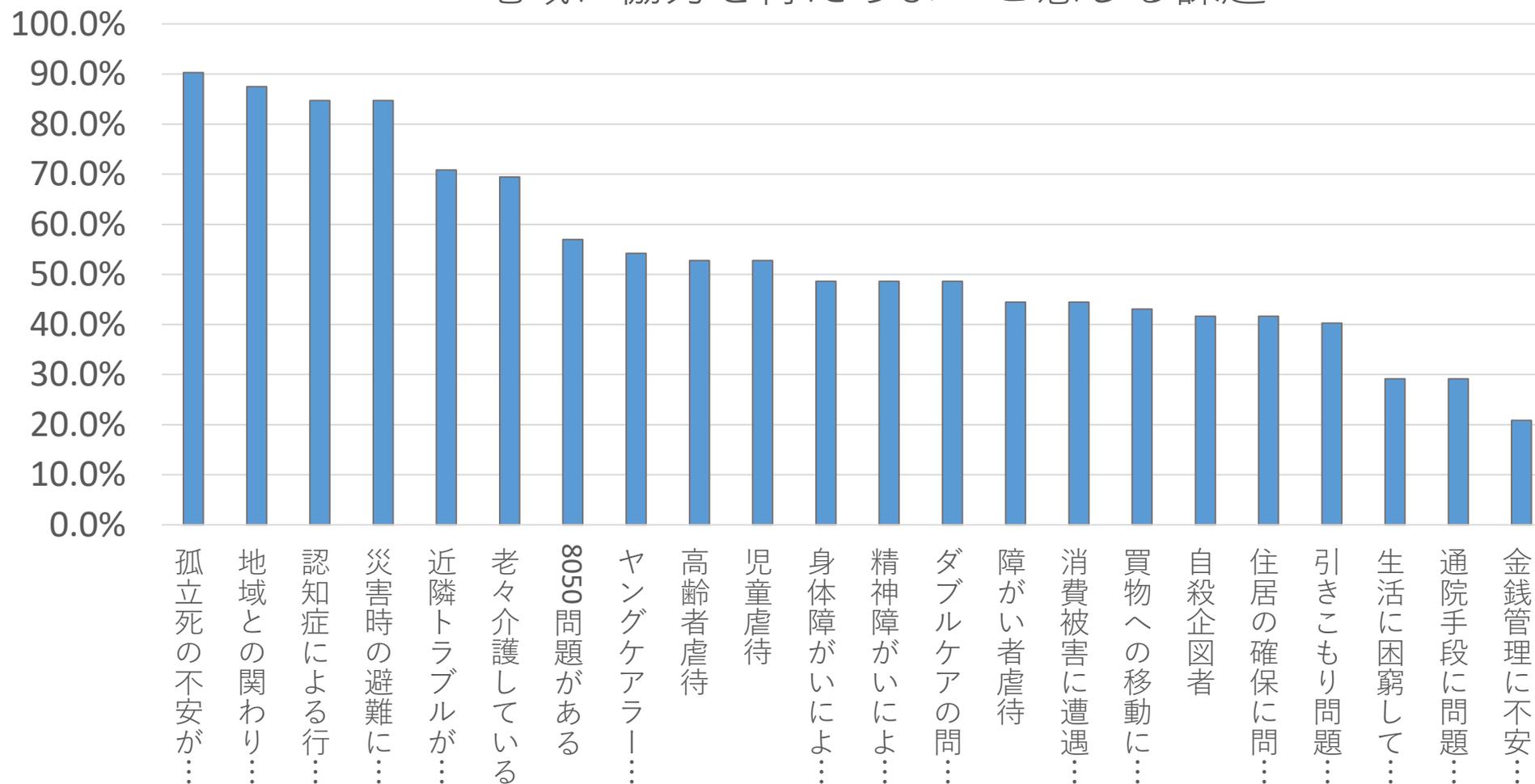
## 地域生活課題を解決するために必要な取り組み～近隣トラブル～



## 地域生活課題を解決するために必要な取り組み～近隣トラブル～



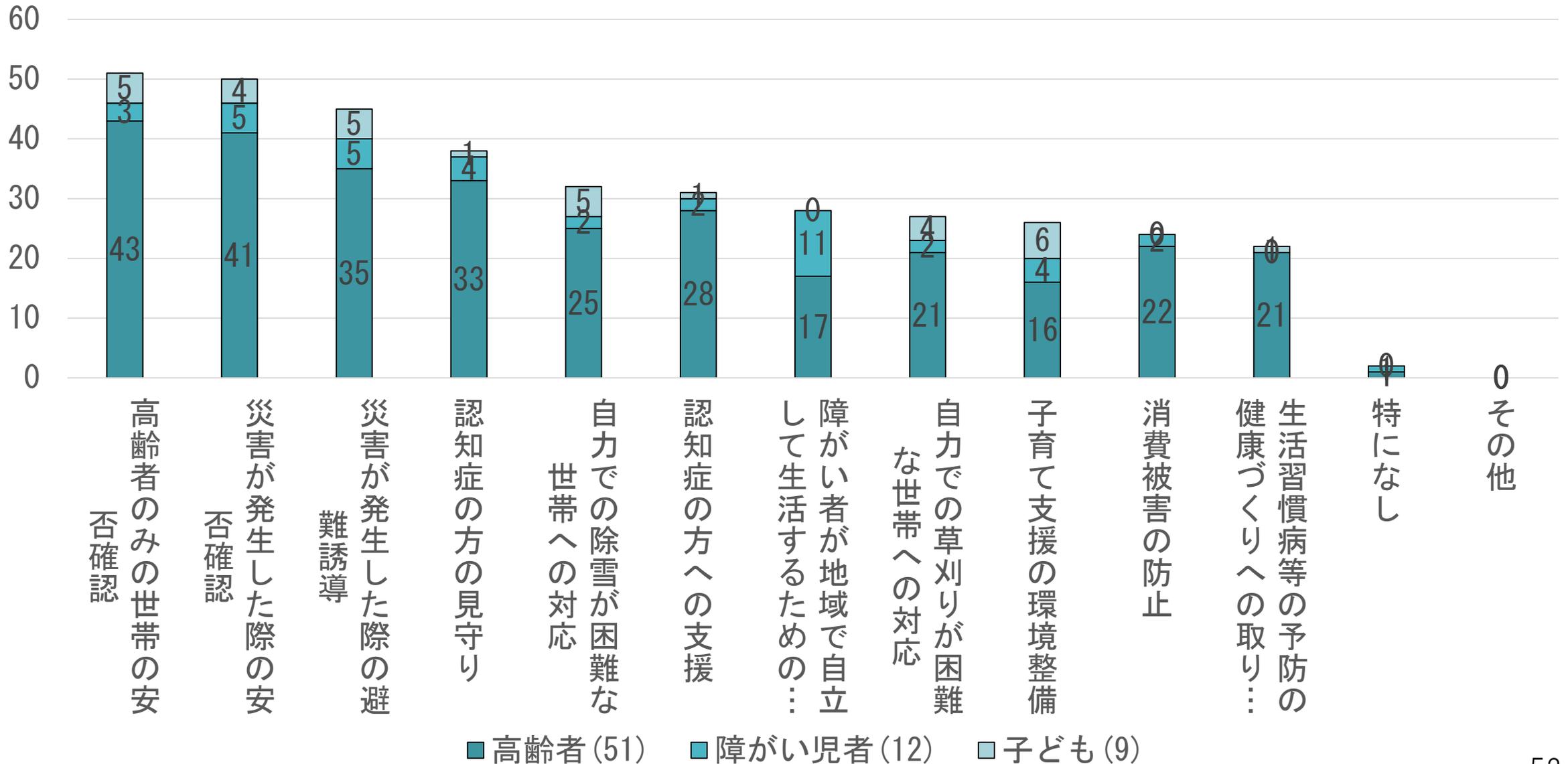
## 地域に協力を得たらよいと感じる課題



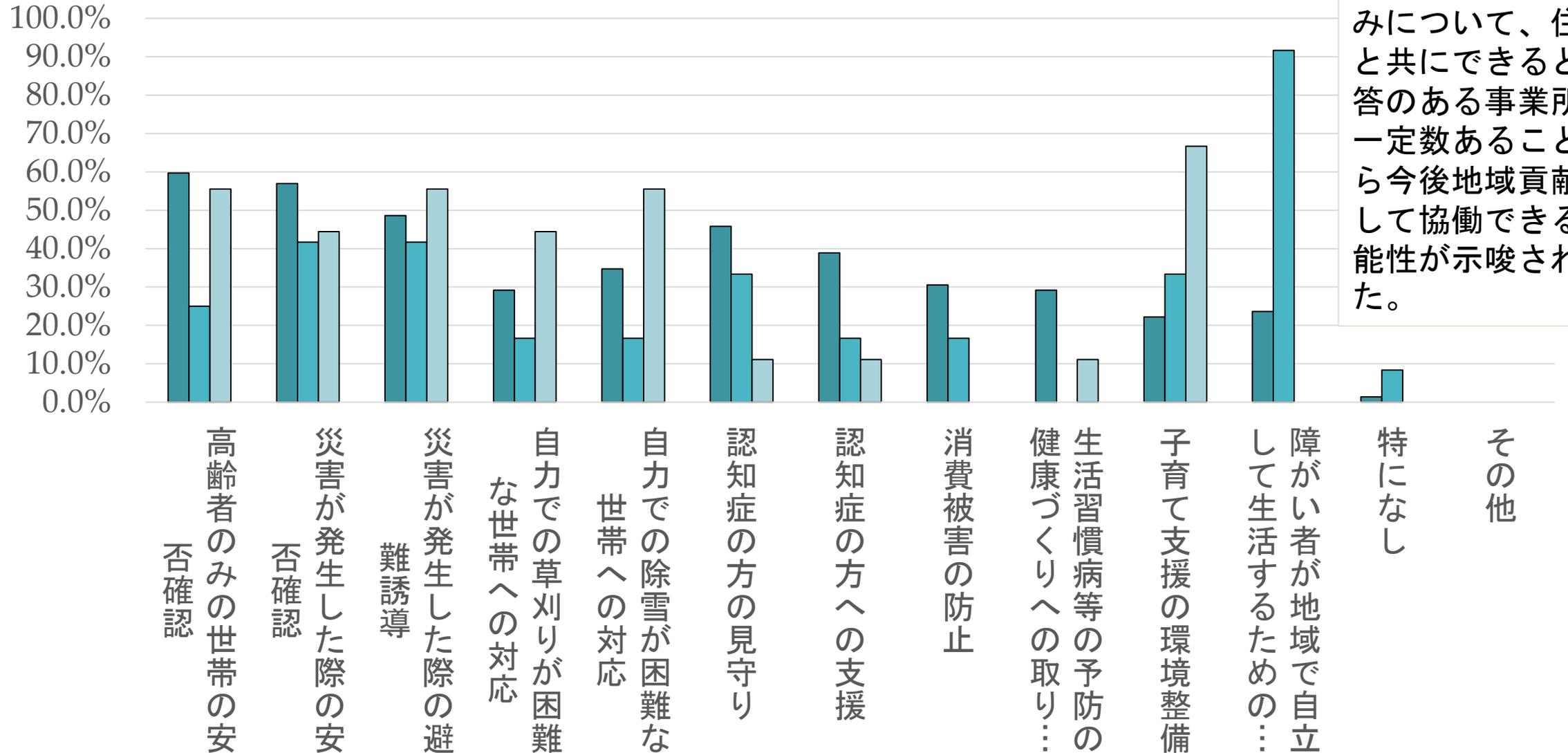
地縁（つながりや見守り）

専門的な支援

## 地域住民とともに行うことのできる取り組み

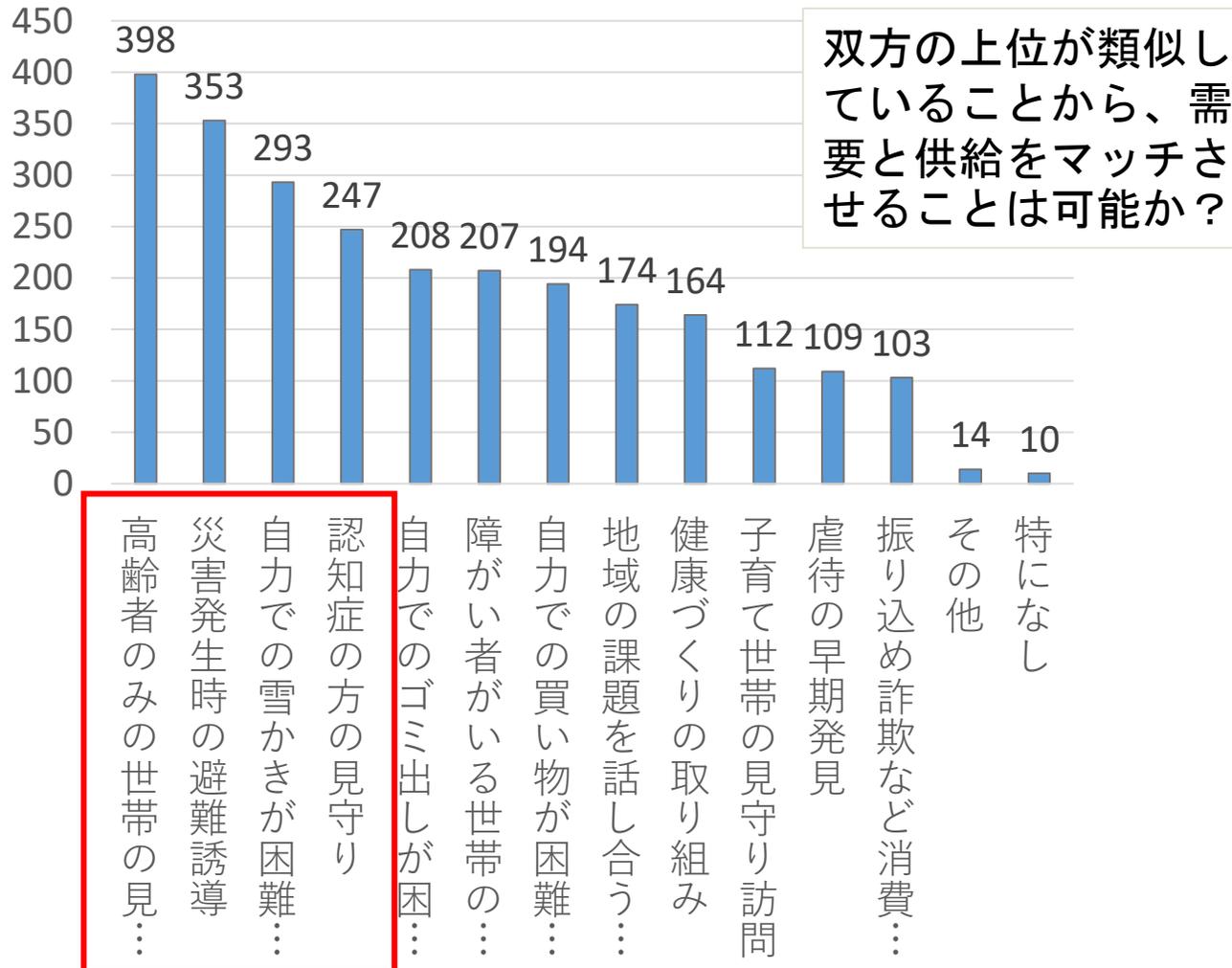


## 地域住民とともに行うことのできる取り組み

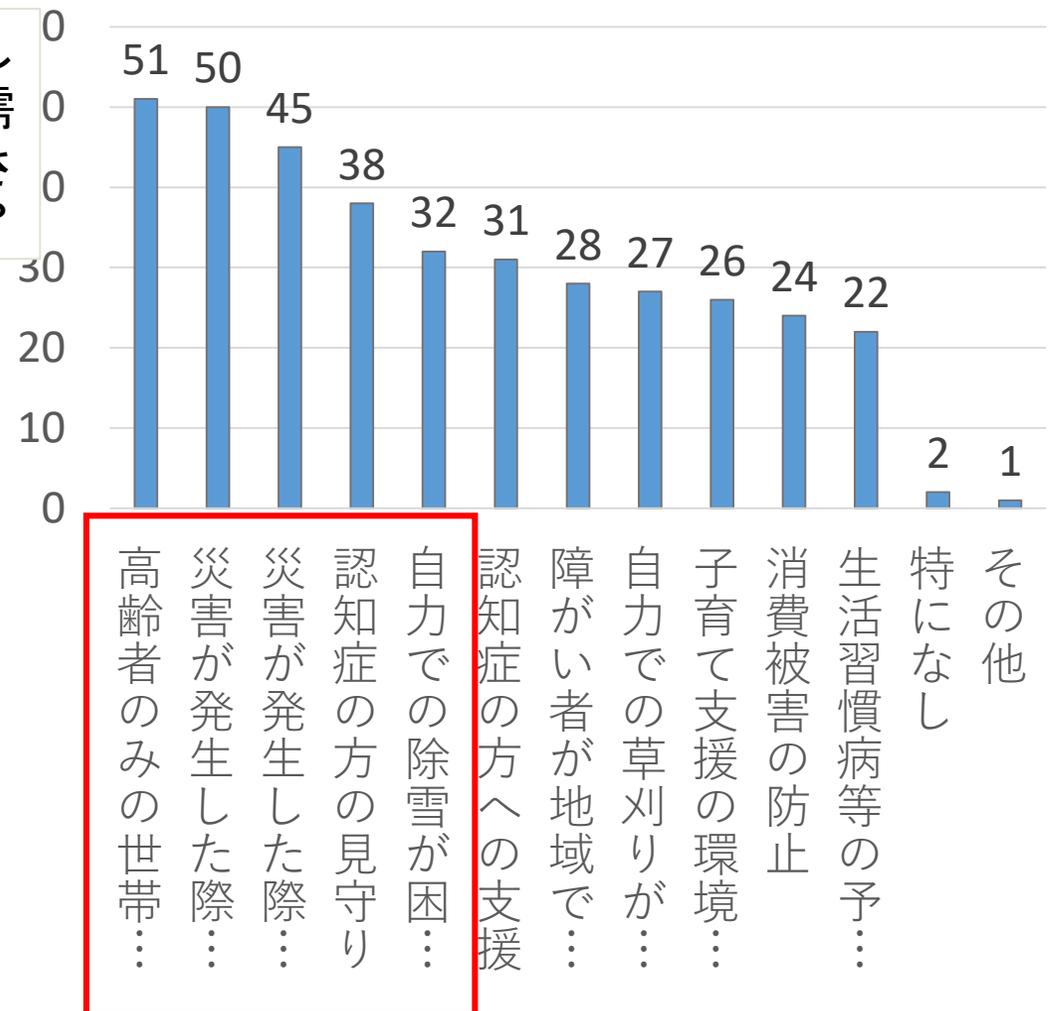


生活支援の取り組みについて、住民と共にできると回答のある事業所が一定数あることから今後地域貢献として協働できる可能性が示唆された。

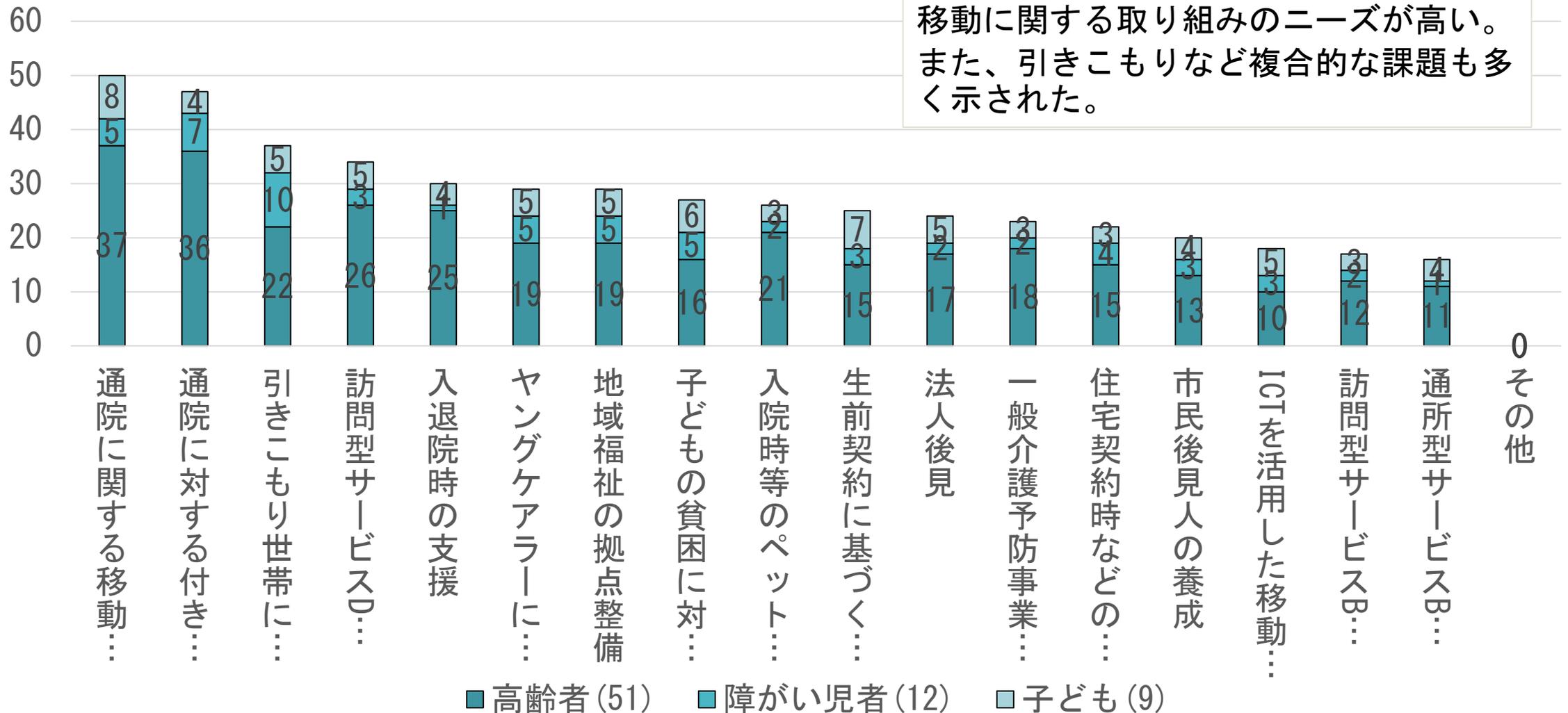
(実践者) 地域の主体的な取り組みが必要  
だと思ふもの



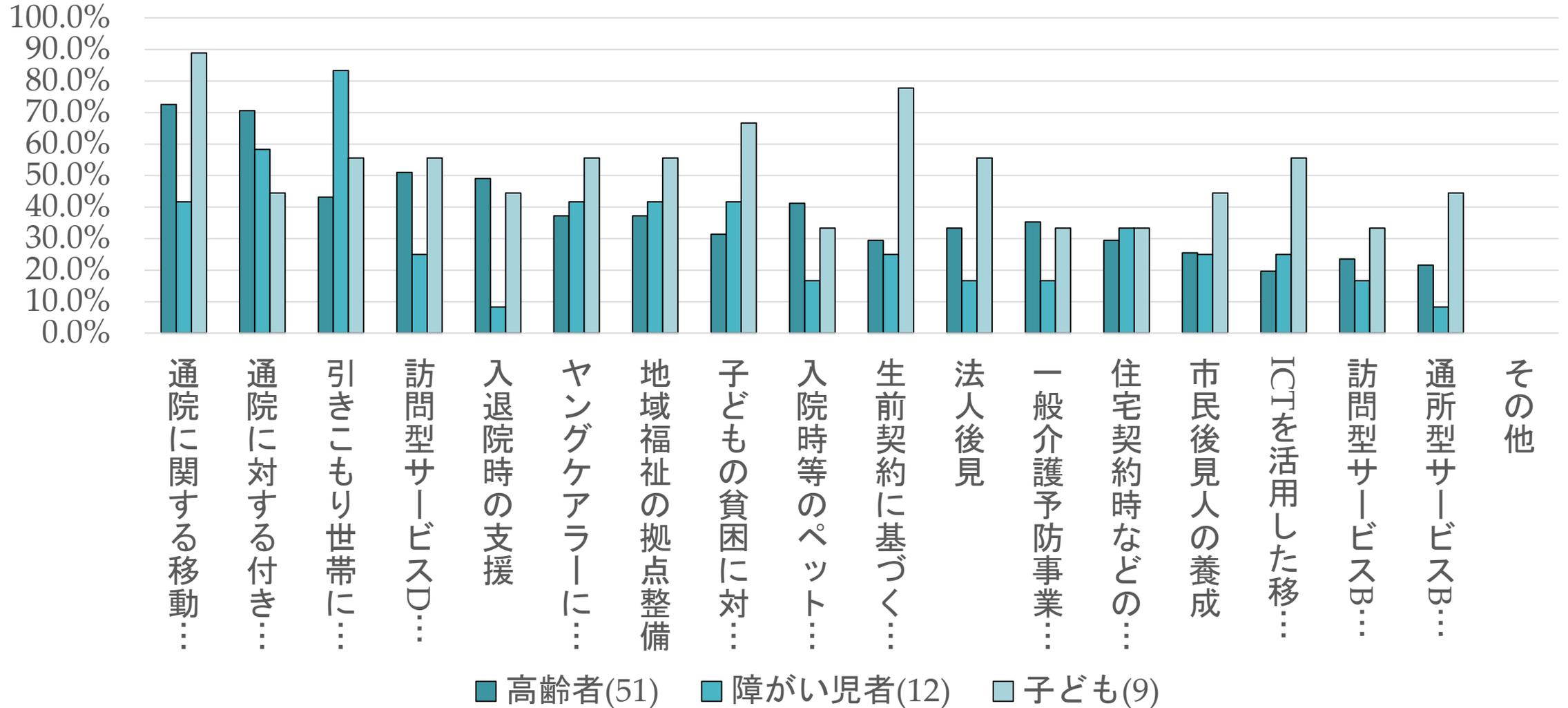
(事業所) 地域住民とともに行う  
ことのできる取り組み



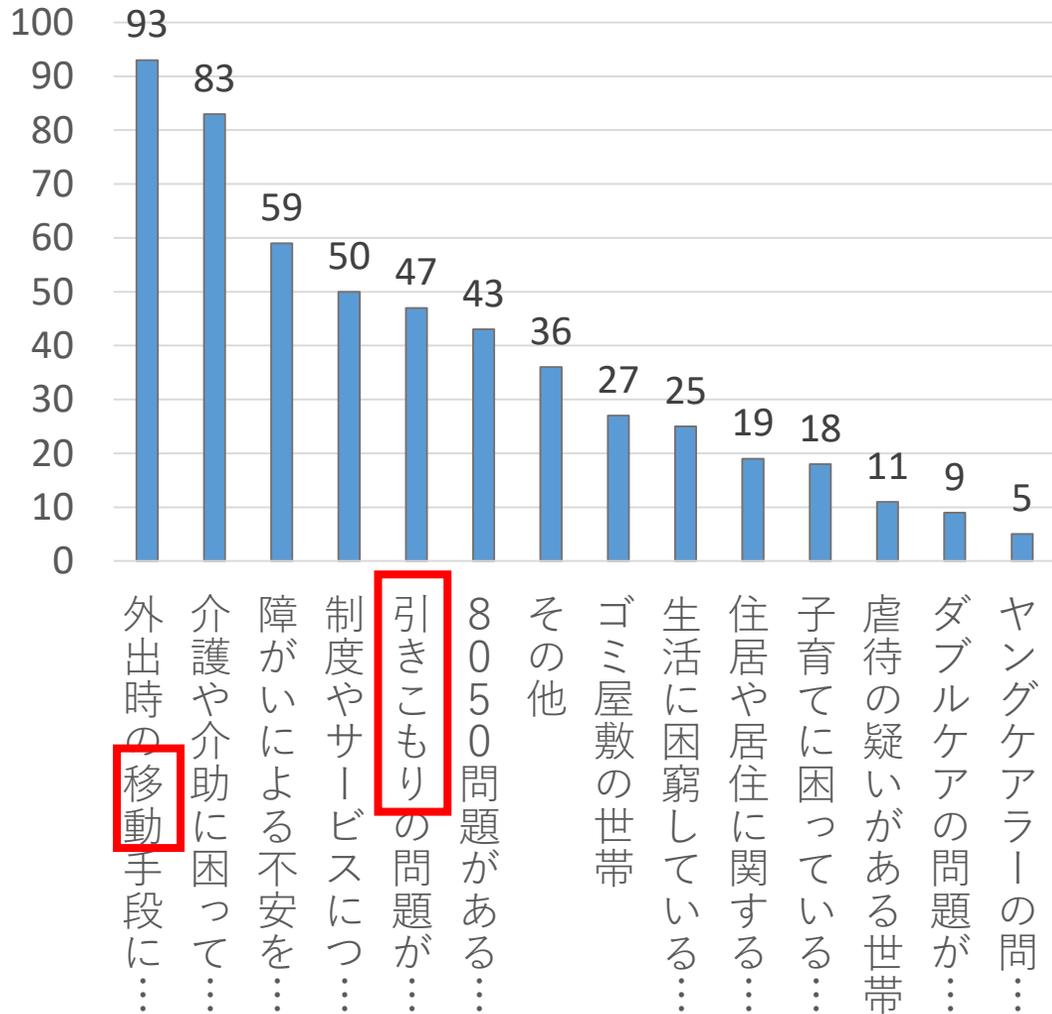
## このまちにこれから必要と思う取り組み



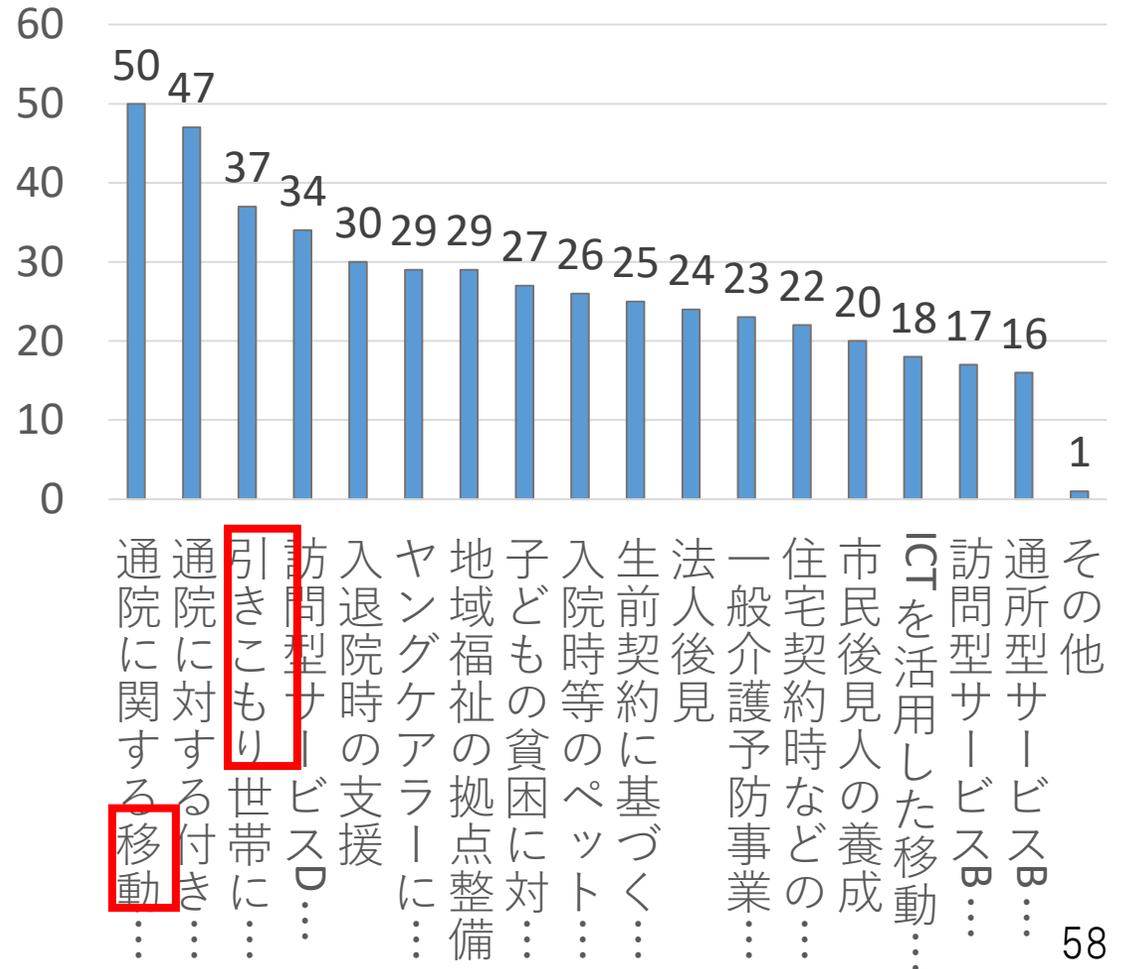
## このまちにこれから必要と思う取り組み



(実践者) 気になる世帯の内訳



(事業所) このまちにこれから必要と思う取  
り組み



## 2.意見交換

### 3. 今後のスケジュールについて

時期	項目	内容
10月7日（木）	第3回計画策定プロジェクトチーム会議	アンケート結果の共有・協議・検討
10月11日（月）	第2回きずなリーダー会議	講演会視聴、意見交換
10月下旬まで	第1回各校区きずな推進委員会	リーダー・サブリーダー選出、第3期評価の確定、講演会視聴 など
11月上旬	第3回きずなリーダー会議	第4期の方針等協議
11月下旬まで	第2回各校区きずな推進委員会	第4期の方針等共有、アンケートを基にした意見交換
12月上旬	第4回計画策定プロジェクトチーム会議	各種進捗状況共有 など
12月下旬まで	第3回各校区きずな推進委員会	校区計画作成作業